マルチファンクション
コントローラー

取扱説明書

Mercedes-Benz

●この取扱説明書はマルチファンクションコントローラー[VICS/ETC対応DVDナビゲーション、AM/FMラジオ、テレビ、DVDビデオ、6連奏CDオートチェンジャー、インターネットブラウザー、Eメール、iモード]（以下、マルチファンクションコントローラーと呼ぶ）についての取り扱いについて説明しています。ご使用のまえによくお読みになり、安全で快適な走行にお役立てください。

●仕様変更などにより、取扱説明書記載内容及び画面表示が一部異なることがありますのであらかじめご了承ください。

●オプションや車種、仕様などにより異なる装備には＊マークがついています。

●ご不明な点は、お買い上げのMBディーラーまたは、指定サービス工場にお気軽におたずねください。

●車を譲渡や転売するときは、次のオーナーのためにこの取扱説明書を車とともにお渡しください。

ご使用のまえによくお読みください。
取扱説明書は車の中に保管しましょう。

マルチファンクションコントローラー

ここでは主要な見出しのみを記載しています。各章に記載の項目については、各章の最初のページをお読みください。

1. はじめに

■ 取扱説明書の使いかた

取扱説明書の中には、それぞれ「警告」、「注意」、「知識」と区別してこのマルチファンクションコントローラーを取り扱ううえでとくに重要なことを記載しています。ご使用の前にかならず、すべてのページをお読みください。

⚠ 警告

事故を未然に防ぐために守っていただきたいこと。
これを守っていただけないと、命にかかわる重大なけがをしたり、事故などを起こすおそれがあります。

注意：
このシステムや車を取り扱ううえで守っていただきたいこと。
これを守っていただけないと、けがをしたり、システムや車を損傷するおそれがあります。

知識：
知っておいていただきたいこと。
知っていると便利なことや操作上のヒントなどを記載しています。

この取扱説明書では以下のようなルールに基づいて案内や記載をしています。

- スイッチ類や各機能、モードの状態を説明するために、以下のような表現を用いています。
  ◎ON（オン）：スイッチや該当するモードなどを作動させる
  ◎OFF（オフ）：スイッチや該当するモードなどを停止させる
- 操作手順が複数にわたるときは、説明文頭に数字番号を表記しています。
- 本文中に記載している画面は、該当する操作やモードを示す代表例であり、同時に使用するほかのモードや操作などに直接影響のない表示については実際の画面表示と異なることがあります。また、同じ理由から本体画面表示やメータ内表示の表示例を一部記載していないことがあります。
- 表示されるメッセージは限られた表示領域のため、一部の文字を省略したり、短縮表記のために略記漢字を使用していることがあります。

■ 安全のために

⚠警告

- ・どのような交通状況においても、常に車両を安全にコントロールできるように注意してください。
- ・車両が50km/hで走行しているときは、1秒間に約14mも走行してしまうということを常に念頭において走行してください。
- ・走行中にナビゲーションモードなどの表示画面を1秒以上注視しないでください。
- ・ナビゲーションモードなどの操作や画面表示の確認は、安全な場所に停車してから行ってください。

● ルート案内はあくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度や地図データディスクの情報により不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するときは、かならず実際の交通規制（一方通行など）に従ってください。

● ドライバーは、走行中に携帯電話単体やハンドセットでの通話はおやめください。

● ハンズフリー使用であっても気が散ることは避けられません。ドライバーは走行中の電話使用を控えてください。

● オーディオ（ラジオ、CD、CDチェンジャー）、テレビ、DVDビデオ、ビデオCDの音量が大きすぎると、安全運転のさまたげになります。
適切な音量で聞いてください。

● 画面が表示されない、音が聞こえないなど、このシステムに異常を感じたときや、本体に飲み物などがかかったりしたとき、本体に強い衝撃を与えたときは、ただちにメインスイッチ（→P1-9)をOFFにして使用をやめてください。そのまま使用すると感電事故や火災の原因になるおそれがありますので、最寄りのMBディーラーにて点検を受けてください。

● 本体表示部開閉時に指などをはさむおそれがありますのでご注意ください。

● このシステムを含む関連構成部品などを分解したり、改造したりしないでください。故障や感電事故、火災の原因になるおそれがあります。

● 純正アクセサリー以外の電装品（たとえば、盗難防止装置、オーディオ、後席テレビなど）を取り付けるときは、かならずMBディーラーに相談してください。
また、純正アクセサリー以外の電装品を取り付けると、電磁波障害やノイズ発生などの原因になり、とくにラジオやテレビ、電話、ナビゲーションの使用時に予期せぬトラブルを起こすことがあります。

■ 本機のお手入れ

● 乾いた柔らかい布で拭いてください。

● ベンジン・シンナー類を使用するとケースや塗装が変質しますので使用しないでください。

● 化学ぞうきんをご使用になる場合は、変色・変質の原因となるおそれがありますので、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。

はじめに

■ マルチファンクションコントローラーとは

本システムは、オーディオやナビゲーション、電話などの各機能を一体にしたドライバーと車両との総合的なコミュニケーションシステムです。
多彩な機能をひとつに集約したことで、本体に集中したスイッチでほとんどの操作ができることや、有効な情報を画面表示や音声によって安全に効率よくドライバーに伝えることができます。
また、本システムはETCに対応していますので、オプションのETC車載器を取り付けるとETCを利用できます。

＜本体表示部＞
本体表示部は操作についての情報表示と、ナビゲーションモード時の地図表示ができます。
実際に操作しているモードに連動して画面を表示します。

例：ナビゲーションモード

例：オーディオモード（ラジオ）

＜メータ内表示部＞
メータ内表示部は、オーディオや電話についての表示および、ナビゲーションモードの進行方向などを表示します。
表示の切り換えはステアリングのスイッチで操作します。また、本システム以外の車両の情報も表示できます。それらについては車両の取扱説明書を参照してください。

メータ内の表示は、予告なく変更されることがあります。

■ 主な特長

● ナビゲーションモード

◆ ルート探索・案内機能：

目的地を設定すると、最大5通りのルート（道のり）を探索します。曲がるべき交差点や分岐点、有料道路の入り口などを音声で知らせたり、画面に表示します。また、走行中に案内ルートから外れたときでも、すぐに同じ目的地までの新しいルートを案内します。

◆ 周辺施設案内機能：

現在地周辺のレストランやガソリンスタンドなど、最寄り施設を表示させたあと、目的地（通過点）として設定できます。

◆ 地図表示：

地図画面の拡大縮尺表示ができます。また、25m縮尺で市街地図を表示します。さらに、地図をノースアップ表示/ヘディングアップ表示にしたり、2D表示/3D表示にすることができます。

◆ メモリ地点登録機能：

自宅や仕事先、友人宅など繰り返し訪れる場所（地点）をあらかじめ登録することで、目的地、経由地（通過点）として簡単に設定できます。

◆ 索引・検索機能：

登録されている索引項目から施設や場所の項目を選択して、目的地（通過点）として設定できます。

◆ VICS機能：

FM多重から渋滞情報などを地図上に表示できます。さらにオプションのVICS受信システムを取り付けると、光/電波ビーコンにも対応できます。

● オーディオモード

オーディオは、ナビゲーションモードと同時に使用できます。

◆ ほかのモードとの同時使用：

オーディオモード使用中（ラジオやCDチェンジャーをBGMとして聞きながら）ナビゲーションを使うことができます。

ナビゲーション画面を表示するには、NAVI キーを押してください。

オーディオの音声をOFFにするには、MUTE キーを押します。
もう一度押すと、音声はONになります。

知識： 「本体のCD、DVDビデオ、ビデオCD」とナビゲーションの同時使用はできません。

◆ ラジオ：

● FM/AMラジオ放送が受信できます。
● FM文字多重放送を受信し画面に表示できます。

◆ CD/CDチェンジャー：

● 音楽CDを聞くことができます。

● 6連奏のCDチェンジャー＊が装備されています。

＊オプションや車種、仕様により装備が異なります

● テレビ/DVDビデオ/ビデオCDモード

◆ テレビ：

● VHF/UHFチャンネルが受信でき、ステレオ放送や2か国語放送にも対応しています。

● 駐車中、停車時に限り放映画像を見ることができます。安全のため走行中はテレビ音声のみになります。

◆ DVDビデオ/ビデオCD：

● 駐車中、停車時に限りDVDビデオ/ビデオCDの画像を見ることができます。安全のため走行中は音声のみになります。

● 電話モード

◆ 電話機能：

● お手持ちの携帯電話を本システムに接続して、電話をかけたり受けたりできます。

● 通話は車内マイクとスピーカーによるハンズフリー式です。

● 登録した電話番号や相手先名称などで、電話をかけることができます。本体およびステアリング・スイッチのいずれでも操作ができます。

● 電話番号が不明でも、「ナビゲーションモード」内の索引画面から項目や名称で相手先を探し出し、電話をかけることができます。

● ブラウザーモード

◆ iモード・インターネット・メール：

● iモード接続やiモードメール、インターネット接続またはサイト（番組）を利用して周辺の施設を検索し（iモード検索）目的地や経由地（通過点）に設定できます。

● 音声認識

ボイスコントロールレバーを操作して、マイクに音声コマンドを発声すると本システムを操作することができます。

● システム情報・設定モード

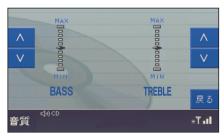
◆ システム設定機能

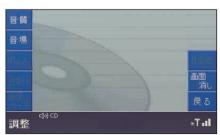
このシステム全体にかかわる表示言語(日本語/英語)を切り換えたり、操作時信号(ビープ)音を調整できます。

● サウンド/画面消し（調整モード）

◆ サウンド調整：

音質や音場を調整できます。音質/音場調整は各モード共通の設定となります。

例：音質調整画面

◆ 画面表示を消す

調整モードにおいて 画面消し ソフトキーを押すと画面表示を消すことができます。

画面を表示させるには

NAVI、AUDIO、TV、TEL、INFOキーなどを押します。

■ 各部の名称

1　**ナビゲーションモードキー（NAVI）**
ナビゲーションモードのON
現在地画面の表示

2　**ディマーセンサー**
周囲の明るさを検知して自動的に画面の明るさを調整

3　**電話モードキー（TEL）**
電話モードのON

4　**オーディオモードキー（AUDIO）**
オーディオモードのON

5　**インフォメーションキー（INFO）**
システム情報画面の表示
FM多重放送画面の表示

6　**テレビモードキー（TV）**
TVモード（TV/DVDビデオ/ビデオCD）のON

7　**AUX（外部音声入力）キー**
外部音声入力のON

8　**選局/トラック操作キー（<< >>）**
ラジオ、テレビの選局操作
ディスクのトラック（チャプター）操作

9　**ソフトキー**
画面の左右に表示している機能の実行

10　**テンキー**
数字の入力
ブラウザーモードのON

11　**音量調整ノブ**
各モードの音量を調整

12　**リピートキー（RPT）**
音声案内をもう一度聞く

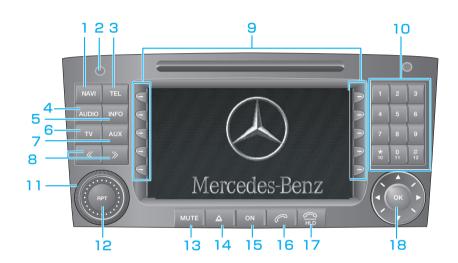
13 消音キー（MUTE）
消音（一時消音）

14 ディスクイジェクトキー
ディスクの出し入れ

15 メインスイッチ（ON）
主電源のON/OFF

16 通話開始キー
通話開始操作

17 通話終了キー（HLD）
通話終了操作、データ通信の切断

18 カーソル／決定キー（OK）
地図画面の移動
項目の選択/決定

● ソフトキーの説明

ソフトキーは、画面表示の切り換えに連動して表示が変わるキーです。
表示中の画面操作に必要なソフトキーが画面両サイドに表示されます。
表示させるには、いずれかのソフトキーを押します。選ぶときは、対応するソフトキーを押します。

■ ステアリング・スイッチ

注意：
ステアリング・スイッチは、直進時に限って周囲の交通状況が安全なときに操作してください。ハンドルの回転操作中にスイッチを操作すると、スイッチ操作に気をとられて事故の原因になるおそれがあります。

ステアリング・スイッチでは、オーディオの各モードにおける主要部分の操作と、電話モードの通話開始／通話終了などの操作ができます。

ここでは、ステアリング・スイッチの機能と操作方法について簡単に説明しています。電話モードでの操作方法については電話モードの章をお読みください。

知識：
ステアリング・スイッチの操作はメータに表示しているモードに対応します。

ステアリング、メータ・パネルおよび各スイッチは、モデル・装備・仕様の違いにより、実際の形状・位置などが異なることがあります。

左側スイッチ

1 表示切り換えスイッチ ／
メータ内表示部の表示切り換え

2 スクロールスイッチ ／
自動選局/トラック操作
スクロール操作（電話モード）

右側スイッチ

3 VOLスイッチ ＋/ ー
音量の調整

4 通話終了スイッチ
通話終了操作

5 通話開始スイッチ
通話開始操作

■ メータ内表示部

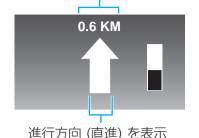
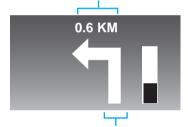
表示切り換えスイッチ[icon]/[icon]で表示モードを切り換えることで、該当モード別に必要な情報を表示します。

知識：
本体側の作動（表示）にかかわらず、メータ内の表示項目は、ステアリングの表示切り換えスイッチで独立して切り換えます。

● オーディオ/電話モード表示

ラジオ、CD、テレビ、DVDビデオ、ビデオCD、電話の各モード別に表示内容が異なります。これらの表示については、それぞれのモードの章を参照してください。

● ナビゲーションモード表示

ルート案内中直進時：

ルート案内中左折時：

知識：
・交差（分岐）点までの距離表示は数値で表示される場合とバーグラフで表示される場合があります。

一般道路の場合：
約300m以下でバーグラフ表示

高速/有料道路の場合：
約1km以下でバーグラフ表示

基本的な使いかた

■ 電源のON/OFF

ONにするとき

イグニッション・スイッチを「1」または「2」の位置に回します。
「安全の為のご注意」が表示されたあと、前回OFFにしたときの画面が表示されます。

知識：
- イグニッション・スイッチの作動に連動して、本システムのON/OFFが操作できます。
- 駐車中など、イグニッション・スイッチがOFFの位置や、キーを抜いた状態でも、ON キーを押して約30分間使用することもできます。
- バッテリー保護のためエンジン作動中の使用をおすすめします。

OFFにするとき

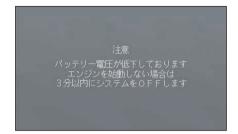
イグニッション・スイッチのキーを抜くか、ON キーを押します。

● 走行中の使用制限

安全上の理由から、走行中は画面表示や機能の一部が使用できなくなります。シフトレバーやパーキング・ブレーキの作動状態などによって、走行中、停車中、駐車中の状態を感知します。
走行中は、以下の項目について一部の使用が制限されます。

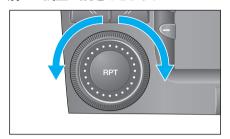
- テレビ/DVDビデオ/ビデオCD画面は表示されず、音声のみ
- ナビゲーションモード
- 電話モード
- FM文字多重放送
- ブラウザーモード

● バッテリー保護機能

バッテリー電圧が10.5V以下に低下したり、エンジンを始動させずに27分以上システムを使用した場合、下記の画面を表示しますので、エンジンを始動してください。3分以内にエンジンを始動しないと、自動的にOFFになります。

前記の画面表示後、さらにバッテリー電圧が9.5V以下に低下するか、2分50秒経過してもエンジンを始動しないときは、再度以下の画面を表示して、10秒以内に自動的にOFFになります。

知識：
これらのメッセージ画面が表示されたときは、本システムをOFFにするだけでなく、バッテリーあがりを防止するためエンジンを始動して数分間バッテリーを充電してください。

■ 音量の調整

ナビゲーションの音声案内の音量、オーディオの音量または電話の通話音量を別々に調整・設定できます。

右へ回す：大きくなる
左へ回す：小さくなる

◆ ナビゲーションの場合

ナビゲーションの音声案内中にノブを右または左に回します。

◆ オーディオ/電話モードの場合

オーディオの音声が聞こえているとき、または通話中に RPT ノブを右または左に回します。

> 知識：
> MUTE（消音）機能がONのときは、音量の調整はできません。

● RPTキーを押す（リピート機能）

ルート案内中に RPT キーを押すと、音声案内のアナウンスを繰り返して再生します。

■ MUTE（消音）の使いかた

オーディオの音量またはナビゲーションの音声案内を消音する機能です。

◆ ナビゲーションの場合

ナビゲーションの音声案内中に MUTE キーを押します。「音声案内　MUTE」と約6秒間表示されます。

OFF（MUTE解除）：
RPT キーを押します。画面中に「音声案内再開」と約6秒間表示されます。

◆ オーディオの場合

オーディオの各モード作動中に、MUTE キーを押します。「MUTE」と約6秒間表示されます。

MUTE中は、ステータス表示部分左側のアイコン表示部に が表示されます。

OFF（MUTE解除）：
もう1度 MUTE キーを押します。

ステータス表示部

<メータ内表示>

知識：
・MUTEの作動中に、(RPT)ノブを回してもオーディオの音量は調整できません。もう一度 MUTE キーを押して、MUTEを解除してから操作してください。
・オーディオ作動中に電話がかかってきたり通話が始まると、MUTEが自動的に作動し、ナビゲーションモードの音声案内も消音されます。電話の使用が終了すると元に戻ります。

■ システムの基本設定

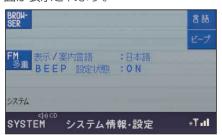
使用前に「システムモード」で以下の設定項目を確認してください。

- 日本語と英語の切り換え（表示言語）
- 操作時信号（ビープ音）の設定

注意：
安全のため、駐/停車時に操作してください。走行中は一部操作できない項目があります。

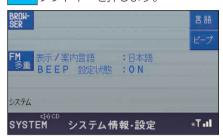
知識：
バッテリーの接続をはずしてバッテリー電源が断たれたときは、設定内容が消去されます。

● システムモードを表示する

INFO キーを押してから、システム ソフトキーを押すと、システム情報・設定画面が表示されます。

知識：
前回の INFO キー操作のときに、システム情報・設定画面表示で終了した場合は、INFO キーを押すとただちにシステム情報・設定画面が表示されます。

◆ 日本語と英語の切り換え

画面表示や案内音声を日本語または、英語に切り換えます。

1 . システム情報・設定画面で 言語 ソフトキーを押します。

2. EN-GLISH ソフトキーを押すと、英語モードに切り換わります。

日本語 ソフトキーを押すと日本語モードに切り換わります。

知識：
- 英語モードに切り換わるのは、ソフトキーの表示、音声案内および一部のオンスクリーン表示のみです。
- メータ連動 を選択すると、メータの表示言語に連動して切り換わります。連動させたくない場合は、もう一度押して解除してください。

◆ 操作時信号（ビープ）音の設定

各キーを操作したときの信号(ビープ)音のON/OFFを設定します。

1 . システム情報・設定画面で ビープ ソフトキーを押します。

2. ON 、 OFF ソフトキーを押すたびに、ON/OFFが切り換わります。

知識：
- 操作時信号（ビープ）音の音量を設定することはできません。
- 設定をONにした場合、ビープ音の対象となる操作は以下の通りです。

ラジオモード：自動選局、オートプリセット、手動プリセット
CDモード　：早送り/早戻し
CDCモード　：早送り/早戻し、ディスクリピート/ランダム
TELモード　：ダイヤルロック

● 音質・音場を調整する

音質・音場は各モード共通の設定となります。

1. オーディオモードの場合、AUDIOキーを押して、オーディオ基本画面を表示させせます。

2. 調整ソフトキーを押します。

音質 ：音質を調整します。

音場 ：音場を調整します。

◆ 音質の調整

音質ソフトキーを押します。

∧または∨ソフトキーで調整します。
BASS：低音の調整
TREBLE：高音の調整

◆ 音場の調整

音場ソフトキーを押します。

<、>、∧、∨ソフトキーで調整します。

BALANCE：左右のバランスの調整
FADER：前後のバランスの調整

◆ サウンドの設定＊

1. 調整 ソフトキーを押します。

2. サウンド ソフトキーを押します。

押すたびに「STANDARD」→「SPEECH」→「SURROUND」の順に切り換わります。

知識：
・ラジオおよびテレビモードの場合、「SURROUND」設定はありません。
・DVDモードの場合、「SURROUND」設定のみとなります。

知識：
走行ノイズ補償機能システム：
この機能は、走行ノイズを感知して、聴きたい音楽と不要なノイズを区別し、適切な音量と音質のバランスを調整する機能です。

＊オプションや車種、仕様により装備が異なります

2.　ラジオ

■ ラジオ操作スイッチ

1 オーディオモードキー（AUDIO）
オーディオモードのON

2 選局キー（<< >>）
選局操作

3 ソフトキー
画面の左右に表示している機能の実行

4 テンキー
プリセット番号の選択・設定

5 音量調整ノブ
音量の調整

6 消音キー（MUTE）
消音（一時消音）

7 カーソルキー（OK）
FM多重放送表示のページ選択

● ステータス表示

FMのプリセット画面1　受信中の周波数と放送局名

■ 基本画面

● ソフトキーの説明

FM1/2 ：FM1/2

押すたびにプリセット画面（FM1とFM2）が切り換わります。

AM1/2 ：AM1/2

押すたびにプリセット画面（AM1とAM2）が切り換わります。

AUTO.P ：オートプリセット（→P2-4）

オートプリセット動作が始まり、受信可能な放送局を探して、プリセット番号に割り当てます。

SCAN ：スキャン

自動的に放送局を探して、受信した順に約8秒間ずつ聞くことができます。

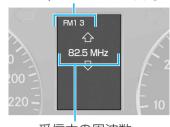
調整 ：調整

音質・音場を調整します。
(音質・音場を調整する→P1-16)

◆ 本体側表示

プリセットした放送局は、画面に表示された放送局のプリセット番号の中から【テンキー】を押して選びます。

◆ メータ内表示

プリセット画面
(FM1/FM2またはAM1/AM2)とプリセット番号

受信中の周波数

■ラジオを聞く

AUDIO キーを押してから、FM1/2 または AM1/2 ソフトキーを押すと、ラジオがONになり、選ばれている周波数の放送が聞こえます。また、AMとFMそれぞれにプリセット画面が2つあり、それぞれ画面に6つの放送局をプリセットできます。

2 ラジオ

■ 放送局を記憶する

・ **プリセット選局**
あらかじめ記憶した放送局を選んで聞きます。

● プリセット選局

オートプリセット：
FM1/2、AM1/2それぞれ6局まで放送局を記憶できます。（最大24局）

1. AUTO.P ソフトキーを長く（0.8秒以上）押すと、オートプリセットを開始します。

受信可能な放送局が各プリセット番号に記憶されます。

2. 受信する放送局の選択は、【テンキー】で選びます。

知識：
・オートプリセットを行うと、それまでの記憶は消去され、新たに放送局を記憶します。
・受信電波状態によっては、ノイズだけを受信することもあります。また、同じ場所でオートプリセットを繰り返したときでも、異なる放送局が記憶されるときがあります。

手動プリセット：
受信中の放送局を希望するプリセット番号に設定できます。
番組受信中に希望するプリセット番号に相当する【テンキー】を長く（0.8秒以上）押します。

■ 選局する

【テンキー】を押して放送局を選ぶ他に以下の方法があります。

● 自動選局

次に受信できる放送局を探します。

« または » キーを長く (0.8秒以上) 押すと、次に受信できる放送局で停止します。

» キーを長く（0.8秒以上）押すと、周波数の高い方向に選局します。

« キーを長く（0.8秒以上）押すと、周波数の低い方向に選局します。

知識：
- 受信電波状態によっては、ノイズだけを受信することがあります。
- ステアリング・スイッチの ⇧/⇩ スクロールスイッチでも同じように操作できます。

● 手動選局

受信電波が弱く、オートプリセットや自動選局ができない放送局に、手動で周波数を合わせます。

« または » キーを短く (0.8秒以下) 押すと、押すたびに一定間隔で周波数が変わり、自動選局で受信できないような受信電波の弱い放送局も受信できます。

» キーを短く（0.8秒以下）押すと、周波数の高い方向に進みます。

« キーを短く（0.8秒以下）押すと、周波数の低い方向に進みます。

知識：
- FMは0.1MHz間隔で、AMは9kHz間隔で変わります。
- 受信電波が弱い放送局では、ノイズが多く不安定な受信状態になります。また、FMではステレオ放送やFM文字多重放送が受信できず、モノラルで受信することがあります。

● 一時消音

ラジオの音声を聞いているときに一時消音するときは、MUTE キーを押します。

[MUTE(消音)の使いかた→P1-13]

■ FM文字多重放送

受信中のラジオ放送とは独立して、FM文字多重放送を受信して、文字情報を画面表示できます。
走行中は文字情報画面の一部の機能操作はできません。

- **番組情報：**
  FMラジオ放送中の番組と連動しており、放送中の曲名や演奏者名、リクエスト先などの情報を表示。

- **独立情報：**
  放送中のラジオ番組とは連動せず、常に送信されているニュース番組、天気予報、交通情報などの情報を表示。

- **緊急情報：**
  放送局側で緊急情報番組を送信したときのみ情報を表示。

> 知識：
> FM文字多重放送の番組メニューや情報表示画面は、それぞれの放送局独自の構成により表示されますので、表示方法が放送局の方針などにより、予告なく変化することがあります。
> そのため、画面表示を特定することができませんので、以降に続く操作説明については表示例に基づく基本操作部分のみとなります。

● 文字多重放送の受信

1. INFO キーを押してから、FM多重 ソフトキーを押します。

FM多重放送の受信を開始します。
受信完了後、FM多重放送画面が表示されます。

◆ 放送局を切り換える

FM文字多重放送画面中に 選局 ソフトキーを押します。
選局中のメッセージが表示されます。

◆ 番組を切り換える

1. FM文字多重放送画面中に 目次 ソフトキーを押します。

2. 表示させたい番組を【テンキー】で選びます。

2 全国天気を選んだ例

▲▼が表示されると、OKキーを上下に動かしてページを送ることができます。

◆ 自動ページ送りを設定する

ニュース・天気予報など、複数ページにわたる情報番組は、「自動送り」を設定することで自動的に文字情報のページが送られます。

FM文字多重放送画面中に 自動送 ソフトキーを押します。

文字情報が自動（約9秒おき）で切り換わっていきます。

自動送りを止めたいとき

停止 ソフトキーを押します。

自動送り中にOKキーで文字情報ページを手動で送ったときも、自動送りは中断されます。

◆ 最新情報の画面を表示する

新情報 ソフトキーを押すと最新の情報画面が表示されます。

◆ 緊急放送お知らせ機能

FM文字多重放送受信中に、地震発生などの緊急放送を受信すると自動的に緊急情報に切り換わります。

■ 交通情報を聞く

交通情報画面を表示させて、交通情報放送を聞くことができます。

AM1/2 ソフトキーを押してから、 TI ソフトキーを押します。

交通情報画面が表示され、放送局「1620kHz」が選ばれて交通情報が聞こえます。

> 知識：
> ・この「交通情報」は、道路管理者や所轄の警察が放送地域を限定して送信しますので、受信範囲外では受信できません。放送地域については、道路上の標識などにより知ることができます。
> ・標準的な交通情報送信局である「1620kHz」の周波数が固定で選択されます。他の周波数には変更できません。
> ・「TI」は、Traffic Informationの略記です。

■ メッセージ画面

◆ 「FM多重放送を受信できませんでした」

表示タイミング例：

・ FM文字多重放送が受信できなかったとき

対処方法：

・FM文字多重放送が送信されていないときや、送信されていても電波状態が良好でないときは受信できません。

◆ 「FM多重放送を受信中です。しばらくお待ち下さい」

FM文字多重放送情報を新しく受信しているときに表示されます。情報画面やメニュー画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

◆ 「この情報は停車中にご覧になれます」

表示タイミング例：

・ 走行中に番組情報を選択したとき

対処方法：

・ 車を安全な所に停車させてからご利用ください。

> 知識：
> 同じように、「文字情報画面」表示中に表示されるメッセージがほかにもいくつかあります。メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。

■ 受信についての注意

● ラジオ電波

車載ラジオの受信は、移動中の車両によりアンテナの位置が刻々と変わるため一般家庭のラジオで受信する条件とは大きく異なります。したがって、以下のようなことをご理解のうえでご利用ください。

・ ラジオ電波の特性により地球上空の電離層の反射が起こることや、周囲の高層建物による電波干渉、山影などの地形の影響、刻々と変化する車両（受信）位置などにより、とくに走行中の車両では受信状況は常に変化しています。そのため家庭でのラジオ受信に比べ、受信状態が不安定になりがちです。また、同じ時刻に同じ場所での受信であっても、天候（雲の量や高度など）などの影響によって受信状態が変わることがあります。

・ 直線的に進むFM（超短波）電波の適正受信範囲の目安は、送信局のアンテナが目視できる距離とされています。FM放送では受信状態が悪くなると、ノイズが増えたり、ステレオ放送や文字多重放送が正しく受信できなくなります。

・ 違法な車載CB無線電波や点火プラグの露出した2輪車など、周囲からの電波障害による影響は回避できません。

● 放送局名表示

受信周波数に対応する放送局名表示は、自車位置をGPSより測定して該当する放送地域を判断し、その地域での周波数に対応する放送局名を表示しています。そのため該当地域外での受信時では、その放送を受信することができても放送局名を表示しないことがあります。

● FM文字多重放送受信時

・ 文字情報はラジオの受信中に送られてきますが、送られてくる情報の受信時期が番組情報とずれることがあります。そのため、同時にすべての情報画面を表示できないことがあります。
・ 番組内容やメニューなどは、各放送局の自主制作によるものであり、受信表示内容については、責任を負いかねますのでご了承ください。
・ 受信情報は、個人として楽しむなどに限られ、作成権利者である放送局の許可なしでは使用できません。

●アンテナについて

・ 車両のアンテナは、周囲の電波遮へい物の干渉や反射などで受信状況が大きく左右されます。
・ AM/FMなどの受信アンテナが、リア・ウインドウあるいはサイド・ウインドウに極細のアンテナ（金属線）でプリントされている場合に導電性の遮光フィルムなどを貼ると、アンテナとして機能できなくなることがあります。
・ 携帯電話などをリア・ウインドウあるいはサイド・ウインドウの近くで使用すると、アンテナの受信性能が低下することがあります。
・ 着脱式のルーフアンテナを装備している車種は、ルーフアンテナを取り外すとラジオの受信性能が低下することがあります。

3.　CD

■ CD操作スイッチ

1 オーディオモードキー（AUDIO）
オーディオモードのON

2 トラック操作キー（<< >>）
トラック操作

3 ソフトキー
画面の左右に表示している機能の実行

4 テンキー
CDチェンジャー内のディスクを選ぶ

5 音量調整ノブ
音量の調整

6 消音キー（MUTE）
消音（一時消音）

7 ディスクイジェクトキー
ディスクの出し入れ

● ステータス表示（CDモード）

● ステータス表示（CDチェンジャーモード）

■ CDの出し入れ

⏏ キーを押して、地図ディスクを取り出したあと、再生したいCDを入れます。

自動的に再生が始まります。

> 知識：
> 再生の中止（他モードにするなど）後、再び再生を始めると、中止した位置から再生されます。

CDを取り出す

⏏ キーを押して取り出します。

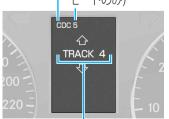
> 注意：
> CD、DVDビデオ、ビデオCD以外は挿入しないでください。

■ CDを再生する

CDがすでに入っているときは、AUDIO キーを押し、CD または CDC ソフトキーを押すと、CDまたはCDチェンジャーがONになり自動的に再生が始まります。

◆ メータ内表示

CD：CDモード
CDC：CDチェンジャーモード

3
CD

■ 基本画面

● ソフトキーの説明

◆ CD再生時

CD ：CD（→P3-3）

本機のCDを再生します。

RPT ：繰り返し再生

再生中の曲を繰り返して再生します。
OFF：もう一度押します。

SCAN ：タイトルスキャン(曲目探し)

再生中のCDの各曲目の始めの部分（約8秒間）だけを次々に再生します。探している曲が見つかったら、もう一度押して、通常再生します。

> 知識：
> 最後の曲までくると、タイトルスキャンが始まった曲からの通常再生が始まります。

RDM ：ランダム（順不同）再生

再生中のCDを、収録曲の順番にかかわらず順不同に再生します。
OFF：もう一度押します。

調整 ：調整

音質・音場を調整します。
（音質・音場を調整する→P1-16）

◆ CDチェンジャー＊再生時

CDC ：CDC（→P3-3）

CDチェンジャーのCDを再生します。

RPT ：繰り返し再生

短く（0.8秒以下）押すと
再生中の曲を繰り返して再生します。

長く（0.8秒以上）押すと
再生中のディスクを繰り返して再生します。
OFF：もう一度押します。

SCAN ：タイトルスキャン(曲目探し)

再生中のCDの各曲目の始めの部分（約8秒間）だけを次々に再生します。探している曲が見つかったら、もう一度押して、再生させます。

RDM ：ランダム（順不同）再生

短く（0.8秒以下）押すと
再生中のCDを、収録曲の順番にかかわらず順不同に再生します。
OFF：もう一度押します。

長く（0.8秒以上）押すと
チェンジャー内のCD全曲をランダム再生します。
OFF：もう一度押します。

調整 ：調整

音質・音場を調整します。
（音質・音場を調整する→P1-16）

> 知識：
> 繰り返し再生中またはランダム再生中に SCAN ソフトキーを押すと、タイトルスキャンを開始し、タイトルスキャンが終了してから再び繰り返し再生またはランダム再生になります。

＊オプションや車種、仕様により装備が異なります

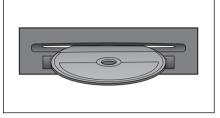
■ CDチェンジャー＊のセットのしかた（スロットインタイプ）

グローブボックス内のCDチェンジャーに以下の手順でCDをセットします。

● CDを入れる

1. グローブボックスのカバーを開きます。

2. [1]～[6]キーを押し、ディスク番号を選びます。

3. ディスク番号ランプが点滅（緑）している間に、ディスクを入れます。

CDはラベル面を上にして入れてください。

ディスクが入っていない[1]～[6]キーのうちのいずれかを長く（0.8秒以上）押すと、一度の操作でディスクが入っていないトレイに順にCDを入れることができます。

◆ ディスク番号ランプについて

（消灯）：CDが入っていない。

（赤点灯）：CDが入っている。

（赤点滅）：CDを出し入れする準備をしています。しばらくお待ちください。

（緑点滅）：CDを入れることができます。

＊オプションや車種、仕様により装備が異なります

知識：
CDチェンジャーを演奏しているときに他のCDを出し入れすると演奏は中止されます。

注意：
・シングルCD（8cmCD）は使用できません。
・CD以外は挿入しないでください。
・CDの取り扱いは、P3-12の「CD取り扱いの注意」をお読みください。

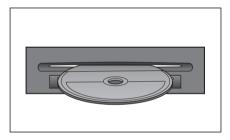
3

CD

● CDを取り出す

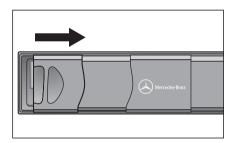
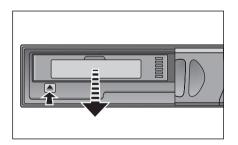
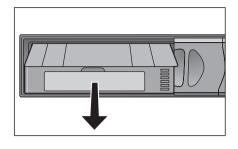
1. [1]～[6]キーを押し、ディスク番号を選びます。

2. ディスクを取り出します。

ディスクが入っている[1]～[6]キーのうちのいずれかを長く（0.8秒以上）押すと、すべてのディスクが順に排出されます。

■CDチェンジャー＊のセットのしかた（マガジンタイプ）

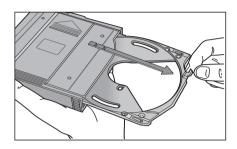
グローブボックス内のCDチェンジャーに以下の手順でCDをセットします。

●CDマガジンの取り出し

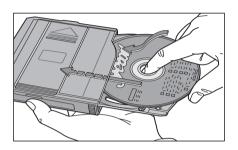
1.スライドドアを「カチッ」と音がするまで開きます。

2.▲を押すと、CDマガジンが押し出されます。

3.CDマガジンを取り出します。

注意：
・開いたCDマガジン挿入部には、CDマガジン以外の異物を入れないでください。故障の原因になります。
・CDの取り扱いは、P3-12の「CD取り扱いの注意」をお読みください。

＊オプションや車種、仕様により装備が異なります

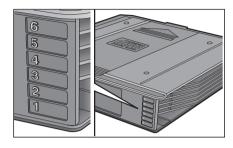
●CDをセットする

1. CDマガジンを水平に持ちます。トレイのフックに指をかけて、トレイが止まるまでスロット(収納棚)からゆっくり引き出します。

注意：
・トレイを引き出すと、トレイが抜ける前に止まりますので、CDはこの状態で交換します。トレイを取りはずすときはさらに引き出してください。
・8cmCDを使用するときは、専用の別売トレイ(アルパイン製KAE-800C)を使用してください。ほかの8cmシングルCD用アダプターを使用すると、誤作動や故障の原因になります。

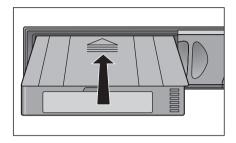
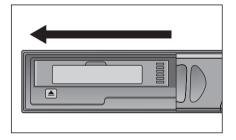
2. 引き出したトレイにラベル印刷面を上側にしてCDを入れます。

3. CDを入れたトレイをCDマガジンのスロットに差し込み、「カチッ」と音がしてトレイがロックされるまで押し込みます。

注意：
・トレイを水平に持ちながらトレイの凹部に合わせてCDを入れ、CDが確実に凹部に入るようにしてください。トレイに対しCDが浮いていると、スロットに確実に入りません。

スロット番号

CDマガジンのスロットは下図のように、下側が「1」になります。各スロットに記載の番号が本体に画面表示されるCDのディスク番号となります。

> 注意：
> ・差し込んだトレイが確実にロックされていれば、CDマガジンを傾けてもトレイが出てくることはありません。
> ・すべてのトレイにCDを入れる必要はありませんが、CDが入っていないトレイも紛失や変形を避けるためCDマガジン内に正しく入れてください。

●CDマガジンを入れる

1. CDマガジンの矢印⏏を上側にして、矢印方向にCDマガジンを差し込みます。「カチッ」と音がしてCDマガジンがロックされるまで押し込みます。

2. スライドドアを閉めます。

> 注意：
> ・CDマガジン出し入れのとき以外は、スライドドアを確実に閉めてください。開いたまま放置すると、ほこりや異物が入り、故障の原因になります。
> ・専用のCDマガジンとトレイ以外のものは使用しないでください。

■ 基本操作

● 聞きたいCDを選ぶ（CDチェンジャーのみ）

画面にディスクが表示されているディスク番号の中から【テンキー】を押して選びます。画面にディスクが表示されない番号（スロット）は、トレイ内にCDが入っていないことを示します。

本体、メータ内ともにディスク番号表示が変わることで確認できます。

● 聞きたい曲を選ぶ（トラック操作）

トラックアップ：
[»] キーを短く（0.8秒以下）押すと、次の曲を再生します。

トラックダウン：
[«] キーを短く（0.8秒以下）押すと、再生中の曲の頭出しをします。

知識：
- [»] キー（または [«] キー）を繰り返し押すと、押した分だけトラック番号が進み（戻り）ます。
- [»] キー（または [«] キー）を長く（0.8秒以上）押すと、押している間だけ再生中の曲が早送り（早戻し）されます。
- トラック操作は再生中のCD内で行うことができます。

● 一時消音

CDの音声を聞いているときに一時消音するときは、[MUTE] キーを押します。

[MUTE(消音)の使いかた→P1-13]

■ メッセージ画面

● エラーメッセージ画面

◆「音楽ディスクが入っていません」

表示タイミング例：

・ 音楽用CD以外のディスクが入っているとき
・ CDチェンジャーのとき該当番号のトレイにCDが入っていないとき

対処方法：

・ 音楽用CDを入れてください。
・ CDチェンジャーのときはCDが入っている番号を選んでください。
・ CDチェンジャーに音楽用のCDを入れてください。

● その他のメッセージ画面

◆「しばらくお待ちください」(CDチェンジャーのみ)

CDを排出するときに表示されます。

◆「CDを抜いてください」

CDを排出後、CDを抜かずに放置していると表示されます。

> 知識：
> 同じように、表示されるメッセージがほかにもいくつかあります。メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。

■ MP3データを再生する＊

CDチェンジャー(スロットインタイプ)＊でMP3データの再生が行えます。
操作方法は通常の音楽用CDと同様です。
(CDを再生する→P3-3)

● MP3とは？

正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEGが定めた圧縮規格です。
MP3は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。
また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10の圧縮率を得ることができます。(サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合)
このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

＊オプションや車種、仕様により装備が異なります

● 再生可能なファイル

CDチェンジャーで再生可能なMP3ファイルは、拡張子が“mp3”です。

◆ 再生可能なサンプリングレート・ビットレート

サンプリングレート：
8kHz、11.025kHz、12kHz、16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

ビットレート：
8kbps〜320kbps

ただし、ライティングソフトおよびサンプリングレートによっては正常に再生されない場合があります。
上記記載以外は動作を保証致しかねます。

● 対応メディア

再生できるメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RWです。

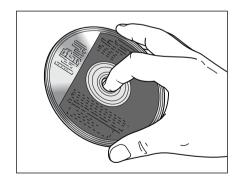
注意：
個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3データ含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

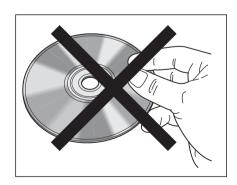
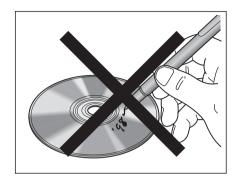
■ CD取り扱いの注意

● 再生できるCD

ディスクレーベル面にCDロゴ（下記）の入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

・DVD-R/RWは再生できません。
・CDを高温になる場所や直射日光が当たるところに放置しないでください。熱により変形することがあります。
・CDはケースに入れて保管してください。

CDを手に持つときは、中心の穴と周囲の縁部分を支えるようにしてください。また、CDを曲げたりしないでください。

万一ディスク面が汚れたときは、水で湿らせた柔らかい布で中心部から外側に向けてふき取った後、乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。
CDは合成樹脂でできていますので、アルコールやシンナー、ガソリンなどの揮発性溶液が触れないようにしてください。汚れがひどいときは、専用のCDクリーナー、あるいは中性洗剤の水溶液を使用してください。

ディスク面に直接手を触れないでください。とくに虹色に輝く録音面（印刷ラベル面の裏側）に、傷や汚れがつくと正しく再生できなくなります。

ディスク面に文字を書き込んだり、シールなどの異物を貼りつけたりしないでください。正しく再生できなくなります。

●音飛びについて

踏切の通過時や未舗装路などの路面の状態によっては、振動により音飛びが起こることがあります。
音飛びが続くときは、CD再生を中断して路面状態がよくなってから再生を始めてください。

●結露（露つき）について

低温時や雨降りの多湿時に本システム内部およびCDチェンジャー内部で結露することがあります。このようなときは、再生中に音飛びが起きたり、再生が中断されます。
自然乾燥により結露が解消するまで、一時的にCD再生を中止してください。

●特殊形状のディスクについて

ハート形や八角形など、特殊形状のディスクを使用しないでください。故障の原因になります。

4.　テレビ

■ テレビ操作スイッチ

1 テレビモードキー（TV）
TVモード（TV/DVDビデオ/ビデオCD）のON

2 選局キー（≪ ≫）
選局操作

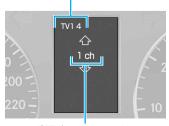
3 ソフトキー
画面の左右に表示している機能の実行

4 テンキー
プリセット番号の選択

5 音量調整ノブ
音量の調整

6 消音キー（MUTE）
消音（一時消音）

● ステータス表示

メータ内表示

■ テレビを見る

1. TV キーを押します。

2. TV1/2 ソフトキーを押します。

TV1/2 ：押すたびに、プリセット画面（TV1とTV2）が切り換わります。
TV1とTV2は、それぞれ各12局まで放送局を記憶できます。
画面に表示された放送局のプリセット番号の中から、【テンキー】を押して選びます。

> 知識：
> ・走行中は、安全のためテレビ音声だけになります。
> ・テレビ画面は、停車中でかつパーキング・ブレーキが作動中のときに見ることができます。

■ 基本画面

● ソフトキーの説明

TV1/2 ：TV1/2
押すたびにプリセット画面（TV1とTV2）が切り換わります。

スクリーン表示 ：スクリーン表示
スクリーンが全画面表示されます。

AUTO.P ：オートプリセット（→P4-4）
受信可能な放送局を自動的に探して、プリセット番号に割り当てます。

リスト ：リスト
チャンネルリストが表示されます。

主・副 ：音声多重放送の選択（→P4-5）
2カ国語放送時に、主音声または副音声を選びます。

調 整 ：調整（→P4-6）
映像・音声を調整します。

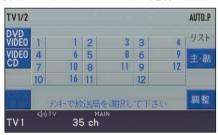
■ 選局する

放送局を選ぶには、以下の方法があります。

- **プリセット選局**
  あらかじめ記憶した放送局を選びます。
- **自動選局**
  次に受信できる放送局を探します。
- **手動選局**
  受信電波が弱く、オートプリセットや自動選局ができない放送局に手動でチャンネルを合わせます。

● プリセット選局

オートプリセット：
TV1/2それぞれ12局まで放送局を記憶できます。（最大24局）

1. AUTO.P ソフトキーを長く（0.8秒以上）押すと、オートプリセットを開始します。

受信可能なチャンネルが各プリセット番号に記憶されます。

2. 受信する放送局の選択は、【テンキー】で選びます。

知識：
- オートプリセットを行うと、それまでの記憶は消去され、新たに放送局を記憶します。
- 受信電波状態によっては、ノイズだけを受信することもあります。また、同じ場所でオートプリセットを繰り返したときでも、異なる放送局が記憶されるときがあります。

手動プリセット：
受信中の放送局を希望するプリセット番号に設定できます。
番組受信中に希望するプリセット番号に相当する【テンキー】を長く（0.8秒以上）押します。

● 自動選局

« または » キーを長く（0.8秒以上）押すと、次に受信できる放送局で停止します。

» キーを長く（0.8秒以上）押すと、チャンネル番号の大きい方向に選局します。

« キーを長く（0.8秒以上）押すと、チャンネル番号の小さい方向に選局します。

知識：
- 受信電波状態によっては、ノイズだけを受信することがあります。
- ステアリング・スイッチの ⇧/⇩ スクロールスイッチでも同じように操作できます。

●手動選局

« または » キーを短く（0.8秒以下）押すと、押すたびに次のチャンネルに変わり、自動選局で受信できないような受信電波の弱い放送局も受信できます。

» キーを短く(0.8秒以下）押すと、チャンネル番号の大きい方向に進みます。

« キーを短く（0.8秒以下）押すと、チャンネル番号の小さい方向に進みます。

> 知識：
> ・手動選局時は、受信状態にかかわらず1チャンネル分ずつ変わります。
> ・受信電波が弱い放送局では、ノイズが多く不安定な受信状態になります。また、ステレオ放送、2カ国語放送が受信できず、モノラルで受信することがあります。

● 一時消音

テレビの音声を聞いているときに一時消音するときは、MUTE キーを押します。

[MUTE(消音)の使いかた→P1-13]

■ 便利な機能

● 音声多重放送

2カ国語放送受信時に、主音声または副音声あるいは、主/副混合音声が選べます。

主・副 ソフトキーを押します。

押すたびに「MAIN（主音声）」→「SUB(副音声)」→「MAIN(主音声)/SUB(副音声)」と切り換わります。

2か国語放送でないときに 主・副 ソフトキーを押すと、表示は変わりますが音声出力は変わりません。

4 テレビ

■ 映像・音声の調整

● 調整画面を表示する

調整 ソフトキーを押します。

調整画面が表示されます。

◆ ソフトキーの説明

明るさ ：明るさ調整

∧ 、∨ ソフトキーで調整します。

CONTRAST：コントラスト
BRIGHTNESS：明るさ

色あい ：色調整

∧ 、∨ ソフトキーで調整します。

COLOR（色あい）またはDEPTH（色のこさ）を調整します。

COLOR（色あい）	DEPTH（色のこさ）
∧：緑がかる	∧：こくなる
∨：赤紫がかる	∨：うすくなる

画面サイズ ：**画面サイズ調整**

ノーマル 、ワイド1 、ワイド2 いずれかのソフトキーを押します。

ノーマル

4：3(よこ：たて)の割合の画面（普通のテレビ画面の比率）で両端が黒く表示されます。

ワイド1

4：3(よこ：たて)の割合の画面を左右方向に均等に拡大して表示されます。

ワイド2

4：3(よこ：たて)の割合の画面を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。この場合、上下方向も左右方向と同じように拡大するため、上下の画面が切れて表示されます。

画面消し：**画面を消す**

(画面表示を消す→P1-8)

音質：**音質を調整する**

音場：**音場を調整する**

(音質・音場を調整する→P1-16)

■ メッセージ画面

◆「安全のため走行中は映像はうつりません」

表示タイミング例：

・ 映像画面表示中に、車両が動き出したりして駐車中の条件から外れたとき

対処方法：

・ 走行中もテレビ音声だけは聞くことができます。安全な場所に駐車してからテレビ画像をお楽しみください。
・ メッセージは約6秒後に消えます。

■ テレビ受信についての注意

● アンテナについて

・ 一般家庭の使用時のように屋根の上など高い所に屋外アンテナを設置できず、路面を走行する車両のアンテナは、設置位置が低いため周囲の電波遮へい物の干渉や反射などで受信状況が大きく左右されます。
・ テレビの受信アンテナが、リア・ウインドウあるいはサイド・ウインドウに極細のアンテナ（金属線）でプリントされている場合に導電性の遮光フィルムなどを貼ると、アンテナとして機能できなくなることがあります。
・ 携帯電話などをリア・ウインドウ近くで使用すると、アンテナの受信性能が低下することがあります。
・ 着脱式のルーフアンテナを装備している車種は、ルーフアンテナを取り外すとテレビの受信性能が低下することがあります。

●地上デジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、2006年末までに全国で放送が開始される予定です。これに伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月に終了することが国の方針として決定されています。車載のマルチファンクションコントローラーのテレビ機能は地上デジタルテレビ放送には対応していないため、2011年7月以降はテレビ放送が視聴できなくなります。ご了承ください。

● テレビ電波

車載テレビの受信は、移動中の車両によりアンテナの位置が刻々と変わるため一般家庭のテレビで受信する条件とは大きく異なります。したがって、以下のようなことをご理解のうえでご利用ください。

・ テレビ電波の特性により地球上空の電離層で反射が起こることや、周囲の高層建物による電波干渉、山影などの地形の影響、刻々と変化する車両（受信）位置などにより、とくに走行中の車両では受信状況は常に変化しています。そのため家庭でのテレビ受信に比べ、受信状態が不安定になりがちです。また、同じ時刻に同じ場所での受信であっても、天候（雲の量や高度など）などの影響によって受信状態が変わることがあります。
・ 直線的に進むテレビ（超短波）電波の適正受信範囲の目安は、送信局のアンテナが目視できる距離とされています。テレビ電波の受信状態が悪くなると、画像が乱れたり、不安定になり、音声だけのときでも音声ノイズが増えますので、受信状態の良好なチャンネルに変えることをおすすめします。
・ 違法な車載CB無線電波や点火プラグの露出した2輪車など、周囲からの電波障害による画像の乱れ、雑音などの影響は回避できません。

● 放送局名表示

受信チャンネルに対応する放送局名表示は、自動車位置をGPSによって感知して該当する放送地域を判断し、その地域でのチャンネルに対応する放送局名を表示しています。そのため該当地域外での受信時では、その放送を受信することができても放送局名を表示しないことがあります。

5. DVDビデオ/ビデオCD

■ DVDビデオ/ビデオCD操作スイッチ

1 テレビモードキー（TV）
TVモード（TV/DVDビデオ/ビデオCD）のON

2 チャプター/トラック操作キー（≪ ≫）
チャプター/トラック操作

3 ソフトキー
画面の左右に表示している機能の実行

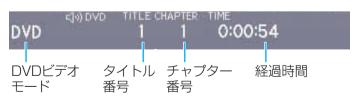
4 テンキー
チャプター/トラック番号の選択

5 音量調整ノブ
音量の調整

6 消音キー（MUTE）
消音（一時消音）

7 ディスクイジェクトキー
ディスクの出し入れ

8 カーソル/決定キー（OK）
メニュー画面の選択・決定

● ステータス表示

■ ディスクの出し入れ

[⏏] キーを押して地図ディスクを取り出したあと、再生したいディスクを入れます。

自動的に再生が始まります。

ディスクを取り出す

[⏏] キーを押して取り出します。

注意：
CD、DVDビデオ、ビデオCD以外は挿入しないでください。

■ ディスクを再生する

ディスクがすでに入っているときは、[TV] キーを押し、[DVD VIDEO] または [VIDEO CD] ソフトキーを押すと、再生が始まります。

◆ メータ内表示

DVD：DVDビデオモード
VIDEO CD：ビデオCDモード

再生中のチャプター/トラック番号

■ 基本画面

DVDビデオモード/ビデオCDモードで、いずれかのソフトキーを押すと、基本画面（右図）が表示されます。

● ソフトキーの説明

DVDビデオモード/ビデオCDモード基本画面では、ソフトキーで以下の操作ができます。

DVD VIDEO ：DVDビデオを再生します。
（→P5-3）

VIDEO CD ：ビデオCDを再生します。
（→P5-3）

スクリーン表示 ：スクリーンが全画面表示されます。

DVDメニュー ：DVDメニューが表示されます。
（DVDビデオ）
（→P5-9）

タイトルメニュー ：タイトルメニューが表示されます。
（DVDビデオ）（→P5-9）

サブメニュー ：サブメニュー画面が表示されます。
（→P5-6）

設定 ：設定画面が表示されます。
（→P5-11）

調整 ：映像・音声を調整します。
（→P5-10）

CDメニュー ：CDメニュー画面が表示されます。
（ビデオCD）（→P5-9）

DVDビデオ基本画面

ビデオCD基本画面

知識：
・ディスクによっては、DVDメニューまたはタイトルメニュー(DVDビデオ)、CDメニュー(ビデオCD)が表示されるものがあります。そのときは、OKキー(DVDビデオ)または【テンキー】(ビデオCD)で操作してください。
(タイトルメニュー/DVDメニュー/CDメニューの操作は、ディスクによって異なります。)
・DVDビデオ、ビデオCD再生中に他のモードに切り換えると、再生を中止します。
もう一度DVDビデオモード/ビデオCDモードにすると、中止した位置から再生を始めます。
・ナビゲーションモードに切り換えるときは、再生中のディスクを取り出して、地図ディスクを入れてください。

■ 基本操作

● 見たいチャプター/トラックを選ぶ

»キーを短く（0.8秒以下）押します。

次のチャプター/トラックを再生します。

«キーを短く（0.8秒以下）押します。

再生中のチャプター/トラックの頭出しをします。

知識：
・»キー（または«キー）を繰り返して押すと、押した分だけチャプター/トラック番号が進み（戻り）ます。
・»キー（または«キー）を長く（0.8秒以上）押すと、押している間だけ再生中のチャプター/トラックが早送り（早戻し）されます。
・ビデオCDの場合、トラックの頭出しができない場合があります。詳しくはディスクの説明書をお読みください。

● 一時消音

DVDビデオ、ビデオCDの音声を聞いているときに一時消音するときは、MUTEキーを押します。

[MUTE(消音)の使いかた→P1-13]

● サブメニューを表示する

サブメニュー ソフトキーを押します。

サブメニュー画面が表示されます。

◆ ソフトキーの説明

字幕切換：字幕言語を切り換えます。（DVDビデオ）（→P5-7）

アングル切換：アングルを切り換えます。（DVDビデオ）（→P5-7）

音声切換：音声言語を切り換えます。（DVDビデオ）（→P5-7）

主・副：音声（主/副音声）を切り換えます。（ビデオCD）（→P5-9）

リターン：ディスクで決められた画面へ移動します。

ポーズ：一時停止します。（→右記）

タイトルサーチ：タイトル番号を選びます。（DVDビデオ）（→P5-8）

番号入力：番号入力を選びます。（ビデオCD）（→P5-8）

停止：再生が止まります。（→P5-7）

> 知識：
> 各ソフトキーの操作について
> ディスクによっては、操作できない場合があります。その場合は禁止マークが表示されます。

◆ 一時停止する

サブメニュー画面（→左記）で、ポーズ ソフトキーを押します。

一時停止します。

もう一度再生する

一時停止中に、再度 ポーズ ソフトキーを押します。

スロー再生する

一時停止中に、 » キーを長く（0.8秒以上）押します。

スロー再生から一時停止に戻る

スロー再生中に、再度 ポーズ ソフトキーを押します。

◆ 再生を止める

サブメニュー画面（→P5-6）で、停止ソフトキーを押します。

再生が止まります。

止めたところからもう一度再生する

停止中に、再度 停止 ソフトキーを押します。

◆ 音声言語を切り換える（DVDビデオ）

サブメニュー画面（→P5-6）で、音声切換ソフトキーを押します。

押すたびに音声言語が切り換わります。

◆ 字幕言語を切り換える（DVDビデオ）

サブメニュー画面（→P5-6）で、字幕切換ソフトキーを押します。

押すたびに字幕言語が切り換わります。

◆ アングルを切り換える（DVDビデオ）

サブメニュー画面（→P5-6）で、アングル切換ソフトキーを押します。

押すたびにアングルが切り換わります。

知識：
- 切り換えられる音声、字幕、アングルの種類は、ディスクによって異なります。詳細はディスクの説明書をご覧ください。
- 設定画面から音声/字幕言語を切り換えることもできます。

◆ タイトル番号選択（DVDビデオ）

1. サブメニュー画面で(→P5-6)、タイトルサーチソフトキーを押します。

2. 【テンキー】で、タイトル番号を入力します。

番号を修正するときは、修正ソフトキーを押します。

3. 完了ソフトキーを押します。

知識：
- 手順2でタイトル番号入力後、6秒以上何もしないでいると、自動的に入力したタイトル番号へ移動します。
- タイトルの数は、ディスクによって異なります。詳細はディスクの説明書をご覧ください。

◆ 番号入力（ビデオCD）

1. サブメニュー画面で(→P5-6)、番号入力ソフトキーを押します。

2. 【テンキー】で、番号を入力します。

番号を修正するときは、修正ソフトキーを押します。

3. 完了ソフトキーを押します。

知識：
- 手順2で番号入力後、6秒以上何もしないでいると、自動的に入力した番号へ移動します。
- ディスクによっては操作できないものもあります。詳細はディスクの説明書をご覧ください。

◆ 主/副音声を切り換える（ビデオCD）

ディスクが2種類の音声を収録しているときに、主音声または副音声あるいは、主/副混合音声が選べます。

主・副 ソフトキーを押します。

押すたびに「MAIN（主音声）」→「SUB(副音声)」→「MAIN(主音声)/SUB(副音声)」と切り換わります。

音声多重でないときに 主・副 ソフトキーを押すと、表示が変わりますが音声出力は変わりません。

● メニューを操作する

1. メニューを選びます。

DVDメニュー：DVDメニューが表示されます。(DVDビデオ)

タイトルメニュー：タイトルメニューが表示されます。(DVDビデオ)

CDメニュー：CDメニューが表示されます。(ビデオCD)

2. ビデオCDの場合、【テンキー】でメニューの項目を選びます。

DVDビデオの場合、OKキーでメニューの項目を選び、OKキーを押します。

DVDメニュー画面例

> 知識：
> メニューの内容は、ディスクによって異なります。詳細はディスクの説明書をご覧ください。

■映像・音声の調整

● 調整画面を表示する

調整 ソフトキーを押します。

調整画面が表示されます。

◆ ソフトキーの説明

明るさ：明るさ調整

∧、∨ソフトキーを押して、CONTRAST（コントラスト）またはBRIGHTNESS（明るさ）を調整します。

色あい：色調整

∧、∨ソフトキーを押して、COLOR（色あい）またはDEPTH（色のこさ）を調整します。

COLOR（色あい）
∧：緑がかる
∨：赤紫がかる

DEPTH（色のこさ）
∧：こくなる
∨：うすくなる

画面サイズ：**画面サイズ調整**

ノーマル ワイド1 ワイド2 いずれかのソフトキーを押します。

ノーマル

4：3(よこ：たて)の割合の画面（普通のテレビ画面の比率）で両端が黒く表示されます。

5
DVDビデオ／ビデオCD

ワイド1

4：3(よこ：たて)の割合の画面を左右方向に均等に拡大して表示されます。

ワイド2

4：3(よこ：たて)の割合の画面を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。この場合、上下方向も左右方向と同じように拡大するため、上下の画面が切れて表示されます。

画面消し：**画面を消す**

(画面表示を消す→P1-8)

音質：**音質を調整する**

音場：**音場を調整する**

サラウンドレベル：**サラウンドレベルを調整する**

(音質・音場を調整する→P1-16)

■ 設定画面の操作

●設定画面を表示する

設定 ソフトキーを押します。

設定画面が表示されます。

知識：
設定を変更した場合、ディスクの先頭に戻って再生されます。

(次ページへ続きます)

◆ 音声設定

1. OKキーで設定画面（→P5-11）の「音声」を選び、OKキーを押します。

2. 【テンキー】で、音声言語を選び、完了ソフトキーを押します。
「9 その他」を選んだ場合は、言語番号を入力します。（言語番号表→P5-19）

「2 英語」を選んだ例

> 知識：
> 設定を行ってもディスクによっては異なった音声で再生されることがあります。

◆ メニュー言語設定

1. OKキーで設定画面（→P5-11）の「メニュー」を選び、OKキーを押します。

2. 【テンキー】で、メニュー言語を選び、完了ソフトキーを押します。
「9 その他」を選んだ場合は、言語番号を入力します。（言語番号表→P5-19）

「2 英語」を選んだ例

> 知識：
> 設定を行ってもディスクによっては異なった言語で再生されることがあります。

◆ 字幕設定

1. OK キーで設定画面（→P5-11）の「字幕」を選び、OK キーを押します。

2. 【テンキー】で、字幕言語を選び、完了 ソフトキーを押します。
「9 その他」を選んだ場合は、言語番号を入力します。（言語番号表→P5-19）

「2 英語」を選んだ例

知識：
設定を行ってもディスクによっては異なった言語で再生されることがあります。

◆ 視聴制限

制限レベルが設定されているDVDビデオ（成人向けや暴力シーンが含まれているもの）を、レベルに応じて再生できなくする機能です。

視聴制限レベルを設定する

1. OK キーで設定画面（→P5-11）の「視聴制限」を選び、OK キーを押します。

2. 【テンキー】で、パスワードを登録し、完了 ソフトキーを押します。

現在のレベル設定（画面例：レベル8）が表示されます。

（次ページへ続きます）

3. 【テンキー】で、視聴制限レベルを選び、完了ソフトキーを押します。

選んだレベル（画面例：レベル4）に設定されます。

視聴制限レベルを変更する

1. OKキーで設定画面（→P5-11）の「視聴制限」を選び、OKキーを押します。

2. 【テンキー】で、パスワードを入力し、完了ソフトキーを押します。（「視聴制限を設定する」で設定したパスワードを入力してください）

現在のレベル設定（画面例：レベル4）が表示されます。

3. 【テンキー】で、視聴制限レベルを変更し、完了ソフトキーを押します。

選んだレベル（画面例：レベル6）に変更されます。

パスワードを解除する

手順2の画面で【テンキー】の「*」を長く（10秒以上）押します。

> 知識：
> ・パスワードは忘れないように必ず控えておいてください。もし忘れてしまったときは、パスワードを解除して、再度登録しなおしてください。
> ・視聴制限レベルについて
> レベル1が最も制限され、以下数字が大きくなるごとに制限は弱まります。レベル8は無制限で視聴制限は設定されません。

■ メッセージ画面

◆「安全のため走行中は映像はうつりません」

表示タイミング例：

・映像画面表示中に、車両が動き出したりして駐車中の条件から外れたとき

対処方法：

・走行中も音声だけは聞くことができます。安全な場所に駐車してから画像をお楽しみください。
・メッセージは約6秒後に消えます。

● エラーメッセージ画面

◆「DVD VIDEOが入っていません」

表示タイミング例：

・DVDビデオ以外のディスクが入っているときに DVD VIDEO ソフトキーが押されたとき

対処方法：

・DVDビデオを入れてください。

◆「VIDEO CDが入っていません」

表示タイミング例：

・ビデオCD以外のディスクが入っているときに VIDEO CD ソフトキーが押されたとき

対処方法：

・ビデオCDを入れてください。

◆「リージョンコードが違います」（DVDビデオのみ）

表示タイミング例：

・本システムでは対応していない地域の（「2」以外の）DVDビデオソフトを再生しようとしたとき

対処方法：

・DVDビデオを再生するときは必ずリージョンコード「2」または「ALL」のディスクを再生してください。

> 知識：
> DVDビデオには、販売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられたリージョンコードがあります。本システムのリージョンコードは「2」ですので、「2」（「2」を含むもの）または「ALL」が表示されたディスクの再生ができます。

◆「入力したパスワードが間違っています」（DVDビデオのみ）

表示タイミング例：

・視聴制限レベルを変更するさいに間違ったパスワードを入力したとき

対処方法：

・正しいパスワードを再度入力し直してください。

> 知識：
> 同じように、表示されるメッセージがほかにもいくつかあります。メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。

■ ディスク取り扱いの注意

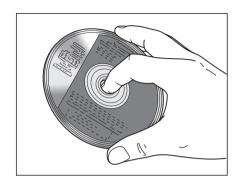
● 再生できるディスク

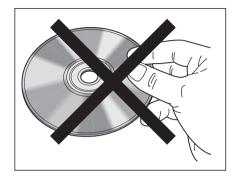
再生できるディスクは、下記のマークがラベル印刷面に記載されているものに限ります。

・ 本システムはドルビーデジタルで記録された音声を再生できます。

DOLBY
DIGITAL

・ PBC（プレイバックコントロール：表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選べる）機能付きのビデオCDも再生できます。
・ DVD-R/RWは再生できません。
・ 本システムはDTSには対応していませんので、DTS音声のディスクは再生できません。
・ ディスクを高温になる場所や直射日光に当たるところに放置しないでください。高温下ではディスクが熱により変形することがあります。変形したディスクを使用すると故障の原因になります。
・ 保管するときはディスクどうしを直接重ねたりせず、ケースに入れて保管してください。

ディスクを手に持つときは下図のように、中心の穴と周囲の縁部分を支えるようにしてください。また、ディスクを曲げたりしないでください。

万一ディスク面が汚れたときは、水で湿らせた柔らかい布で中心部から外側に向けてふき取った後、乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。
ディスクは合成樹脂でできていますので、アルコールやシンナー、ガソリンなどの揮発性溶液が触れないようにしてください。汚れがひどいときは、専用のクリーナー、あるいは中性洗剤の水溶液を使用してください。

ディスク面に直接手を触れないでください。とくに虹色に輝く録音面（印刷ラベル面の裏側）に、傷や汚れがつくと正しく再生できなくなります。

ディスク面に文字を書き込んだり、シールなどの異物を貼りつけたりしないでください。正しく再生できなくなります。

●音飛びについて

踏切の通過時や未舗装路などの路面の状態によっては、振動により音飛びが起こることがあります。
音飛びが続くときは、再生を中断して路面状態がよくなってから再生を始めてください。

●結露（露つき）について

低温時や雨降りの多湿時に本システム内部で結露することがあります。このようなときは、再生中に音飛びが起きたり、再生が中断されます。
自然乾燥により結露が解消するまで、一時的にディスク再生を中止してください。

●特殊形状のディスクについて

ハート形や八角形など、特殊形状のディスクを使用しないでください。故障の原因になります。

言語番号表

番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名
6565	アファル	7285	ハンガリー	8084	ポルトガル
6566	アブハジア	7289	アルメニア	8185	ケチュア
6570	アフリカーンス	7365	インターリングア	8277	レトロマンス
6577	アムハラ	7378	インドネシア	8279	ルーマニア
6582	アラビア	7383	アイスランド	8285	ロシア
6583	アッサム	7384	イタリア	8365	サンスクリット
6588	アイマラ	7387	ヘブライ	8368	シンド
6590	アゼルバイジャン	7465	日本語	8372	セルボクロアチア
6665	バシキール	7473	イディッシュ	8373	シンハラ
6669	ベロルシア(白ロシア)	7487	ジャワ	8375	スロバキア
6671	ブルガリア	7565	グルジア	8376	スロベニア
6672	ビハール	7575	カザフ	8377	サモア
6678	ベンガル（バングラ）	7576	グリーンランド	8378	ショナ
6679	チベット	7577	カンボジア	8379	ソマリ
6682	ブルターニュ	7578	カンナダ	8381	アルバニア
6765	カタロニア	7579	韓国（朝鮮）語	8382	セルビア
6779	コルシカ	7583	カシミール	8385	スンダ
6783	チェコ	7585	クルド	8386	スウェーデン
6789	ウェールズ	7589	キルギス	8387	スワヒリ
6865	デンマーク	7665	ラテン	8465	タミル
6869	ドイツ	7678	リンガラ	8469	テルグ
6890	ブータン	7679	ラオ	8471	タジク
6976	ギリシャ	7684	リトアニア	8472	タイ
6978	英語	7686	ラトビア（レット）	8473	ティグリニア
6979	エスペラント	7771	マダガスカル	8475	トルクメン
6983	スペイン	7773	マオリ	8476	タガログ
6984	エストニア	7775	マケドニア	8479	トンガ
6985	バスク	7776	マラヤーラム	8482	トルコ
7065	ペルシャ	7778	モンゴル	8484	タタール
7073	フィンランド	7779	モルダビア	8487	トウイ
7074	フィジー	7782	マラッタ	8575	ウクライナ
7079	フェロー	7783	マライ（マレー）	8582	ウルドゥー
7082	フランス	7784	マルタ	8590	ウズベク
7089	フリジア	7789	ビルマ	8673	ベトナム
7165	アイルランド	7865	ナウル	8679	ヴォラピュック
7168	(スコットランド)ゲール	7869	ネパール	8779	ウォロフ
7176	ガリチア	7876	オランダ	8872	コーサ
7178	グアラニー	7879	ノルウェー	8979	ヨルバ
7185	グジャラト	7982	オーリヤ	9072	中国語
7265	ハウサ	8065	パンジャブ	9085	ズールー
7273	ヒンディー	8076	ポーランド		
7282	クロアチア	8083	パシュト		

5

DVDビデオ/ビデオCD

6.　電話

画面の表示は予告なく変更されることがあります。

■ 電話操作スイッチ

1 電話モードキー（TEL）
電話モードに切り換える

2 ソフトキー
画面の左右に表示している機能の実行

3 テンキー
電話番号、メモリ番号の入力

4 音量調整ノブ
音量の調整

5 通話開始キー
通話開始操作

6 通話終了キー（HLD）
通話終了操作

7 カーソル/決定キー（OK）
メモリ番号の選択・入力・決定

● ステータス表示

◆ メータ内表示

■ 準　備

1. お手持ちの携帯電話を本システムに接続します。

知識：
使用できる携帯電話等詳細についてはMBディーラーにお問い合わせください。

2. TEL キーを押します。

電話モード基本画面が表示されます。

知識：
- 本体操作とステアリング･スイッチ操作は、それぞれ独立して操作できますので、どちらかで何らかの操作をしても、本体側表示内容とメータ内表示内容は連動せず、独立した内容を表示します。
- 本システムを通して携帯電話を充電することはできません。

■ 基本画面

● ソフトキーの説明

電話帳 ：電話帳画面へ切り換え、電話番号の登録ができます。（→P6-10）

リダイヤル ：リダイヤル番号が表示されます。走行中は、ワンタッチで直前に発信した番号へのリダイヤルのみになります。（→P6-7）

着信履歴 ：着信した電話番号が表示されます。（→P6-8）

24Hサービス ：24Hサービス
24時間無料で当社へダイレクトコールができます。（新車登録後3年間のみ有効）

自局番号 ：接続している携帯電話の電話番号が表示されます。（→P6-15）
OFF：もう一度押します。

ダイヤルロック ：ダイヤルロック（→P6-15）
電話の無断使用（発信）を防ぐことができます。

修正 ：入力した数字を修正します。

設定 ：設定画面への切り換え（→P6-16）
発信者番号通知のON/OFFの設定と音量の調整ができます。

オフ ：接続している携帯電話の電源を切ります。（→P6-17）

注意：
・たとえハンズフリー操作であっても、電話の操作や通話中に気が散ることは避けられません。安全のため、ドライバーは走行中の電話操作や通話はできるだけ控えてください。
・安全のため、走行中は電話番号を【テンキー】で入力することはできません。メモリ番号での入力のみになります。
・接続された携帯電話の機種によっては、異音が発生する場合がありますが故障ではありません。
・接続された携帯電話の操作による発信は正しく動作しない場合があります。
・一部の携帯電話の機種では、外部アンテナ（別売）が必要な場合があります。

知識：
・安全上の理由から走行中は、いくつかの機能が操作できなくなります。
・この車両のハンズフリー電話機能は、基本的にはドライバー専用になっており、マイクやスピーカーの配置もドライバーが正しい運転姿勢で座った状態を前提にしています。
・走行中にウインドウやスライディングルーフを開けていると、ハンズフリー通話を妨げることがあります。

■ 電話の発信・着信

● 電話をかける

1. TEL キーを押して、**【テンキー】**で電話番号を入力します。

電話番号を入力する
・テンキーでの入力
・リダイヤル操作での入力
・着信番号での入力
・電話帳（メモリ番号）での入力
・ステアリング・スイッチでの入力
・音声認識での入力

(電話番号の入力→P6-6)

2. キーを押します。

番号が発信されて相手先に接続します。このとき、オーディオ音量・ナビゲーション音声案内は自動的にMUTE（消音）になります。

● 通話中の画面表示

電話発信すると、通話中画面が表示されます。

自局番号：接続している携帯電話の電話番号を表示できます。表示を消すときはもう一度押します。

マイクミュート：相手先にこちらの声が聞こえなくなり、相手からの声は聞こえます。解除するときはもう一度押します。

> 知識：
> 相手の声の音量を調整するときは、音量調整ノブで音量を調整できます。

● 通話を終える（電話を切る）

通話が終わったら、あるいは電話を切るときは HLD キーを押します。

● 電話の着信

着信（電話がかかってくる）があるとスピーカーから着信呼び出し音が聞こえます。

また、電話モードのときに着信があると、以下の着信メッセージが表示されます。

相手側が番号通知設定をONにしているときは、着信相手先の電話番号が表示されます。

さらに相手の電話番号をメモリ番号に登録している場合、メモリ番号に登録している名前も表示されます。

着信した電話を受けるときは、本体側キーや、ステアリング・スイッチの キーを押す、あるいはボイスコントロールレバーを手前に引くことで、画面表示は通話中画面に切り換わり、オーディオ音量・ナビゲーション音声案内は自動的にMUTE（消音）になります。

● 応答保留機能

着信を一時的に保留できます。このとき相手側には「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」のアナウンスが聞こえます。

操作：

着信呼び出し中に HLD キーを押すと、「応答保留」になり、相手側にアナウンスが流れます。

応答保留中に電話に出るときは、キーを押します。

応答保留中に電話を切るときは、もう1度 HLD キーを押します。

> 知識：
> ・ステアリング・スイッチの と 、ボイスコントロールレバーでも同じ操作ができます。
> ・応答保留中は電話回線が接続されていますので、相手側の通話料金は加算され続けます。

■ 電話番号の入力

電話番号を入力するには、以下の方法があります。

- **【テンキー】での入力**
  【テンキー】を押して相手の電話番号を入力します。走行中は入力できません。

- **リダイヤル操作での入力**
  最近かけたことがある電話番号を5つまで記憶しており、その中から選んで入力します。走行中は最後にかけた電話番号にのみ、電話をかけることができます。

- **着信番号での入力**
  最近かかってきた電話番号を5つまで記憶しており、その中から選んで入力します。

- **電話帳（メモリ番号）での入力**
  電話帳画面表示中に、あらかじめ電話番号を登録したメモリ番号（000～699）を本体の【テンキー】で選んで入力します。走行中は入力できません。

- **ステアリング・スイッチでの入力**
  ステアリング・スイッチの ⇧/⇩ スクロールスイッチでメモリ登録した番号を選んで入力します。走行中でも入力できます。

- 音声認識での入力（→P9-14）

● テンキーでの入力

電話モード基本画面（→P6-3）表示中に【テンキー】で電話番号を入力します。入力した数字は、画面のステータス表示部に表示されます。
以下の例では、「1234567890」を入力しています。

入力した番号を修正するときは、修正ソフトキーを押すと消去できます。

短く（2秒以下）押す：1文字消去

長く（2秒以上）押す：0.5秒ごとに1文字ずつ消去

電話番号を入力したら、キーを押します。

知識：
走行中は番号入力はできません。

● リダイヤル操作での入力

リダイヤルソフトキーを押すと、最近かけたことがある電話番号を5つまで表示でき、走行中は、最後にかけた「リダイヤル1」だけが操作できます。
このとき、リダイヤルソフトキーを押すだけで、電話がかかります。

1. 電話モード基本画面(→P6-3)表示中に、リダイヤルソフトキーを押します。

最近かけたことがある電話番号が5つまで表示されます。

2. OKキーでリダイヤル番号を選びます。

3. キーを押して、電話をかけます。

(次ページへ続きます)

6 電話

知識：
・停車中に限り、リダイヤル番号をメモリ番号として登録できます。その場合は、登録したいリダイヤル番号を選び、電話帳登録ソフトキーを押してメモリ登録操作を行ってください。(→P6-10)
・5つまでのリダイヤル記憶がありますが、イグニッション・スイッチをOFFにすると、消去されます。
・リダイヤル番号が1つも記憶されていないときは、リダイヤルソフトキーは表示されません。
・走行中は、「リダイヤル1」だけに電話をかけられます。

●着信番号での入力

着信履歴 ソフトキーを押すと、最近着信した（受けた）ことがある電話番号を5つまで（発信番号通知がONであるもののみ）表示します。

1. 電話モード基本画面(→P6-3)表示中に、着信履歴 ソフトキーを押します。

2. OK キーで番号を選びます。

3. キーを押して、電話をかけます。

知識：
・停車中に限り、着信番号をメモリ番号として登録できます。その場合は、登録したい着信番号を選び、電話帳登録ソフトキーを押してメモリ登録操作を行ってください。(→P6-10)
・5つまでの着信履歴番号がありますが、イグニッション・スイッチをOFFにすると、消去されます。
・着信履歴番号が1つも記憶されていないときは、着信履歴ソフトキーは表示されません。

● 電話帳（メモリ番号）での入力

駐/停車中にあらかじめ特定のメモリ番号（000〜699）に電話番号を登録しておき、メモリ番号を選んで入力します。本体とステアリング・スイッチはそれぞれ独立して操作できます。メモリ番号への電話番号の登録方法は、「電話帳のメモリ登録・消去」をお読みください。

(電話帳のメモリ登録・消去→P6-10)

1. 電話モード基本画面（→P6-3）の電話帳ソフトキーを押します。電話帳画面の1ページ目「0〜9」の画面が表示されます。

2. 電話帳画面の表示中にOKキーで、相手の電話番号を選びます。

前ページ：前のページの電話帳が表示されます。

次ページ：次のページの電話帳が表示されます。

3. キーを押して、電話をかけます。

知識：
- メモリ番号が分かっている場合は、テンキーで番号を直接入力して、相手の電話番号を選べます。
- メモリ番号の1には、24Hサービスがはじめから登録されていますが、異なる電話番号や名前を上書きすることもできます。その場合は、24Hサービスのソフトキーも削除されます。

●ステアリング・スイッチでの入力

1. メータ内表示が電話モードのときに、ステアリング・スイッチの⇧/⇩スクロールスイッチで、メモリ番号を選びます。

Cクラス

2. ステアリング・スイッチの キーを押して、電話をかけます。

Cクラス

■ 電話帳のメモリ登録・消去

注意：
安全のため走行中は、メモリ登録操作ができません。安全な場所に駐/停車してから操作してください。

●電話帳画面を表示する

電話モード基本画面の 電話帳 ソフトキーを押します。電話帳画面の1ページ目「0～9」の画面が表示されます。

● 電話帳の登録

例として、メモリ番号「55」に相手先電話番号「123456789」と、相手先名「あ井ウA」を登録する手順を説明します。

◆相手先電話番号の設定

1. 電話帳画面（→上記）表示中に、前ページ または 次ページ ソフトキーを押してメモリ画面「50～59」のページが表示されるまで押す、あるいは【テンキー】で「5」、「5」を続けて入力すると、電話帳画面「50～59」のページが表示され、「55」が黒文字で表示されます。

2. 登録変更 ソフトキーを押します。

電話帳登録画面が表示されます。

3. OK キーで「電話番号」を選び、 変更 ソフトキーを押します。

4. 相手先の電話番号「123456789」を【テンキー】で入力し、 完了 ソフトキーを押します。

「メモリが更新されました」と表示されたあと、電話帳画面「50～59」に戻ります。

相手先名の表示が不要なときはこれで終了です。（相手先名欄は「＊＊＊」が表示されます）
相手先名の表示が必要なときは、続いて相手先名を設定します。

◆名前入力画面の表示

1. OK キーで電話帳登録画面（→P6-10）の「名前」を選び、変更 ソフトキーを押します。名前入力画面が表示されます。

2. 文字を入力します。

かな文字の入力：
（例：「あ」を入力する場合）

OK キーでかな文字一覧表の中から「あ」「確定」の順に選び、OK キーを押します。

漢字の入力：
（例：「井」を入力する場合）

OK キーで入力する漢字の読みがな（この例では「い」）を選び、漢字変換 ソフトキーを押します。

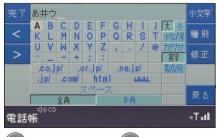
変換候補の中から OK キーで「井」を選び、OK キーを押します。

カタカナ文字の入力：
（例：「ウ」を入力する場合）

かな文字入力画面で 種別 ソフトキーを押すと、カタカナ文字一覧表が表示されます。

OK キーで「ウ」を選び、OK キーを押します。

英字の入力：
（例：「A」を入力する場合）

カタカナ文字入力画面で 種別 ソフトキーを押すと、英文字一覧表が表示されます。

OK キーで「A」を選び、OK キーを押します。

3. 英字が入力できたら、画面の「あ井ウA」を確かめます。修正するときは、修正ソフトキーを押すと1文字ずつ消去できます。
よければ完了ソフトキーを押して電話帳登録画面に戻ります。

◆よみがな入力画面の表示

1. OKキーで電話帳登録画面の「ヨミガナ」を選び、変更ソフトキーを押します。

ヨミガナ入力画面が表示されます。

2. 文字を入力します。

（例：「アイウエー」を入力する場合）
OKキーでヨミガナ文字一覧表の中から「ア」「イ」「ウ」「エ」「ー」の順に選び、OKキーを押したあと、完了ソフトキーを押します。

3. さらに完了ソフトキーを押すと登録が終了し、電話帳画面が表示されます。

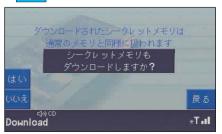
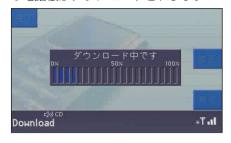
電話番号の「123456789」が表示され、メモリ番号「55」に相手先名の「あ井ウA」が設定されたことを示しています。

●携帯電話の電話帳をダウンロードする

携帯電話に登録されている電話帳をダウンロードして、メモリ番号「200」～「699」に登録できます。

1. 電話帳画面（→P6-10）で ダウンロード ソフトキーを押します。

2. はい ソフトキーを押します。
上書きしない場合は いいえ ソフトキーを押します。

3. さらにシークレットメモリもダウンロードする場合は はい ソフトキーを押します。ダウンロードしない場合は いいえ ソフトキーを押します。

「いいえ」を選んだ場合は
シークレットメモリを除いた携帯電話の電話帳がダウンロードされます。

「はい」を選んだ場合は
【テンキー】で接続している携帯電話のパスワードを入力すると、シークレットメモリも含めた携帯電話の電話帳がダウンロードされます。

知識：
メモリ番号「200」～「699」に電話帳を登録している場合、ダウンロードされた携帯電話の電話帳が上書きされるため、事前に登録した内容は使用できなくなります。

◆ 電話帳を指定した順に並べ換える

電話帳画面（→P6-10）で ABCソート ソフトキーを押すと、電話帳がABC順および50音順に並べ換えて表示されます。

知識：
電話帳をABC順および50音順に並べ換えても、メモリ番号は変わりません。

6 電話

好みの順に並べ換えた電話帳で電話をかけるには

1. 電話帳画面（→P6-10）をABC順および50音順に並べ換えたあと、検索ソフトキーを押します。

2. 電話をかける相手の名前の読みの頭文字をOKキーで選び、完了ソフトキーを押します。

選んだ頭文字の先頭のリストを表示します。

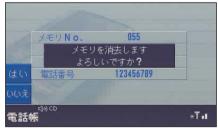
3. OKキーでリストから電話をかける相手を選び、（電話）ソフトキーを押します。

● 登録済みメモリの消去

設定登録済みの相手先電話番号と相手先名を同時に消去できます。
例として、メモリ番号「55」の相手先電話番号「123456789」と、相手先名「あ井ウA」を消去する手順を説明します。

1. 消去したいメモリ番号の電話帳登録画面（→P6-10）で消去ソフトキーを押します。

メモリ消去の確認メッセージが表示されます。

2. はいソフトキーを押します。
消去しないときは、いいえソフトキーを押します。

メモリが消去されたことを示すメッセージが表示され、約6秒後に電話帳画面に切り換わります。

■ その他の機能

● 自局番号の画面表示

接続している携帯電話の電話番号（自局）を画面に表示できます。電話モード基本画面（→P6-3）で 自局番号 ソフトキーを押します。

知識：
基本画面のほかに通話中画面でも表示できますので、通話相手にこちらの番号を告げることができます。

● ダイヤルロック機能

携帯電話を接続した状態で車両を一時貸与するときなど、この機能によりダイヤル操作をロックして、電話使用（発信）を防ぐことができます（110と119を除きます）。パスワードを再度入力することで、ダイヤルロックを解除できます。

ダイヤルロックする：

電話モード基本画面（→P6-3）表示中に、 ダイヤルロック ソフトキーを「ダイヤルロック中」メッセージが表示されるまで押します。
ダイヤルロック中はダイヤルロックを解除しなければ電話は使用できません。（着信を除きます）

注意：
・不意にダイヤルロック機能が作動し、ダイヤルロック中などのメッセージが表示されたときは、ただちに最寄りのMBディーラー、または指定サービス工場に連絡してください。
・パスワードを忘れると、ダイヤルロックの解除ができなくなります。パスワードの記録は安全な場所へ保管してください。

知識：
・パスワードの変更は、接続している携帯電話を操作して変更してください。
・すでにダイヤルロックされた携帯電話を本システムに接続すると、電話機能ははじめからダイヤルロックされた状態になりますので、接続前に必ず携帯電話がダイヤルロックされていないことを確認してください。

ダイヤルロックを解除する：

ダイヤルロック中画面で【テンキー】を使用して接続している携帯電話のパスワード（4けた）を入力します。
パスワードを間違えると、「入力したパスワードが間違っています」と表示されますので、もう一度入力し直します。

ダイヤルロック中の緊急番号発信：

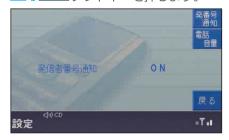
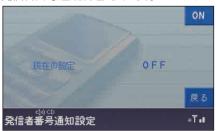
ダイヤルロック中に110と119に発信するには、ダイヤルロック中メッセージが表示された画面で【テンキー】を使用して、パスワードの代わりに110または119を入力したあと、 キーを押します。

● 発信者番号通知機能

発信先の相手にこちらの電話番号を通知するかしないかを設定できます。

1. 電話モード基本画面（→P6-3）で 設定 ソフトキーを押します。

設定画面が表示されます。

2. 発番号通知 ソフトキーを押します。

発信者番号通知設定画面が表示されます。

現在の設定がOFFのとき、 ON ソフトキーを押すと設定がONになり、発信者番号が通知されます。

現在の設定がONのとき、 OFF ソフトキーを押すと設定がOFFになり、発信者番号が通知されません。

● 音量を調整する

ダイヤル音量と着信音量が調整できます。

1. 設定画面（→左記）で 電話音量 ソフトキーを押します。

2. ∧ 、 ∨ ソフトキーでそれぞれを調整します。

●キャッチホン（割り込み着信）機能

> 知識：
> 電話の契約時に、オプション設定の「三者通話」を契約したときに使用できます。

キャッチホンの着信：
通話中に他からの電話が着信したときは、キャッチホン着信の呼び出し音が聞こえます。新たに「着信しました」と表示されます。

キャッチホンに切り換える：

キャッチホンとして割り込み着信にするときは、 ソフトキーまたは キー、またはステアリング・スイッチの を押します。

元の相手に戻す：

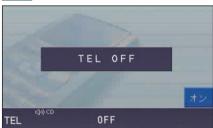
キャッチホン通話後に元の話し相手に戻すときは、もう1度 ソフトキーまたは キー、またはステアリング・スイッチの を押します。

●携帯電話の電源を切/入する

携帯電話の電源を切る：

電話モード基本画面（→P6-3）で オフ ソフトキーを押します。

再度携帯電話の電源を入れる：

オン ソフトキーを押します。

■ メッセージ画面

◆「走行中は操作できません」

表示タイミング例：

走行中に操作できない項目を操作しようとしたときに表示されます。

対処方法：

安全のため、走行中は操作できない項目があります。駐/停車時に操作してください。

> 知識：
> 同じように、電話モード画面表示中に表示されるメッセージがほかにもいくつかあります。メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。

7. AUX

■ AUX（外部音声入力）

携帯型MDプレイヤーやカセットプレイヤーなどを接続し、外部音源として聞くことができます。

注意：
・接続するMDプレイヤーなどは、安全のためグローブボックス内部に保管してください。シートの上などに置いていると、急停車時などに落下したり乗員にぶつかったりすることがあり、思わぬケガの原因になります。
・走行中にグローブボックスのふたが開いていると、万一の衝突時などに思わぬケガの原因になります。走行中はふたを閉めてください。

● 外部音声入力端子

グローブボックス内部にミニプラグ規格の外部音声入力端子を備えています。MDプレイヤーなどのヘッドフォン出力端子からステレオミニプラグの接続コードを使って、この入力端子に接続します。

知識：
・左ハンドル仕様車ではグローブボックス内の右側面に装備しています。
・接続コードは抵抗付でないものを使用してください。

入力端子：
・ステレオミニプラグ（直径3.5mm）

● 外部音声入力を聞く

以下の説明では、携帯型MDプレイヤーを例にしています。

1. MDプレイヤーと外部音声入力端子を接続してから、 AUX キーを押すと、「基本画面」が表示されます。

2. MDを再生させ、本体側およびMDプレイヤー側それぞれの音量を適切に調整します。

3. 外部音声入力のサウンド設定を調整するときは、 調整 キーを押します。

(サウンドモード→P1-16)

知識：
- 外部音源となるMDプレイヤーなどの再生音量を調整してください。プレイヤー側の再生音量が小さすぎると音が聞こえません。
- MDプレイヤーなどの操作や出力特性、接続コードについては、該当機器の取扱説明書をお読みください。
- 入力感度が異なりますので、マイクロホンなどを接続すると、システムやスピーカーなどを損傷するおそれがあります。

● 外部音声入力を止める

AUXモードをOFFにするときは、もう一度 AUX キーを押します。

(他のモードとの使用→P1-6)

知識：
車種や仕様により、AUXモードをOFFにするときは、オーディオモードキーなどを押して他のモードを選択します。

8. ナビゲーション

■ ご使用のまえに

● ルート案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの推奨ルートにすぎません。
駐停車禁止、一方通行規制、車線変更禁止、一時停止など、走行するときは実際の交通標識や規制などにしたがって安全運転をしてください。

● 表示する道路情報や地名などに変更があったときには適切でない案内をすることがあります。

● このシステムはタイヤの回転数を検知して、この車両の走行ルートを修正します。指定サイズ、および指定ブランド以外のタイヤを装着するとナビゲーション機能の表示誤差などが大きくなることがあります。
タイヤを交換するときは、お近くのMBディーラーまたは、指定サービス工場にご相談ください。

● 安全のため、走行中に操作できなくなる機能があり、ソフトキーが表示されなかったり、操作禁止のメッセージが表示されます。また、道路など一部表示されないことがあります。

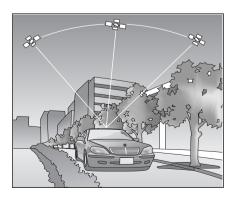
● このシステムには、専用の地図ディスク（DVD-ROM）が標準装備されています。市販の地図ディスクでは作動しません。

■ ナビゲーションとは？

● ナビゲーションのしくみ

ナビゲーションは、自立航法（推測航法）とGPS（グローバル・ポジショニング・システム）を併用しており、これらの機能により自車の現在位置を検出し、地図画面に表示します。
自立航法とは、車両のジャイロセンサーと車軸に取り付けた車輪（タイヤ）の回転数センサーによって自車の位置を算出し、現在地の算出データとデジタル地図データと照合（マップ・マッチング）して画面に表示する方法です。

● GPS

GPSは米国国防省（ペンダゴン）の開発、運用するシステムで、上空約20,000kmの軌道を回る28個（2002年1月現在）の人工衛星で構成されています。この車両のナビゲーションシステムでは、28個の衛星のうち3個の衛星からの電波信号を受信できれば、GPS信号を基準に車両の現在地を算出することができます。
GPS衛星からの電波信号を受信しているときは、地図画面上にGPSのシンボルマークを表示します。

現在地マークはかならずしも正しい位置を表示するとは限りません。このナビゲーションシステムは、人工衛星の状態、車両からの各種信号、路面の凹凸や道路環境、車両の状態などにより現在地の表示がずれることがあります。現在地の表示がずれたときは、しばらく走行を続けると、自動的に修正されます。表示誤差がいつまでも修正できないときに限り、正しい位置に修正してください。
[現在地（自車位置）を修正する→P8-29]

次のようなときは、GPSを利用できないことがあります。

- 高層ビル、大型車両、トンネルなどの影響で人工衛星の電波が正しく受信できないとき
- 人工衛星が電波信号を送信していないとき（米国の追跡管制センターの都合により、改良・修理などで電波送信が停止することがあります）
- GPSアンテナ自体が金属製のものでさえぎられたりしたとき
- 携帯電話をGPSアンテナの近くで使用したとき

● ナビゲーションモード時の機能

ルート探索・案内機能：
目的地を設定すると、最大5通りのルート（道のり）を探索します。曲がるべき交差点や分岐点、有料道路の入り口などを音声で知らせたり、画面に表示します。また、走行中に案内ルートから外れたときでも、すぐに同じ目的地までの新しいルートを案内します。

周辺施設案内機能：
現在地周辺のレストランやガソリンスタンドなど、最寄り施設を表示させたあと、目的地（通過点）として設定できます。

地図表示：
地図画面の拡大縮尺表示ができます。また、市街図データがある場所のみ25m縮尺で市街地図を表示します。さらに地図をノースアップ表示/ヘディングアップ表示にしたり、2D表示/3D表示にすることができます。

メモリ地点登録機能：
自宅や仕事先、友人宅など繰り返し訪れる場所（地点）をあらかじめ登録することで、目的地、経由地（通過点）として簡単に設定できます。

索引・検索機能：
登録されている索引項目から施設や場所の項目を選択して、目的地（通過点）として設定できます。

VICS機能：
FM多重から渋滞情報などを地図上に表示できます。さらにオプションのVICS受信システムを取り付けると、光/電波ビーコンにも対応できます。

■ 基本操作スイッチ

1 ナビゲーションキー（NAVI）
現在地（自車位置）の表示

2 ソフトキー
画面の左右に表示している機能の実行

3 テンキー
電話番号や数字入力

4 音量調整ノブ
音量の調整

5 リピートキー（RPT）
もう一度音声案内を聞く

6 消音キー（MUTE）
消音（一時消音）

7 ディスクイジェクトキー
ディスクの出し入れ

8 カーソル/決定キー（OK）
地図をスクロールする
項目の選択・決定

ディスクの出し入れ

ラベル面を上にして入れてください。

● 表示マーク、シンボルの説明（例：ルート案内中）

1 **通過交差点名称：**
ルート上で通過する交差点の名称が表示されます。

2 **案内ルートの青色太線表示：**
ルート案内する道路が青色太線で表示されます。

3 **GPS表示シンボル：**
GPSの受信中を示します。

方位マーク：
表示中の地図の向きを示します。

縮尺表示：
表示中の地図の縮尺を示します。

4 **VICSタイムスタンプ：**
VICS情報の提供された時刻が表示されます。

5 **車線案内：**
車線情報のある一部の交差点で利用する車線が表示されます。

6 **到着予想時刻/残距離表示：**
目的地までのおよその距離と到着予想時刻が表示されます。

■ 基本操作

● ナビゲーションモードをONにする

NAVI キーを押します。

現在地画面が表示されます。

地図画面のほぼ中央に、この車両の位置を示す現在地マーク が点滅しています。

画面の左右にはソフトキーが表示されます。

知識：
- ソフトキー表示は地図画面を広く表示するため、何も操作しないでいると約6秒後に表示が消えます。
- ソフトキーを表示させるときは、いずれかのソフトキーを押すと表示されます。
- 音楽用CDと地図ディスクは、同時に使用できません。ナビゲーションを使用するときは、地図ディスクを入れてください。ただし、CDチェンジャーは使用できます。

● ソフトキーの説明

現在地画面では、以下のソフトキーを押して各機能を操作したり、各機能の該当画面を表示できます。

メニュー：メニュー

メニュー画面が表示されます。

表示：表示

地図の向きを切り換えたり、地図画面の3D表示ができます。
(→P8-8/P8-9)
ランドマーク(施設マーク)/VICS情報を表示します。(→P8-25/P8-49)

再探索：再探索 (→P8-21)

再びルート探索を開始します。

最寄通過点：最寄通過点 (→P8-19)

ルート案内中に立ち寄りたい場所を設定します。

目的地情報：目的地情報

目的地の情報が表示されます。

広域：広域 (→P8-7)

地図が縮小表示されます。

詳細：詳細 (→P8-7)

地図が拡大表示されます。

ガイド：ガイド (→P8-27)

周辺の施設ランドマークの名称などが表示されます。

メモリ地点：メモリ地点 (→P8-32)

現在地またはカーソルの位置をメモリ地点として登録します。

調整：調整 (→P8-10)

調整画面が表示されます。

● 地図の縮尺を切り換える

地図を拡大/縮小表示できます。
以下の画面は、200m表示（1/2万表示）を示しています。

拡大表示するとき：

ソフトキーを表示させ、詳細ソフトキーを押します。

縮小表示するとき：

ソフトキーを表示させ、広域ソフトキーを押します。

知識：
・25m表示は、地図データ（市街図）が存在する場所で表示することができます。ただし、80km/h以上での高速走行中は表示できません。
・走行中に表示される道路について：50m/100m/200m表示の地図に細街路（道幅5.5m未満の道路）は表示されません。

縮尺は以下の中から選べます。

距離表示	地図縮尺
25m	1/2500
50m	1/5000
100m	1/1万
200m	1/2万
500m	1/5万
1k	1/16万
2k	1/24万
5k	1/48万
10k	1/128万
20k	1/256万
50k	1/512万
100k	1/1024万
200k	1/2048万

◆ フリーズーム機能を使う

詳細/広域ソフトキーを押し続けると、縮尺段階を細かく分けてズームイン、ズームアウトのイメージで地図の縮尺を切り換えます。

知識：
走行中はフリーズーム機能は使用できません。

● 地図を移動する（地図スクロール）

OK キーで地図を移動できます。

◆ 移動前（現在地表示モード）

◆ 移動後（地図表示モード）

クロス・カーソルが表示されます。
画面右下には、現在地からクロス・カーソルまでの距離が表示されます。

> 注意：
> 走行中は安全のため、一定距離で地図スクロールします。さらに画面を移動させるときは、安全な場所に停車してから操作してください。

> 知識：
> ・市街図（25mの地図）で走行中は地図スクロールできません。
> ・地図表示モードでは、車が移動しても地図は動きません。

● 地図の向きを切り換える

地図の向きを切り換えることができます。

1. 表示 ソフトキーを押します。

2. 地図向 ソフトキーを押します。

◆ ノースアップ表示（北が上）

◆ ヘディングアップ表示（進行方向が上）

地図向 ソフトキーを押すたびに、ノースアップとヘディングアップが切り換わります。

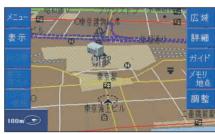
● 3D表示に切り換える

地図に遠近感をもたせて表示できます。

1. 表示 ソフトキーを押します。

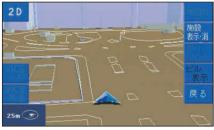
2. 3D ソフトキーを押します。

◆ 2D表示

◆ 3D表示

知識：
3D表示は、ヘディングアップで表示されます。

◆ ビルを立体的に表示する

3D表示中にビルを立体的に表示できます。

ビル表示 ソフトキーを押します。

3D表示またはビル表示中に OK キーを押して OK キーを左右に動かすと、地図を回転できます。

知識：
ビル表示は、
・25m表示（市街図）のみ。
・市街図データがある一部の地域のみで表示されます。

8 ナビゲーション

● 画面の明るさを調整する

室内の明るさのセンサーに連動して、画面の明るさが切り換わります。

◆ 昼画面

車両の周囲が明るいと画面が明るくなります。

◆ 夜画面

車両の周囲が暗くなると画面が暗くなります。

夜画面のとき、昼画面に切り換える：

調整 ソフトキーを押して、昼画面 ソフトキーを押します。

夜画面 ソフトキーを押すと夜画面に戻ります。

◆コントラスト/明るさを調整する

1. 調整 ソフトキーを押して、明るさ ソフトキーを押します。

2. それぞれ ∧ または ∨ ソフトキーを押して、調整します。

CONTRAST：コントラスト
BRIGHTNESS：明るさ

> 知識：
> ライト消灯（昼画面）時に夜画面にすることはできません。

8 ナビゲーション

■ ルート案内とは

● ルート案内の基本機能

ルート案内をさせるためには､｢目的地｣を決める必要があります。
「目的地」を設定すると、目的地までのルートを探索し、地図画面上にルートが青色太線で表示されます。
音声案内によるアナウンスと画面表示で、曲がるべき交差（分岐）点までの距離や交差（分岐）点拡大図が表示されます。
また、ルート案内中に指示された交差（分岐）点で曲がらずに、当初の案内ルートから外れたときでも、その場所から同じ目的地までの新たなルートを探索して、ルート案内を開始します。

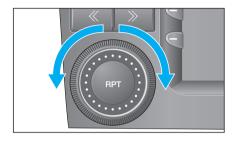
知識：
・全ての道路が案内対象ではありません。5.5m未満の細街路は、目的地、通過点、出発地周辺を除いて案内対象外です。
・メータの表示モードをNAVIにすると、メータ内にも分岐方向や距離が表示されます。

● 音声案内の音量調整

音声案内時のアナウンス音量を調整できます。

音声案内中に調整してください。

右へ回す：大きくなる
左へ回す：小さくなる

8
ナビゲーション

■ 目的地を設定して ルートを探索する

● 地図画面で任意の地点を選ぶ

1. OK キーでクロス・カーソルを目的地にしたい場所まで移動して、目的地 ソフトキーを押します。

目的地が G マークで表示され、ルート探索を開始します。

2. 案内 ソフトキーを押すと、ルート案内が始まります。

ルートの種類は最大5種類まで表示されます。
(ルートを選ぶ→P8-15)

◆ 高速道路や有料道路、橋、トンネルが目的地付近に存在する場合：

以下の画面が表示されます。

(例：高速道路付近に目的地を設定する場合)

設定する：高速道路上に目的地を設定する

他の道路：高速道路上に目的地を設定しない

> 知識：
> - ルートは青色で表示されます。
> - 全ルート表示後、何も操作しないで約15秒間走行すると自動的にルート案内を始めます。
> - 目的地および出発地付近に道路がない場合は、ルート探索できないことがあります。このときは画面のメッセージに従ってください。
> - 離島などで適当なルートがない場合は、ルート探索できないことがあります。

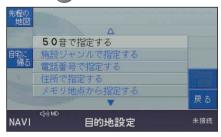
● 索引機能を使って目的地を選ぶ

1. メニュー ソフトキーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2. OK キーで「目的地を設定・消去」を選んで、OK キーを押します。

目的地設定画面が表示されます。

3. OK キーで目的地の検索方法を選んで、OK キーを押します。

先程の地図 ：先程表示された地図が表示されます。

自宅に帰る ：自宅を目的地に設定します。

4. 詳細 ソフトキーを押して適当な縮尺の地図を表示させ、設定したい位置に OK キーでクロス・カーソルを動かし、目的地 ソフトキーを押します。

目的地が G マークで表示され、ルート探索を開始します。
ルートの種類は最大5種類まで表示されます。
(ルートを選ぶ→P8-15)

手順3での目的地の検索方法は、それぞれのページを参照してください。

・ 50音で指定する（→P8-38）
・ 施設ジャンルで指定する（→P8-40）
・ 電話番号で指定する（→P8-41）
・ 住所で指定する（→P8-42）
・ メモリ地点で指定する（→P8-43）
・ 郵便番号で指定する（→P8-43）
・ 以前の目的地で指定する（→P8-44）
・ 観光エリアガイドで指定する(→P8-45)

● 自宅に帰る

> 知識：
> 自宅を登録していないと、この操作はできません。(→P8-30)

1. メニュー ソフトキーを押します。

2. 自宅に帰る ソフトキーを押します。

自宅を目的地に設定してルート探索を開始します。

■ ルートを確認する

ルート探索終了後、全ルート表示画面が自動的に表示されます。

● 全ルート表示画面について

出発地と目的地の両方が表示できる縮尺で表示されます。

全ルート表示画面

● ルート種別を表示します。

● 全行程の主な情報を表示します。
- ・高速道路の入口 ICと出口 IC
- ・ルートの全行程距離
- ・主に利用する道路種別及び利用距離
- ・有料道路の合計料金のめやす

案内 ：ルート案内を開始します。(→P8-20)

5ルート ：5通りのルートを確認できます。また、ルート種別の変更もできます。(→右記)

ルート変更 ：通過点を追加できます。また、ルート種別の変更もできます。(→P8-16)

案内MUTE ：ルート案内中の音声案内を消音します。

ルート情報 ：目的地までの経路が表示されます。(→P8-18)

◆ ルート案内中に全ルート表示画面を表示するには

ルート案内中にルートの変更や通過点の追加/削除などができます。

1. メニュー ソフトキーを押します。

2. 全ルート探索 ソフトキーを押します。

全ルート表示画面が表示されます。

● ルートを選ぶ

目的地までのルートを最大5ルートまで以下の条件で複数探索します。

1. 全ルート表示画面（→P8-14）で 5ルート ソフトキーを押します。

2. 推奨ルート、有料道優先、一般道優先、距離優先、別ルート ソフトキーのいずれかを押します。

選んだルートが青色で表示されます。

- 推奨ルート ：最も推奨できるルート
- 有料道優先 ：できるだけ有料道路を通るルート
- 一般道優先 ：できるだけ一般道を通るルート
- 距離優先 ：できるだけ最短距離を通るルート
- 別ルート ：上記以外のルート

ルートが決まったら、戻る ソフトキーを押します。

> 知識：
> 異なる条件のルートを選んでも、それぞれ同じルートを表示する場合があります。

◆ 全行程一覧表を表示する

1. 全ルート表示画面(→P8-14)で 5ルート ソフトキーを押します。

2. 全行程一覧表 ソフトキーを押すと、各ルートの有料道路での料金合計のめやすと全行程距離と到着予想時刻を確認できます。

探索条件	料金	全行程	予想時刻
推奨ルート	2150円	73km	1時16分
有料道優先	3700円以上	61km	1時11分
一般道優先	400円	68km	2時13分
距離優先	3700円以上	55km	1時15分
別ルート	3700円以上	58km	1時09分

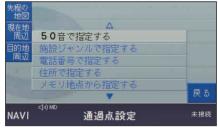
> 知識：
> 有料道路の料金は、めやすです。実際の料金と異なることがあります。

● ルートに通過点を追加する

目的地以外に通過点を追加できます。(2地点まで)

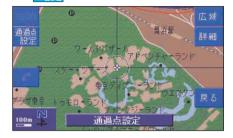
1. 全ルート表示画面(→P8-14)で ルート変更 ソフトキーを押します。

2. 通過点設定 ソフトキーを押します。

3. OK キーで通過点を検索する方法を選び、OK キーを押します。

通過点を検索する方法は、それぞれのページを参照してください。

- 50音で指定する(→P8-38)
- 施設ジャンルで指定する(→P8-40)
- 電話番号で指定する(→P8-41)
- 住所で指定する(→P8-42)
- メモリ地点で指定する(→P8-43)

・ 郵便番号で指定する（→P8-43）
・ 以前の目的地で指定する（→P8-44）

4. 詳細 ソフトキーを押して適当な縮尺の地図を表示させ、設定したい位置に OK キーでクロス・カーソルを動かし、通過点設定 ソフトキーを押します。

通過点1が設定されます。

通過点2を設定する

OK キーで通過点2（未設定）を選んで、通過点設定 ソフトキーを押したあと、手順3、4を繰り返します。

通過点修正 ：通過点を修正します。

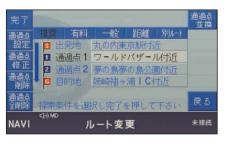
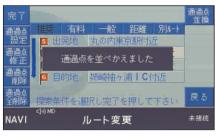
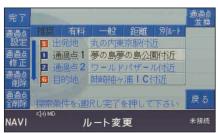
通過点削除 ：通過点を削除します。

完了 ：設定が終わったら押します。

通過点には、1（2）が表示されます。

案内 ：ルート案内が始まります。

◆ 通過点を並べ換える

通過点並換 ソフトキーを押すと、通過点を並べ換えることができます。

通過点全削除 ：通過点を全て削除します。

完了 ：設定が終わったら押します。

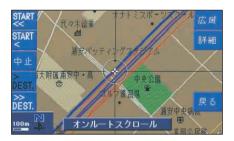
●ルート情報を表示する

1. 全ルート表示画面（→P8-14）で ルート情報 ソフトキーを押します。

ルート情報画面が表示されます。

情報が複数ページある場合、OK キーを上下に動かして次項目を見ることができます。

◆ ルートスクロールする

ルート情報画面（→左記）で ルートスクロール ソフトキーを押すとルートに沿って地図画面を移動できます。

START << ：出発地方向へ高速でスクロールします。

START < ：出発地方向へスクロールします。

> DEST ：目的地方向へスクロールします。

>> DEST ：目的地方向へ高速でスクロールします。

中止 ：スクロールを中止します。

8 ナビゲーション

● 最寄り通過点を追加する

通過点（2地点）以外にガソリンスタンドやコンビニエンス・ストアなど最寄りの施設を検索して最寄り通過点として追加できます。（1地点まで）

1. ルート案内中に 最寄通過点 ソフトキーを押します。

2. OK キーで施設の種類を選び、OK キーを押します。

3. OK キーで施設を選び、OK キーを押します。

ルート探索を開始します。

通過点には、が表示されます。

最寄通過点を消去する：

最寄通過点 ソフトキーを押して、最寄消去 ソフトキーを押します。

最寄通過点が消去され、ルート探索を開始します。

8

ナビゲーション

■ ルート案内を開始する

全ルート表示画面（→P8-14）で 案内 ソフトキーまたは NAVI キーを押します。

ルート案内が始まります。

> 知識：
> ・ルート案内は公道の走行開始後すぐに始まりますが、出発点が地図上に表示されていない道路や私有地内のときは、地図上に表示される公道を走行するまで案内できません。
> ・表示したルートはあくまでも目的地周辺までの参考ルートです。交通渋滞や交通規制などの情報は考慮していません。
> ・交差点表示や地図上に表示の目印となる施設、ガソリンスタンド、コンビニエンス・ストア、レストランなどは地図の作成時点での公開情報に基づくものであり、実際とは異なることがあることをご理解ください。
> ・立体交差や複雑に交差する分流、分岐点などの通過時に一時的に現在地方位を失うことがあります。この場合、そのまま走行を続けると自動再探索を実行し、その地点からのルートを案内することがあります。

● 音声案内について

分岐点の手前や、通過点、目的地に接近したときに自動的に音声で案内を行います。

概要案内

案内ルートを決定した直後。

例）「東名高速道路横浜町田インターを通るルートです。」

分岐案内

分岐点に接近したとき。

例）「およそ700メートル先、○○町を斜め右方向です。」
「およそ1キロ先、左方向出口です。」

区間案内

走行中の道路種別が変わったとき。

例）「およそ500メートル先、直進方向です。」

乗線案内

案内開始時、ルートに乗線したとき。

例）「およそ2キロ先、左に戻る方向です。」

到着案内

通過点、目的地に接近したとき。

例）「目的地周辺です。音声案内を終了します。」

> 知識：
> ・音声案内はルート上を走行している場合のみ出力します。
> ・ラジオやテレビ画面を表示しているときでも音声案内を続けることができます。
> ・複数の音声案内が重なると、先に案内している音声が途中で終わることや優先される案内の音声のみが行なわれること、または音声案内が行なわれないことがあります。

● 音声案内をもう一度聞きたいとき

音声案内を聞きなおしたいときや、次の分岐点までの情報を聞きたいときなど、もう一度音声案内を聞くことができます。また交差点拡大図表示などの案内拡大図を解除した後にもう一度案内拡大図を表示させることもできます。

ルート案内中の現在地画面で RPT キーを押します。

知識：

・分岐点の手前約300m以内（高速道路/有料道路の場合は約1km以内）で押すと、音声案内とともに交差点拡大図を表示します。

・RPT キーでの再音声は、自車がルート上を走行している状態のときのみ有効となります。それ以外の場合に RPT キーを押しても無効です。

● ルート案内中にもう一度探索する

例えばルート案内先で事故や渋滞がある場合、それらを避けて別のルートを通りたいときなど、現在のルートをもう一度探索しなおしたいときに行います。

再探索 ソフトキーを押します。

迂回探索 ：迂回するルートを探索します。

全ルート探索 ：ルートの変更や通過点の追加/削除などができます。(→P8-15)

別道路探索 ：別道路探索します。

条件変更 ：前回のルート探索と異なる条件で、再度探索を開始します。

最寄消去 ：最寄り通過点を消去します。

通過1消去 ：通過点1を消去します。

通過2消去 ：通過点2を消去します。

知識：

高速道路を走行中なのに、自車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など、高速道路と一般道路が上下あるいは平行のまましばらく続くような道路を走行する場合、道路を取り違えることがあります。このようなとき別道路探索を行います。

● 案内拡大図表示

分岐点に近づくと自動的に分岐点の拡大図が表示されます。

> 知識：
> 車線案内および分岐点の形状は、実際と異なることがあります。

◆ 交差点拡大図

一般道路（高速道路・有料道路以外）で分岐点の手前約300mまで接近すると交差点周辺の拡大図が表示されます。

1 車線案内：
車線情報のある一部の交差点で利用する車線が表示されます。

2 拡大図：
交差点周辺が分かりやすく表示されます。（一部の立体交差点では立体拡大図が表示されます。）

3 拡大解除ソフトキー：
交差点拡大図の表示を消去します。
RPT キーを押すと再度表示できます。

4 交差（分岐）点までの距離：
自車から交差（分岐）点までの残距離が表示されます。

5 施設マーク：
交差点周辺の施設が表示されます。

◆ 高速道路入り口案内図

高速道路の入り口に接近すると走行する車線を案内します。

◆ 都市高速

都市高速が分かりやすく表示されます。

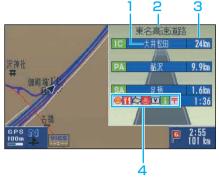
◆ 3D高速分岐案内図

高速道路のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点に接近すると走行する車線を案内します。

方面名称案内：
高速道路、有料道路の出口案内や、ジャンクションでの進行方向が表示されます。

8 ナビゲーション

◆ ハイウェイモード表示

ルート案内中、高速道路の本線上に進入すると自動的にハイウェイモード画面が表示されます。

1 **施設名称：**
ルート上で3か所先までの施設名称が表示されます。

2 **道路名称：**
ハイウェイモード画面の一番下に表示されている施設（ここでは足柄SA)がある道路名称が表示されます。

3 **施設までの距離：**
自車から施設までの距離が表示されます。

4 **設備マーク：**
SA・PAに設置されている設備が表示されます。

◆ ハイウェイモード表示の消去

ハイウェイモード表示を消去できます。

1. ハイウェイモード表示中に 表示 ソフトキーを押します。

2. 一般道路 ソフトキーを押します。

ハイウェイモードを再度表示するには

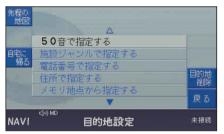
略図表示 ソフトキーを押します。

8
ナビゲーション

■ ルートを消去する

目的地を消去してルート案内を止めることができます。

1. OK キーでメニュー画面（→P8-13）の「目的地を設定・消去」を選び、OK キーを押します。

2. 目的地削除 ソフトキーを押します。

3. はい ソフトキーを押します。

目的地が消去されます。

消去しない場合は、いいえ ソフトキーを押します。

■ ルート案内を一時中止・再開する

ルート案内を一時的に中断、または再開することができます。

◆ ルート案内を中止する

メニュー画面（→P8-13）で 案内中止 ソフトキーを押します。

◆ ルート案内を再開する

メニュー画面（→P8-13）で 案内再開 ソフトキーを押します。

■ 周辺の施設を表示する

● 周辺の施設を表示する

よく使うガソリンスタンド、コンビニエンス・ストアまたはMBサービス工場などを簡単に表示できます。(ランドマーク表示)

1. 表示 ソフトキーを押します。

2. 施設表示・消 ソフトキーを押します。

3. 表示したい施設を選びます。

知識：
施設は、1種類だけ表示できます。複数の種類の施設を同時に表示できません。

例）駐車場を選んだ場合

◆ 表示を消す

手順3で 解除 ソフトキーを押します。

◆ ジャンル別に検索して表示する

1. OK キーでメニュー画面（→P8-13）の「周辺の施設を表示・検索」を選び、OK キーを押します。

2. OK キーでジャンルを選び、OK キーを押します。

3. OK キーで施設名称を選び、OK キーを押します。

記号別：リストが記号別に表示されます。

近い順：リストが自車から近い順に表示されます。

知識：
・距離表示は、自車位置からの直線距離（現在地画面から検索した場合）またはクロス・カーソルの位置からの直線距離（地図画面から検索した場合）を示します。
・検索は、自車位置またはクロス・カーソルから半径10km以内で、近い順に最大200件までです。

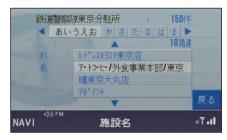
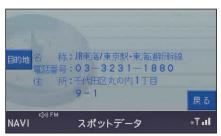
地図が表示されます。

目的地 ソフトキーを押すと目的地に設定できます。

● 施設情報を表示する

25m表示（市街図）のとき、施設情報（施設名称、電話番号、住所）がある施設は施設情報を表示できます。

1. OKキーで施設にクロス・カーソルを合わせて 施設名 ソフトキーを押します。

2. ビルなど、複数の施設がある場合、OKキーで施設を選び、OKキーを押します。

施設情報が表示されます。

目的地 ソフトキーを押すと目的地に設定できます。

● ガイドを表示する

3Dランドマークや地図画面上に表示させた施設の名称や自車位置からの距離を表示できます。

ガイド ソフトキーを押します。

情報が表示された施設は、赤い枠で表示されます。

ガイド ：次の施設情報が表示されます。

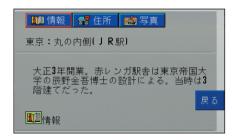
スポットデータ ：施設内のスポットデータが表示されます。

> 知識：
> ・距離表示は、自車位置からの直線距離です。
> ・スポットデータ（施設名称、電話番号、住所）がある施設を選ぶと、その情報を表示できます。

◆ スポットデータを表示する

スポットデータ（施設情報、住所、写真等）がある施設を選ぶと、その情報を表示できます。

1. [スポットデータ] ソフトキーを押します。

2. [OK] キーで「情報」「住所」「写真」のいずれかを選び、[OK] キーを押します。

例）写真を選んだ場合

■ ナビゲーション条件を設定する

[OK] キーでメニュー画面（→P8-13）の「ナビゲーション条件を設定」を選び、[OK] キーを押します。

[OK] キーで各項目の「する」「しない」のいずれかを選び、[OK] キーを押します。

自動再探索：ルートから外れても自動的に再探索します。

メモリ地点の名称表示：登録したメモリ地点の名称が地図画面上に表示されます。

他モード時の音声案内：他のモードでも交差点などに近づくと音声案内します。

踏切警告：まもなく踏切です。

合流警告：合流です。

カーブ警告：カーブがあります。

県境お知らせ：（例）千葉県です。

サテライトマップ表示：1k表示以上の広域表示では、地形を立体的に表示します。

■ 現在地（自車位置）を修正する

地図上の自車位置と実際の自車位置がずれている、または進行方向がずれているとき、このずれを修正できます。

> 知識：
> 地図画面にGPSマークが表示されているときは、通常この操作は必要ありません。しばらく（約10km）走行を続けても現在地が自動修正できなかったり、表示誤差が大きいときには、最寄りのMBディーラーで点検を受けてください。

1. OK キーでメニュー画面 （→P8-13）の「ナビゲーション条件を設定」を選び、OK キーを押します。

2. 現在地修正 ソフトキーを押します。

3. OK キーで修正したい位置にクロス・カーソルを合わせて、OK キーを押します。

4. OK キーで自車マークの進行方向を修正して、OK キーを押します。

8 ナビゲーション

■ メモリ地点登録機能

自宅や繰り返し訪れる友人宅などの場所（地点）を登録すると、目的地や通過点として簡単に設定できます。
登録できる地点の数は、自宅分1か所と任意の場所100か所です。

● 自宅位置を登録・修正・消去する

◆ 自宅位置を登録する

1. OKキーでメニュー画面(→P8-13)の「メモリ地点・自宅を登録・修正・消去」を選び、OKキーを押します。

2. OKキーで「自宅の登録・修正・消去」を選び、OKキーを押します。

自宅設定画面が表示されます。

3. OKキーで地図の呼び出しかたを選び、OKキーを押します。

地図の表示方法は、それぞれのページを参照してください。

- 50音で指定する（→P8-38）
- 施設ジャンルで指定する（→P8-40）
- 電話番号で指定する（→P8-41）
- 住所で指定する（→P8-42）
- メモリ地点で指定する（→P8-43）
- 郵便番号で指定する（→P8-43）
- 以前の目的地で指定する（→P8-44）

先程の地図 ：先程表示した地図を表示

現在地周辺 ：現在地周辺の地図を表示

4. 詳細 ソフトキーで適当な縮尺の地図を表示させ、OKキーで登録したい位置にクロス・カーソルを合わせて、自宅 ソフトキーを押します。

自宅位置が登録されます。

◆ **自宅位置を修正する**

自宅を新しく登録すると、自宅位置を修正できます。現在の自宅の位置から近い場所へ修正する場合は、以下の方法でも修正できます。

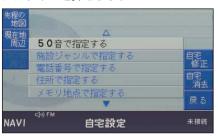
1. 自宅設定画面(→P8-30)で 自宅修正 ソフトキーを押します。

2. 詳細 ソフトキーで適当な縮尺の地図を表示させ、OK キーで修正したい位置にクロス・カーソルを合わせて、自宅修正 ソフトキーを押します。

自宅位置が修正されます。

◆ **自宅位置を消去する**

登録した自宅位置を消去できます。

1. 自宅設定画面(→P8-30)で 自宅消去 ソフトキーを押します。

2. はい ソフトキーを押します。

自宅位置が消去されます。

消去しない場合は、いいえ ソフトキーを押します。

● 現在地を登録する

現在地画面(→P8-6)で メモリ地点 ソフトキーを押します。自車マークの位置がそのまま任意の地点として登録されます。

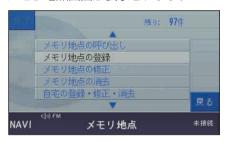
● 地図画面から登録する

OK キーで設定したい位置にクロス・カーソルを合わせて、メモリ地点 ソフトキーを押します。

● メモリ地点画面から登録する

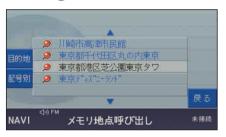
◆ メモリ地点画面を表示する

OKキーでメニュー画面（→P8-13）の「メモリ地点・自宅を登録・修正・消去」を選び、OKキーを押します。

メモリ地点画面が表示されます。

- メモリ地点の呼び出し（→右記）
- メモリ地点の登録（→P8-34）
- メモリ地点の修正（→P8-35）
- メモリ地点の消去（→P8-37）
- 自宅の登録・修正・消去（→P8-30）

◆ メモリ地点の呼び出し

1. OKキーでメモリ地点画面（→左記）の「メモリ地点の呼び出し」を選び、OKキーを押します。

2. OKキーで呼び出したいメモリ地点を選び、OKキーを押します。

目的地 ：目的地として設定します。

記号別 ：記号別に表示されます。

登録順 ：登録順に表示されます。

3. 地図表示 ソフトキーを押すと、呼び出した地点の周辺の地図が表示されます。

（電話アイコン）：登録している番号に電話をかけます。

◆ メモリ地点を登録する

1. OK キーでメモリ地点画面（→P8-33）の「メモリ地点の登録」を選び、OK キーを押します。

2. OK キーで地図の呼び出しかたを選び、OK キーを押します。

地図の表示方法は、それぞれのページを参照してください。

- 50音で指定する（→P8-38）
- 施設ジャンルで指定する（→P8-40）
- 電話番号で指定する（→P8-41）
- 住所で指定する（→P8-42）
- メモリ地点で指定する（→P8-43）
- 郵便番号で指定する（→P8-43）
- 以前の目的地で指定する（→P8-44）

先程の地図 ：先程表示した地図を表示

現在地周辺 ：現在地周辺の地図を表示

3. OK キーで設定したい位置にクロス・カーソルを合わせて、メモリ地点 ソフトキーを押します。

4. OK キーでお好みの記号を選び、OK キーを押します。

8 ナビゲーション

◆ メモリ地点を修正する

1. OK キーでメモリ地点画面（→P8-33）の「メモリ地点の修正」を選び、OK キーを押します。

2. OK キーで修正したい地点を選び、OK キーを押します。

メモリ地点修正画面が表示されます。

3. OK キーで「記号」「名称」「電話番号」「位置」のいずれかを選び、OK キーを押します。

メモリ地点の記号を変更する

1. OK キーでメモリ地点修正画面（→左記）の「記号」を選び、OK キーを押します。

2. OK キーでお好みの記号を選び、OK キーを押します。

> 知識：
> iナビリンクなどを利用して登録されたメモリ地点（→P10-12）の場合、記号を変更できません。

8 ナビゲーション

メモリ地点の名称を変更する

1. OK キーでメモリ地点修正画面（→P8-35)の「名称」を選び、OK キーを押します。

2. 名称を入力し、完了 ソフトキーを押します。

文字を修正するには、修正 ソフトキーを押してください。
（文字入力のしかた→P10-8）

メモリ地点の電話番号を変更する

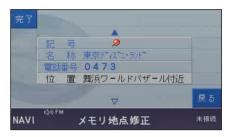
1. OK キーでメモリ地点修正画面（→P8-35)の「電話番号」を選び、OK キーを押します。

2. 【テンキー】で電話番号を市外局番から入力し、完了 ソフトキーを押します。

数字を修正するには、修正 ソフトキーを押してください。

メモリ地点の位置修正を行う

1. OK キーでメモリ地点修正画面（→P8-35）の「位置」を選び、OK キーを押します。

2. 詳細 ソフトキーで適当な縮尺の地図を表示させ、OK キーで修正したい位置にクロス・カーソルを合わせて、メモリ地点 ソフトキーを押します。

◆ メモリ地点を消去する

1. OK キーでメモリ地点画面（→P8-33）の「メモリ地点の消去」を選び、OK キーを押します。

2. OK キーで消去するメモリ地点を選び、OK キーを押します。

3. はい ソフトキーを押します。

消去しない場合は、いいえ ソフトキーを押します。

注意：
手順2で 全削除 ソフトキーを押すと、登録している全てのメモリ地点を消去してしまいますのでご注意ください。

8 ナビゲーション

■ 索引機能で地図を表示する

● 50音で指定する

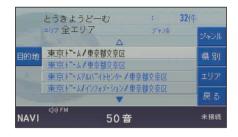
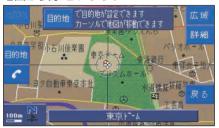
1. OK キーで目的地設定画面（→P8-13）の「50音で指定する」を選び、OK キーを押します。

2. OK キーで文字を入力し、完了 ソフトキーを押します。

修正 ：文字を修正します。

検索結果が表示されます。

> 知識：
> 次の場合、自動的に検索結果画面が表示されます。
> ・検索結果が5件以下で約10秒間なにも操作をしなかったとき
> ・最大文字数12文字を入力して約3秒間なにも操作をしなかったとき
> ・次の文字が入力できない場合に約3秒間なにも操作をしなかったとき

3. OK キーで施設名称を選び、OK キーを押します。

地図が表示されます。

目的地 ：目的地に設定します。

（電話アイコン）：表示した地点に電話番号が登録されているとき、その番号に電話をかけます。

> 知識：
> ・検索結果が多い場合は、施設名称をジャンル/県別/地域別に絞り込むことができます。

◆ さらに検索結果を絞り込む

以下の絞り込みができます。

ジャンル ：ジャンル別で絞り込む

県別 ：県別で絞り込む

エリア ：地域別で絞り込む

ジャンルで検索結果を絞り込む：

手順3の検索結果の画面で ジャンル ソフトキーを押します。

OK キーで項目を選び、OK キーを押すと検索結果の絞り込みが行われ、手順3に戻ります。

全ジャンル ：絞り込みが解除されて手順3の画面に戻ります。

県別で検索結果を絞り込む：

手順3の検索結果の画面で 県別 ソフトキーを押します。

OK キーで県名を選び、OK キーを押すと検索結果の絞り込みが行われ、手順3に戻ります。

全エリア ：絞り込みが解除されて手順3の画面に戻ります。

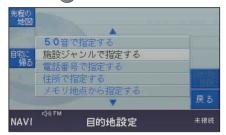
地域別で検索結果を絞り込む：

手順3の検索結果の画面で エリア ソフトキーを押します。

OK キーでエリアを選び、OK キーを押すと検索結果の絞り込みが行われ、手順3に戻ります。

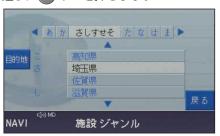
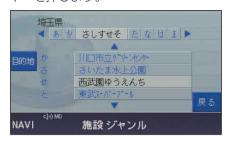
全エリア ：絞り込みが解除されて手順3の画面に戻ります。

●施設ジャンルで指定する

1. OK キーで目的地設定画面（→P8-13）の「施設ジャンルで指定する」を選び、OK キーを押します。

2. OK キーでジャンルを選び、OK キーを押します。

下記の例では「遊園地」を選んでいます。

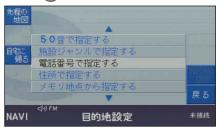
OK キーを左右に動かして、「店」、「車」などを選ぶこともできます。

3. OK キーで施設がある都道府県名を選び、OK キーを押します。

4. OK キーで施設名称を選び、OK キーを押します。

地図が表示されます。

：表示した地点に電話番号が登録されているとき、その番号に電話をかけます。

8 ナビゲーション

●電話番号で指定する

1. OK キーで目的地設定画面（→P8-13)の「電話番号で指定する」を選び、OK キーを押します。

2. 【テンキー】で電話番号を市外局番から入力します。

数字を修正するには、修正 ソフトキーを押してください。

> 知識：
> 市外局番と市内局番のみを入力して手順3の操作をしても、その周辺の地図が表示されます。

3. 電話番号を入力したあと、完了 ソフトキーを押します。

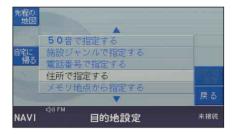
地図が表示されます。

該当する電話番号がない場合は、市内局番と市外局番から、その周辺の地図が表示されます。

（電話アイコン）：表示した地点に電話番号が登録されているとき、その番号に電話をかけます。

> 知識：
> 次の場合、自動的に周辺の地図が表示されます。
> ・10桁入力して約3秒間なにも操作をしなかったとき
> ・9桁入力して約10秒間なにも操作をしなかったとき

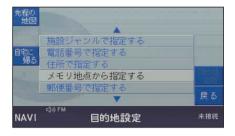
●住所で指定する

1. OKキーで目的地設定画面（→P8-13）の「住所で指定する」を選び、OKキーを押します。

2. OKキーで都道府県名を選び、OKキーを押します。

3. 以下の画面でそれぞれOKキーで町名や番地を選び、OKキーを押します。

地図が表示されます。

● メモリ地点で指定する

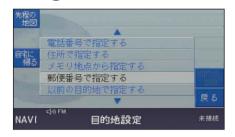
1. OK キーで目的地設定画面（→P8-13)の「メモリ地点から指定する」を選び、OK キーを押します。

2. OK キーでメモリ地点を選び、OK キーを押します。

記号別 ：記号別に表示されます。

登録順 ：登録順に表示されます。

地図が表示されます。

● 郵便番号で指定する

1. OK キーで目的地設定画面（→P8-13)の「郵便番号で指定する」を選び、OK キーを押します。

2. 【テンキー】で郵便番号を入力し、完了 ソフトキーを押します。

修正 ：数字を修正します。

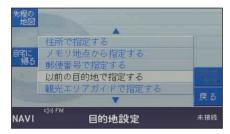
地図が表示されます。

（次ページへ続きます）

知識：
・7桁すべてを入力しないと周辺の地図を表示できません。
・7桁入力して約3秒間なにも操作をしなかったとき、自動的に周辺の地図が表示されます。

● 以前の目的地で指定する

以前に設定した目的地（最大50か所）から指定できます。

1. OK キーで目的地設定画面（→P8-13）の「以前の目的地で指定する」を選び、OK キーを押します。

2. OK キーで目的地を選び、OK キーを押します。

地図が表示されます。

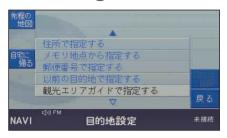
● 観光エリアガイドで指定する

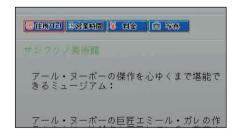
本システムに収録されている観光エリアガイドから指定できます。

1. OK キーで目的地設定画面（→P8-13）の「観光エリアガイドで指定する」を選び、OK キーを押します。

2. OK キーで地域を選び、OK キーを押します。

3. OK キーでエリアを選び、OK キーを押します。

4. OK キーで「見る」「遊ぶ」「食べる」のいずれかを選び、OK キーを押します。

5. OK キーで行きたい場所を選び、OK キーを押します。

6. OK キーで「住所/Tel」「営業時間」「料金」「写真」のいずれかを選び、OK キーを押します。

それぞれの情報が表示されます。

OK キーを上下に動かしても情報を見ることができます。

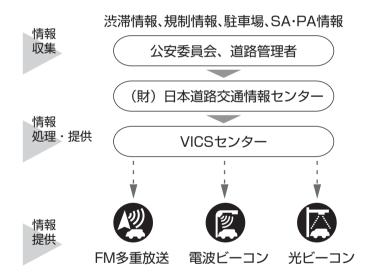
■ VICS情報を見る

VICS（道路交通情報通信システム）とは、FM多重放送やビーコンから渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションシステムに送信するシステムです。VICS はVehicle Information and Communication Systemの略です。

⚠ 警告

VICS情報は、走行中も表示されますが表示画面を注視しないでください。前方不注意となり思わぬ事故の原因になります。

知識：
- 本機は、FM多重放送のVICS情報を受信できます。
- 電波ビーコンおよび光ビーコンからのVICS情報は受信できません。
  別売のVICS受信システムが必要です。

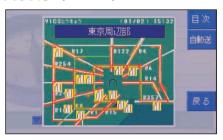
● VICSサービスのしくみ

VICSリンクデータベースの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。

8

ナビゲーション

● VICS情報の表示

文字表示（レベル1）

図形表示（レベル2）

地図表示（レベル3）

タイムスタンプ

> 知識：
> ・タイムスタンプの時刻表示は、VICS情報が提供された時刻を表します。VICS情報を受信した時刻ではありません。
> ・タイムスタンプは、VICS表示がONのときのみ表示されます。

● VICS情報を受信する

FM多重放送のVICS情報（レベル1、レベル2、レベル3）を受信し、表示します。

別売のVICS受信システムを接続すると、ビーコンのVICS情報を受信し、渋滞を考慮したルート探索もできます。

> 知識：
> ・VICS情報を受信する放送局を選局できます。（→P8-52）
> ・VICS情報（レベル3）は、1km表示以上/市街図（25m)では表示されません。
> ・VICS情報のデータは、エンジンキーを抜いたあと約30分後に本システムから消去されます。

● VICS情報について

渋滞情報

渋滞度	表示	内　容	表示縮尺
渋滞	赤色	交通の流れが非常に悪い状態	50m～500m
混雑	橙色	交通の流れがやや悪い状態	
渋滞なし	水色	交通の流れが良い状態	

事象・規制情報

代表的なVICSマーク

マーク	内　容	表示縮尺
	進入禁止	50m～500m
	入り口閉鎖	50m～500m
	事故	50m～200m
	工事	50m～200m

駐車場、SA・PA情報

マーク	内　容	表示縮尺
P PA (青)	利用が可能な状態	50m～500m
P PA (赤)	ほぼ満車の状態	
P PA (橙)	利用率が高い状態	
P PA (黒)	駐車場情報がない状態	50m～200m
P PA	閉鎖されている状態	

知識：
- 駐車場情報は一部のエリアでしか提供できません。
- 1km表示以上/市街図（25m)では表示されません。

VICSマークの種類（参考）

マーク	内　容
	事　故
	故障車
	路上障害
	工　事
	凍　結
	作　業
	通行止め・閉鎖
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面交通
	車線規制
	徐　行
	入り口閉鎖
	大型通行止め
	入り口制限
80	速度規制
	その他
	災　害
	行事など
	右左折規制
	片側規制
	火　災
	気　象
	地震警戒宣言
P	駐車場
PA	SA・PA

● VICS情報（レベル3）を地図上に表示する

1. 表示 ソフトキーを押します。

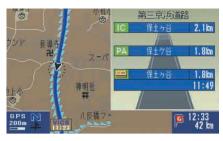
2. VICS一般 または VICS高速 ソフトキーを押します。

VICS一般：一般道路の情報が表示されます。

VICS高速：高速道路の情報が表示されます。

もう一度押すとVICS情報は、画面から消去されます。

例）全道路表示

例）高速道路を走行中

◆ VICS情報マークの内容を確認する

地図上に表示されているVICS情報マークの詳細情報を確認できます。

VICS情報が表示されている現在地画面または地図画面で ガイド ソフトキーを押します。

画面中心に近い順から規制情報、駐車場マークの詳細情報が表示されます。

自車から離れた位置のVICSマークの詳細情報を確認するには、OK キーでクロス・カーソルをVICSマーク付近に移動させ、ガイド ソフトキーを押します。

ランドマーク（施設マーク）が表示されている場合、施設の詳細情報も表示されます。

● VICS情報（レベル1・2）を表示する

1. OKキーでメニュー画面（→P8-13）の「VICSを設定」を選び、OKキーを押します。

VICS設定画面が表示されます。

2. VICS設定画面で 文字情報 、 図形情報 、 割込情報 のいずれかのソフトキーを押します。

文字情報 ：文字情報が表示されます。

図形情報 ：図形情報が表示されます。

割込情報 ：割込情報が表示されます。

> 知識：
> 情報を複数ページ受信している場合（画面に ▽ が表示されます）、OKキーを上下に動かすと次ページが表示されます。
> 自動送 ソフトキーを押すと、自動的に次ページが表示されます。ただし、走行中は行いません。

◆ VICS文字情報を表示する

1. VICS設定画面（→左記）で 文字情報 ソフトキーを押します。

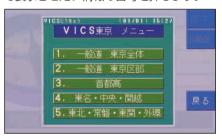
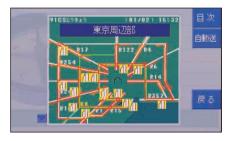
2. 目次画面が表示されます。【テンキー】で表示させたい情報の番号を押します。

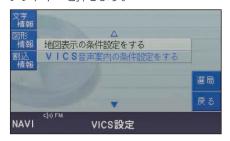
例）「1.渋滞」を選んだ場合

> 注意：
> 文字情報は走行中も表示されますが、画面を注視しないでください。前方不注意などにより思わぬ事故につながることがあります。

◆ VICS図形情報を表示する

1. VICS設定画面（→P8-50）で 図形情報 ソフトキーを押します。

2. 目次画面が表示されます。【テンキー】で表示させたい情報の番号を押します。

例）「1.一般道　東京全体」を選んだ場合

◆ 割込情報を表示する

1. VICS設定画面（→P8-50）で 割込情報 ソフトキーを押します。

注意：
走行中、割込情報を受信すると自動的に画面にその情報を表示します。画面を注視しないでください。前方不注意などにより思わぬ事故につながることがあります。

● FM VICS放送局を選局する

オートモード

現在地情報をもとに自動的にVICS放送局を切り換えます。

マニュアルエリアモード

受信状態に応じて、選んだエリア（都道府県）内で放送局を自動的に切り換えます。

マニュアルTUNEモード

希望する放送局に切り換えます。放送局は自動では切り換わりません。

1. OKキーでメニュー画面(→P8-13）の「VICSを設定」を選び、OKキーを押します。

2. 選局ソフトキーを押します。

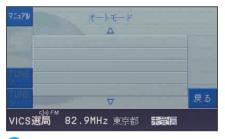
例）オートモードの場合

◆ オートモードにする

マニュアルエリアモードまたはマニュアルTUNEモードでオートソフトキーを押します。

オートモード画面

◆ マニュアルエリアモードにする

1. マニュアルソフトキーを押します。

2. OKキーで希望する県名を選び、OKキーを押します。

◆ マニュアルTUNEモードにする

1. マニュアル ソフトキーを押します。

2. TUNE ∧、TUNE ∨ ソフトキーを押して希望する周波数を選びます。

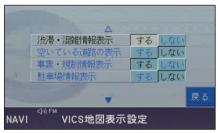
TUNE ∧：周波数の高い方向に選局します。

TUNE ∨：周波数の低い方向に選局します。

● 表示するVICS情報を設定する

地図画面上に表示するVICS情報（レベル3）を選びます。

1. OK キーでVICS設定画面（→P8-50）の「地図表示の条件設定をする」を選び、OK キーを押します。

2. OK キーでそれぞれの項目に対して「する」または「しない」を選び、OK キーを押します。

● VICS情報受信時の案内方法を設定する

VICS情報を受信したとき音声で案内するかしないかを設定します。

1. OKキーでVICS設定画面（→P8-50）の「VICS音声案内の条件設定をする」を選び、OKキーを押します。

2. OKキーで「する」または「しない」を選び、OKキーを押します。

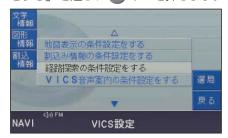
■ VICSを機能アップする

別売のVICS受信システムが必要です。接続すると渋滞を考慮したルートの探索やビーコンからの割込情報を受信することができます。

● VICS情報を考慮したルート探索をする

ビーコンのVICS情報（渋滞情報）を考慮してルートを探索します。

1. OKキーでメニュー画面（→P8-13）の「VICSを設定」を選び、OKキーを押します。

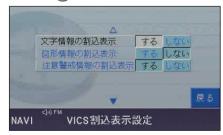
2. OKキーで「経路探索の条件設定をする」を選び、OKキーを押します。

3. OKキーで「する」または「しない」を選び、OKキーを押します。

知識：
・VICS情報が地図上に表示されていないとVICS情報を考慮したルート探索はされません。
・通行止め規制やランプ閉鎖等の規制がルート上にある場合、この設定に関係なく、規制を回避するルートを探索します。

● 表示する割込情報を設定する

1. OKキーでメニュー画面（→P8-13）の「VICSを設定」を選び、OKキーを押します。

2. OKキーで「割込み情報の条件設定をする」を選び、OKキーを押します。

3. OKキーで「する」または「しない」を選び、OKキーを押します。

●VICSサービスエリアと地図ディスクについて

VICSサービスエリア
北海道(札幌地区、旭川地区、函館地区)、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、山梨県、長野県、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、福岡県、熊本県、宮崎県、沖縄県
(2001年09月現在)

VICS情報のレベル3（地図表示）は、ご使用の地図ディスクに収録されている「VICS対象エリア」内で表示可能です。
VICSのサービスエリアについては、地図ディスクに含まれるデータに依存するため、地図ディスクの説明書きを確認してください。
地図ディスクに収録されていない対象エリアで、VICSサービスエリアが拡大された場合は、サービスエリアが拡大された最新の地図ディスクをご使用いただく必要があります。
地図ディスクについてのお問い合わせは、最寄りのMBディーラーにご相談ください。
VICSのサービスエリアは、記載されていない地域へも拡大される予定です。
最新のサービスエリアについては、最寄りのMBディーラーにご相談ください。

●VICSのお問い合わせ先

- 車載機の調子、機械、使い方等に関するもの
- VICSのサービスエリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容についてのお問い合わせは、最寄りのMBディーラーにご相談ください。

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは（財）VICSセンターにお問い合わせください。

（財）VICSセンター
受　付：9：30～17：45
　　　　土・日・祝祭日を除く
電　話：0570-00-8831
(全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。携帯電話/PHSからはご利用できません。)
携帯電話/PHS専用：
　　　　03-3592-2033
　　　　06-6209-2033
FAX受付：24時間
FAX番号：03-3592-5494
HPアドレス：http://www.vics.or.jp

■ ナビゲーションモードメッセージ画面

ナビゲーションモードの操作中に表示されるメッセージ画面は、操作項目やそのときの設定状態によって表示が異なります。
それらのメッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。
また、操作中のメッセージ表示以外に疑問に思われる点などがあるときは、念のため次ページの「故障と思うまえに確認をお願いします」をお読みください。

■ 故障と思うまえに確認をお願いします

ナビゲーションモード使用中に、画面表示の状態や操作に対する反応に疑問を感じたときなどは、故障とお考えになるまえに、以下の項目を参照して本当に故障かどうか確かめてください。

疑問に感じる現象など	現象に対する説明
画面表示のディスプレイ面に光る点が散在する	画面表示の液晶パネルには非常に高度な製造技術で高密度の表示画素を採用しています。表示する有効画素数の保証値は99.99%以上となっていますが、わずかながら（0.01%以下）の割合で表示画素のエレメント配列欠損や常時点灯などの異常があることがあります。 故障ではありませんので、安心して使用してください。
自宅前の道路から案内を開始しない	団地内の私道や、住宅街の交通量の少ない（私道に準ずる）道は安全上と道路環境を保護するため、ルート案内対象道路として適用していません。少し走行して近くの案内対象道路（公道）に出るとルート案内が始まります。また、同じ理由から住宅街や学校付近などの「裏道や抜け道」も画面表示しなかったりルート案内や現在地表示ができないことがあります。「裏道」などの走行中に画面表示から道路が消えても、再び案内対象道路（公道）に出るとルート案内を開始します。
道路（公道）が画面に表示されない、画面表示の施設名が実際とは異なる	道路や施設名、交差点名などについては地図の作成時点で公開されている情報に基づくものであり、実際とは異なることをご理解のうえ使用してください。地図は1年ごとに新たな情報に基づき登録情報を更新していますので、新しい地図（DVD-ROM）と交換することをおすすめいたします。新しい地図（DVD-ROM）については、最寄のMBディーラーにご相談ください。

疑問に感じる現象など	現象に対する説明
地図の表示画面が暗すぎる、明るすぎる	地図表示画面の明るさを調整してください。 （画面の明るさを調整する→P8-10）
現在地マークが画面に正しく表示されない（GPS受信マークが画面に表示されない）	●GPS（人工衛星）信号の受信状態や車の状態（たとえば、タイヤの交換直後やバッテリーの交換直後など）によって一時的に表示がずれることがあります。 ●これまでに走行した道路と地図の登録情報が一致しないときや、地図に登録されていない新しい道路の通過後などでは一時的に表示がずれることがあります。しばらくそのままで走行を続けるとGPSの受信により自動的に修正されます。GPSを精度よく受信するために見晴らしのよい安全な場所に停車することも一案です。 ●GPSが連続して受信できていながら、10km以上の距離を走行しても表示が自動修正されないときは手動で修正することもできます。 [現在地（自車位置）を修正する→P8-29]
現在地マークの方向と車の進行方向が合わない	●以下のような状況では、一時的に車の進行方向表示がずれることがあります。 ◎駐車場の出入り口でターンテーブルを使用したあと ◎ループ状の駐車場出入口の通過後 ◎ループ橋などの道路の通過後 しばらくそのままで走行を続けると、GPSの受信により自動的に修正されます。 ●GPSが連続して受信できていながら、10km以上の距離を走行しても表示が自動修正されないときは手動で修正することもできます。 [現在地（自車位置）を修正する→P8-29]

疑問に感じる現象など	現象に対する説明
現在地位置までの走行距離の誤差が大きい（常に大きな誤差がある）	●このシステムはタイヤの回転数によりこの車の走行距離を計算します。指定サイズ、および指定ブランド以外のタイヤを装着すると表示誤差が大きくなることがあります。表示誤差が直らない場合や、タイヤ交換時はかならず、MBディーラー、または指定サービス工場にご相談ください。 ●非舗装路面や路面の凸凹が激しい道路、凍結路などの通過時やタイヤチェーン装着時などはタイヤの回転数が不安定になるため表示誤差が大きくなることがあります。
案内ルートが不適切 ・有料道優先を選んでいないにもかかわらず、有料道路を案内する ・距離優先を選んだら、有料道路の出入りをくり返す	●以下のようなときは有料道優先を選んでいなくても有料道路を案内することがあります。 ◎一般道路を通ると極端に遠回りになるとき ◎周囲に適切な案内対象の一般道が存在しないとき ●距離優先を選ぶと、ルート探索上の最短の距離を表示しますので、有料道路の区間別に繰り返し案内することがあります。
インターチェンジなどの走行中現在地マークが回転する	ループ状のインターチェンジや交差点などを通過するときは方位が連続してかわるため、一時的に現在地マークが回転することがあります。 そのまま走行を続けると、正しい方位を探索して自動的に修正されます。

■ ナビゲーション地図データについて

本機の「地図」は財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地理情報に基づいて、松下電器産業株式会社が製作したものです。但し、調査時期やその取得方法により現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては実際の道路状況および交通規制に従ってください。
ディスクの詳細につきましては、地図ディスクの説明書きをご覧ください。

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

- この地図の作成にあたっては、国土交通省国土地理院発行の2.5万分の1地形図を使用しました。
- この地図の作成にあたっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。
- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会作成の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。

- 交通規制データの保証について
  本品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき設立された全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて（財）日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。
- 道路交通規制の優先について
  本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。
- 著作権および使用実施権について
  本品に使用している交通規制データの著作権は（財）日本交通管理技術協会が有し、二次的著作物作成の使用実施権は松下電器産業（株）が取得しています。
  本品に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。

● 地図記号

記号	色	名称
	紫	高速道路・都市高速・有料道路
	赤	国道
	薄緑	主要地方道
	黄	一般都道府県道
	白	その他の道路（幅5.5m以上）
	灰	その他の道路（幅3.0m以上）
	灰	私鉄線路
	黒/白	JR線路
	水色	水域（河川、湖沼、海など）
	緑	緑地
	薄茶	駅／敷地

記号	名称
	官庁、市町村の出先機関
	都道府県庁
	市役所、東京23区役所
	町村役場、東京以外区役所
	郵便局
	警察署
	消防署
	学校
	幼稚園
	病院
	他の施設
	発電所
	銀行、信用金庫、農協
	スーパーマーケット、デパート
	ホテル、旅館
	ビル
	工場
	神社
	寺院
	教会
	港
	城跡
	史跡
	ゴルフ場

記号	名称
	スキー場
	海水浴場
	アイス・スケート場
	ヨット・ハーバー、マリーナ
	陸上競技場、体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	灯台
	インターチェンジ
	パーキング・エリア
	サービス・エリア
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリー・ターミナル
	山
	電話局
	墓地
	空港、飛行場
	MBディーラー

● ランドマーク（施設マーク）

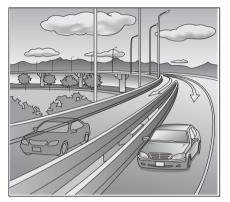
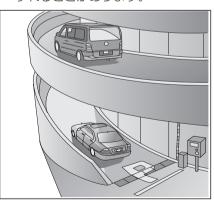
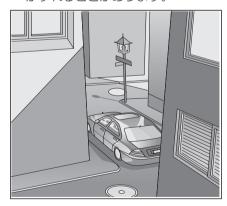
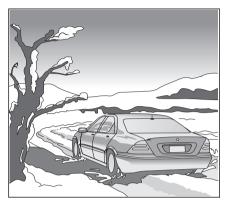
ランドマークについては、周辺施設探索時に表示されるリスト表示名称と記号を参照してください。

● 主な設備マーク

記号	名称
	郵便ポスト
	レストラン
	トイレ
	FAXサービス
	ハイウェイ情報ターミナル

■ ナビゲーションについて

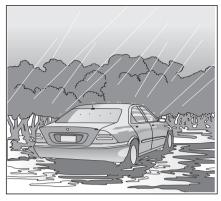
システムの構成上から以下のようなことが起こりますが、故障ではありません。

- 走行場所や運転条件などにより、現在地マーク（▲）が正しい位置を表示しないことがあります。
- 分岐角度のゆるやかなY字分岐点の通過時、しばらくの間もう一方の道路に現在地マークが表示されることがあります。

- ループ状の橋やインターチェンジなどを通過すると、現在地マークがずれることがあります。

- 案内ルートを外れて手前の交差（分岐）点で曲がったときなど、誤った音声案内をすることがあります。
- 高速道路を走行しているときに、並行している側道あるいは、高架下の一般道に現在地マークが表示されることがあります。また、その逆の場合もあります。
- 走行中に再探索あるいは、迂回探索をすると、ルート表示が次の交差点までに間に合わないことがあります。
- 音声案内ができない交差点や拡大表示できない交差点があります。
- 一方通行規制で進入できない道路を案内することがあります。
- 時間規制で曲がれない交差点を曲がるように案内することがあります。
- 再探索、迂回探索機能で探索したルートが遠回りになることがあります。
- ビルや大型車両の近くあるいは、山間部を走行すると、現在地マークがずれることがあります。

● 通過点を経由せずに目的地に向かうとき、再探索、迂回路探索を実行すると、通過点に戻るルートが表示されることがあります。

● 航走フェリーや車両運搬車などで車両を移動させたあと、現在地マークが移動前の位置に表示されることがあります。

● 探索されたルート表示が、Uターンを案内することがあります。

● 実際に通行できない道（すでに廃止されている旧道など）を案内することがあります。

● 駐車場のターンテーブルで回転や切り返しなどを繰り返したあと、現在地マークがずれることがあります。

● 砂利道、雪道、凍結面などの滑りやすい路面を走行すると、タイヤのスリップにより現在地マークがずれることがあります。

● 現在地マークを修正したときに修正を間違えたまま走行を続けると、自動修正できないことがあります。

● 目的地まで道路が達していないときや道幅が狭いときは、目的地から離れたところまでしかルート案内をしないことがあります。

● カーブなどで急ハンドル操作を繰り返すと、現在地マークがずれることがあります。

● 直線道路でも車線変更を必要以上に繰り返すと、現在地マークがずれることがあります。

● 地図データにない新しい道路や開拓地域を走行すると、ルート案内ができなかったり、現在地マークがずれることがあります。

● 目的地までの距離が極端に長いときや短すぎるときは、ルート設定できないことがあります。

9.　音声認識

■ 音声認識とは

マイクに音声コマンドを発声して、本システムを操作する機能です。

■ 主な特長

ナビゲーションの音声認識

住所、施設名などを発声して、地図を表示します。
他にも、ルートの確認やVICS情報の表示/消去などもできます。

ラジオの音声認識

バンド切り換え、オートプリセット、プリセット選局などを行えます。

テレビの音声認識

バンド切り換え、オートプリセット、プリセット選局などを行えます。

DVDビデオの音声認識

モード切り換えのみ行えます。

ビデオCDの音声認識

モード切り換えのみ行えます。

CDの音声認識

トラック操作、聞きたいCDの選択（CDチェンジャーのみ）を行えます。

電話の音声認識

電話番号、メモリ番号、名前を発声して、電話をかけることができます。

■ 音声認識の基本的な使いかた

● 音声コマンドを発声する

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

Cクラス

2. ボイスコントロールレバーを引いて「ピッ」と鳴ったあと、6秒以内に音声コマンドを発声します。

（音声コマンド一覧→P9-16）

例：モードをCDに切り換えるとき
「CD」を発声します。

CDの再生を開始します。

知識：
●必ず「ピッ」と鳴ってから音声コマンドを発声しないと、音声コマンドは認識されません。
●以下のようなときは、音声認識モードになりません。
・地図をスクロールしているとき
・フリーズーム機能を使って縮尺を切り換えているとき
・3D表示中に、地図を回転させているとき
・CDを出し入れしているとき
・ハンズフリー通話中
・電源を入れて、「Mercedes Benz」または「安全の為のご注意」の画面が表示されているとき
・本機の電源がOFFのとき
●認識率をよくするために、以下のことをお守りください。
・音声コマンドは、はっきりと発声してください。
・ウインドウを閉めてください。
・同乗者に会話を控えてもらってください。
・発声中は他のスイッチを操作して操作音を出すなどしないでください。

● 発声した内容を訂正する

例：「東京都新宿区神楽河岸」を「東京都新宿区神楽坂」に訂正する

1. 「東京都新宿区神楽河岸を表示します」と音声案内されるまえに（または音声案内途中や音声案内後に）再度ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードを起動します。

2. 「神楽坂」を発声します。

東京都新宿区神楽坂の地図が表示されます。

知識：
●住所以外のコマンドを入力後、または他モードに切り換えてから再度音声認識モードを起動したとき、住所の訂正はできません。（ただしオーディオモードからナビゲーションモードへの切り換えは除く）
●住所を訂正するときは、
・都道府県名を訂正する場合
…都道府県名から言い直します。
・市名を訂正する場合
…都道府県名または市名から言い直します。
・町名を訂正する場合
…都道府県名、市名または町名から言い直します。

● 音声認識モードを解除する

ボイスコントロールレバーを前方へ押します。

Cクラス

> 知識：
> 以下のようなときも、音声認識モードは解除されます。
> ・いずれかのキーを押したとき（ソフトキーは除く）
> ・イグニッションスイッチをOFFにしたとき
> ・VICSの緊急情報を受信したとき
> ・電話が着信したとき
> ・イジェクトなどのCDチェンジャー操作を行ったとき

■ 共通操作

● モードを切り換える

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. **例：モードをCDに切り換えるとき**
「CD」を発声します。

CDの再生を開始します。

（モードを切り換える音声コマンド→P9-16）

● 音量を調整する

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「ボリュームアップ」を発声すると、音量が上がります。

「ボリュームダウン」を発声すると、音量が下がります。

> 知識：
> MUTE（消音）しているときは、音量を調整できません。

● ヘルプ画面を表示する

本機が認識できる音声コマンドがわからないときは、ヘルプ画面を表示させると、主な音声コマンドを検索できます。

1.ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2.**例：CDのヘルプ画面を表示したい場合**
「CDのヘルプ」を発声します。

(ヘルプ画面を表示する音声コマンド→P9-16)

CDのヘルプ画面が表示されます。

3.ヘルプ画面から、目当ての音声コマンドが見つかったら、ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにし、音声コマンドを発声します。

■ ナビゲーションの操作

● 索引機能で地図を表示する

◆ 住所で指定する

1.ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2.案内に従って発声します。

「住所」を発声します。

「住所をどうぞ」と音声案内されます。

例：神奈川県横浜市都筑区佐江戸町
「神奈川県横浜市都筑区佐江戸町」を発声します。

神奈川県横浜市都筑区佐江戸町の地図が表示されます。

知識：
- 住所で発声できるのは、以下のパターンです。
  - 都道府県名
  - 都道府県名＋市区町村名
  - 都道府県名＋市区町村名＋大字名
  - 都道府県名＋市区町村名＋大字名＋小字名
- 以下の場合は都道府県名の発声を省略できます。
  - 政令指定都市を発声する場合
  - 自車位置がある県名を発声する場合

◆ 施設名で指定する

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 案内に従って、発声します。

「施設」を発声します。

「施設をどうぞ」と音声案内されます。

例：後楽園遊園地（東京都）
「東京都 後楽園遊園地」を発声します。

地図が表示されます。

知識：
- 施設で入力できる方法は、以下の通りです。
  - 都道府県名＋施設名
    （例：東京都 東京国際空港）
  - 会社名や有料道路名など＋施設名
    （例：東名高速道路 東京 ＩＣ(インターチェンジ) 入口）
  - 施設名の別名称
    （例：ビッグエッグ）
- 都道府県名、会社名、有料道路名のみが認識された場合、音声案内にしたがって施設名称を発声してください。（例：「東京都のどちらですか」と音声案内されたら、「後楽園遊園地」と発声します。）
- 名称の先頭に都道府県名や政令指定都市名がついている場合、都道府県名の発声を省略できます。（例：東京ディズニーランド）

◆ 施設ジャンルで指定する

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 案内に従って発声します。

「ジャンル」を発声します。

「ジャンルをどうぞ」と音声案内されます。

例：「駅」を音声入力します
「駅」を発声します。

「駅を検索します県名をどうぞ」と音声案内されます。

一例として「神奈川県」を発声します。

「神奈川県の施設名をどうぞ」と音声案内されます。

一例として「鴨居駅」を発声します。
地図が表示されます。

（施設ジャンルの音声コマンド→P9-19）

知識：
ジャンル入力後、施設を絞り込むパターンは、以下のとおりです。
- 都道府県名＋市区町村名＋施設名称
- 都道府県名＋施設名称
- 施設名称

◆ 電話番号で指定する

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「電話番号索引」を発声します。

電話番号入力画面が表示されます。

いったん音声認識モードが解除されます。

3. 電話番号入力画面を表示したままで、ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

4. **例：045929＊＊＊＊**

「045929＊＊＊＊」を発声します。

電話番号に該当する地図が表示されます。

知識：
電話番号、郵便番号の数字の音声認識は、以下の通りです。
0：ぜろ、れい、まる

1：いち	2：に	3：さん
4：よん、し	5：ご	6：ろく
7：なな	8：はち	9：きゅう

◆ 郵便番号で指定する

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「郵便番号」を発声します。

郵便番号入力画面が表示されます。

いったん音声認識モードが解除されます。

3. 郵便番号入力画面を表示したままで、ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

4. **例：222-0036**

「2220036」を発声します。

郵便番号に該当する地図が表示されます。

● 目的地を設定する

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「目的地設定」を発声します。

「どちらへ行きますか」と音声案内されます。

3. 住所または施設で、目的地を指定します。

（住所で指定する→P9-5）
（施設名で指定する→P9-6）
目的地までのルートを案内します。

> 知識：
> ルートがすでに設定されている状態で上記操作を行うと、前のルートは消去されます。

● 自宅に帰る

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「自宅に帰る」を発声します。

自宅までのルートを案内します。

> 知識：
> 自宅が登録されていないと、この操作はできません。
> （自宅を登録する→P8-30）

●通過点を設定する

1. 通過点に設定したい地点を表示させてから、

ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「通過点設定」を発声します。

表示された地点が通過点に設定されます。

◆ 通過点を消去する

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「通過点消去」を発声します。

通過点が消去されます。

> 知識：
> 通過点が2つとも設定されているときは、次に通過する予定の通過点が消去されます。

●ルート案内中もう一度探索する

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. **例：一般道優先で再探索する**
「一般道優先」を発声します。

一般道優先で、新しいルートが探索されます。

(再探索する音声コマンド→P9-17)

●メモリ地点に登録する

1. メモリ地点に設定したい地点を表示させてから、

ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「メモリ地点」を発声します。

表示された地点がメモリ地点に登録されます。

●VICS情報を表示する

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. **例：高速道路の情報を表示する**
「VICS高速道表示」を発声します。

「VICS情報の表示を高速道路だけにします」と音声案内され、高速道路の情報が表示されます。

(VICS情報の音声コマンド→P9-17)

> 知識：
> VICS情報を消去する場合は、「VICS表示解除」を発声します。

●表示内容を変更する

◆ 地図の向きを変更する

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. **例：ヘディングアップに切り換える**
「ヘディングアップ」を発声します。

地図がヘディングアップに切り換わります。

(次ページへ続きます)

> 知識：
> ・「地図向き」と音声入力すると、ノースアップとヘディングアップを切り換えることができます。
> ・3D画面の地図の向きを変更することはできません。

◆ 地図の縮尺を変更する

例：100 m縮尺で表示しているとき

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 例：広域の縮尺に切り換える

「広域」を発声します。

200 m縮尺に切り換わります。

> 知識：
> ・「詳細」と発声すると、一段階詳細の縮尺に切り換わります。
> ・50 m縮尺表示中に「市街図」と発声すると、市街図（25 m縮尺）に切り換わります。

◆ 地図を3D表示にする

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「3D（スリーディー）表示」を発声します。

地図が3Dで表示されます。

> 知識：
> 3D表示を解除する場合は、「3D表示解除」を発声します。

◆ 高速道路走行中に表示を切り換える

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 例：都市高マップを表示する

「都市高マップ表示」を発声します。

都市高マップが表示されます。

（高速道路表示の音声コマンド→P9-18）

> 知識：
> 都市高マップを解除する場合は、「都市高マップ解除」を発声します。

●ランドマークを表示する

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. **例：レストラン**
「レストラン表示」を発声します。

レストランのランドマークが表示されます。

（ランドマーク表示の音声コマンド→P9-18）

知識： 地図に表示できる施設は、１種類のみです。

◆ ランドマークを消去する

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「施設表示消去」を発声します。

ランドマークが消去されます。

●知りたい情報を聞く

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. **例：今走っている道路を聞くとき**
「今走っている道路は」を発声します。
例：東名高速道路を走行中の場合
「現在走行している道路は、東名高速道路です」と音声案内されます。

（問い合わせの音声コマンド→P9-18）

●ルート案内を中止する

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「案内中止」を発声します。

ルート案内が中止されます。

◆ ルート案内を再開する

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「案内再開」を発声します。

ルート案内が再開されます。

■ ラジオの操作

● プリセット画面を切り換える

1. 例：FM1からFM2に切り換える
ラジオモードがFM1のときに、ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「FM（エフエム）」を発声します。
FM2に切り換わります。

> 知識：
> ・「FM」を発声するたびに、FM1/FM2が切り換わります。ただしナビの画面でFMを聞いている場合は、FM画面に切り換わるだけでバンドは切り換わりません。
> ・AM1/AM2を切り換えるときは、AMラジオに切り換えて、「AM（エーエム）」を発声します。

● オートプリセットする

1. 例：FM1に放送局を記憶させる
ラジオモードがFM1のときに、ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「オートプリセット」を発声します。
オートプリセットを開始します。

● プリセット選局をする

1. 例：FM1のプリセット番号1を選ぶ
ラジオモードがFM1のときに、ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「プリセット1」を発声します。
プリセット番号1に登録された放送局に切り換わります。

■ CDの操作

● 聞きたい曲を選ぶ

1. CD再生中に、ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 例：トラックアップする
「トラックアップ」を発声します。

次の曲を再生します。

> 知識：
> トラックダウンするときは、「トラックダウン」を発声します。

● 聞きたいCDを選ぶ（CDチェンジャー＊のみ）

1. CDチェンジャーモードのときに、ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 例：ディスク1
「ディスク1」を発声します。

ディスク1を再生します。

＊オプションや車種、仕様により装備が異なります

■ テレビの操作

● プリセット画面を切り換える

1. **例：TV1からTV2に切り換える**
テレビモードがTV1のときに、ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「テレビ」を発声します。

TV2に切り換わります。

> 知識：
> 「テレビ」を発声するたびに、TV1/TV2が切り換わります。

● オートプリセットする

1. **例：TV1に放送局を記憶させる**
テレビモードがTV1のときに、ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「オートプリセット」を発声します。

オートプリセットを開始します。

● プリセット選局をする

1. **例：TV1のプリセット番号1を選ぶ**
テレビモードがTV1のときに、ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「プリセット1」を発声します。

プリセット番号1に登録された放送局に切り換わります。

■ DVDビデオ/ビデオCDの操作

● DVDビデオ/ビデオCDに切り換える

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 案内に従って発声します。

例：DVDビデオに切り換える

「DVD」を発声します。

DVDビデオに切り換わります。

例：ビデオCDに切り換える

「ビデオCD」を発声します。

ビデオCDに切り換わります。

■ 電話の操作

●電話をかける

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 案内に従って発声します。

「電話発信」を発声します。

「発信先をお話しください」と音声案内されます。

例：045929＊＊＊＊

「045929＊＊＊＊」を発声します。

「045929＊＊＊＊」と音声案内されます。

「発信」を発声します。

「045929＊＊＊＊」に発信されます。

> 知識：
> ・電話番号は区切りながら発声しても音声認識されます。
> 　例：09012345678の場合
> 　　音声案内に従って「090」、「1234」、「5678」と区切って発声します。
> ・音声認識で電話をかける方法は、以下の通りです。
> 　・電話番号からかける
> 　・電話帳に登録されている名前からかける
> 　・電話帳に登録されているメモリ番号からかける
> 　・リダイヤルからかける

◆ 電話番号がすでに入力されている場合は

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 「発信」を発声します。

電話をかけます。

> 知識：
> 「着信履歴画面」「電話帳」「リダイヤル画面」のみ有効です。

◆ 電話モードの電話帳に登録されている名前からかける

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 案内に従って発声します。

「電話発信」を発声します。

例：電話モードの電話帳に名前を「山田」、よみがなを「ヤマダ」と登録している相手に電話をかける

「発信先をお話しください」と音声案内されます。

「ヤマダ」を発声します。

発声した登録先に発信されます。

> 知識：
> 電話帳に名前、よみがなおよび電話番号を登録している場合のみ、音声認識で電話をかけることができます。

◆ 電話モードの電話帳に登録されているメモリ番号からかける

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 案内に従って発声します。

「電話発信」を発声します。

例：電話モードの電話帳のメモリ1に登録している相手に電話をかける

「発信先をお話しください」と音声案内されます。

「メモリ1」を発声します。

メモリ1に登録している相手先に発信されます。

> 知識：
> メモリ番号の音声認識で電話をかけることができるのは、メモリ番号「0」から「9」のみです。

◆ リダイヤルからかける

1. ボイスコントロールレバーを手前に引いて、音声認識モードをONにします。

2. 案内に従って発声します。

「電話発信」を発声します。

「発信先をお話しください」と音声案内されます。

「リダイヤル」を発声します。

発信履歴の最新の電話番号に発信されます。

■ 音声コマンド一覧

音声認識できる音声コマンド一覧を紹介します。

共通操作

全てのモードで有効です。

機　能		音声コマンド
モードを切り換える	ラジオ（FM）に切り換える	エフエム
	ラジオ（AM）に切り換える	エーエム
	CDに切り換える	シーディー
	CDチェンジャーに切り換える	シーディーチェンジャー
	テレビに切り換える	テレビ
	DVDビデオに切り換える	ディーブイディー
	ビデオCDに切り換える	ビデオシーディー
	電話に切り換える	デンワ/テル
	ナビゲーションに切り換える	ナビ/ナビゲーション/ゲンザイチ
	FM多重に切り換える	エフエムタジュウ/エフエムマルチ
	システム情報･設定に切り換える	システム
	ブラウザーに切り換える	ブラウザー
	交通情報に切り換える	コウツウジョウホウ
ヘルプ画面を表示する	ラジオ（FM）のヘルプ画面表示	エフエムノヘルプ
	ラジオ（AM）のヘルプ画面表示	エーエムノヘルプ
	CDのヘルプ画面表示	シーディーノヘルプ
	CDチェンジャーのヘルプ画面表示	シーディーチェンジャーノヘルプ
	テレビのヘルプ画面表示	テレビノヘルプ
	DVDビデオのヘルプ画面表示	ディーブイディーノヘルプ
	ビデオCDのヘルプ画面表示	ビデオシーディーノヘルプ
	電話のヘルプ画面表示	デンワノヘルプ/テルノヘルプ
	ナビのヘルプ画面表示	ナビノヘルプ
	VICSのヘルプ画面表示	ビックスノヘルプ
	FM多重のヘルプ画面表示	エフエムタジュウノヘルプ
	システムのヘルプ画面表示	システムノヘルプ
	ブラウザーのヘルプ画面表示	ブラウザーノヘルプ
音量を調整する	音量を上げる	ボリュームアップ
	音量を下げる	ボリュームダウン

ナビゲーションの操作

現在地または地図画面表示中に有効です。

機　能		音声コマンド
地図を呼び出す方法を指定する	住所で指定する	ジュウショ
	施設名で指定する	シセツ
	施設ジャンルで指定する	ジャンル
	電話番号で指定する	デンワバンゴウサクイン
	（電話番号入力画面を表示する）	デンワバンゴウニュウリョクガメン
	郵便番号で指定する	ユウビンバンゴウ
	（郵便番号入力画面を表示する）	ユウビンバンゴウニュウリョクガメン
ルートを探索する	目的地を設定する	モクテキチセッテイ
	自宅までのルートを作る	ジタクニカエル
通過点を設定する	通過点を設定する	ツウカテンセッテイ
	通過点を消去する	ツウカテンショウキョ
ルート案内中、もう一度探索する	有料道優先で再探索する	ユウリョウドウユウセン
	一般道優先で再探索する	イッパンドウユウセン
	推奨ルートで再探索する	スイショウルート
	距離優先で再探索する	キョリユウセン
	別ルート探索をする	ベツルート
	全ルート探索をする	ゼンルートタンサク
	別道路探索をする	ベツドウロタンサク
	迂回探索をする	ウカイタンサク
メモリ地点に登録する	メモリ地点に登録する	メモリチテン
VICS情報を見る	VICS情報を表示する	ビックスヒョウジ
	VICS情報を消去する	ビックスヒョウジカイジョ
	高速道の情報を表示する	ビックスコウソクドウヒョウジ
	一般道の情報を表示する	ビックスイッパンドウヒョウジ
	全ての道路の情報を表示する	ゼンドウロヒョウジ
	渋滞情報を表示する	ジュウタイコンザツヒョウジ
	渋滞情報を消去する	ジュウタイコンザツヒョウジショウキョ
	空いている道を表示する	アキミチヒョウジ
	空いている道を消去する	アキミチヒョウジショウキョ
	規制情報を表示する	キセイジョウホウヒョウジ
	規制情報を消去する	キセイジョウホウヒョウジショウキョ
	駐車場情報を表示する	ビックスチュウシャジョウジョウホウ
	駐車場情報を消去する	ビックスチュウシャジョウジョウホウショウキョ

ナビゲーションの操作

機　能		音声コマンド
地図の向きを変更する	ノースアップに切り換える	ノースアップ
	ヘディングアップに切り換える	ヘディングアップ
	地図の向きを切り換える (ノースアップ↔ヘディングアップ)	チズムキ
縮尺を変更する	縮尺を広域にする	コウイキ
	縮尺を詳細にする	ショウサイ
	市街図（25 m表示）にする	シガイズ
2D/3Dを変更する	3D表示にする	スリーディーヒョウジ
	2D表示にする	ツーディーヒョウジ/スリーディーヒョウジカイジョ
高速道路走行中に、表示を切り換える	都市高マップを表示する	トシコウマップヒョウジ
	都市高マップを解除する	トシコウマップカイジョ
	高速略図を表示する	コウソクリャクズヒョウジ
	高速略図を解除する	コウソクリャクズカイジョ
ランドマークを表示する	レストランを表示する	レストランヒョウジ
	コンビニを表示する	コンビニヒョウジ
	ガソリンスタンドを表示する	ガソリンスタンドヒョウジ
	駐車場を表示する	チュウシャジョウヒョウジ
	銀行を表示する	ギンコウヒョウジ
	MB（メルセデスベンツ）サービス工場を表示する	エムビーサービスコウジョウヒョウジ
	ランドマークを消去する	シセツヒョウジショウキョ
その他、地図を切り換えるコマンド	現在地を表示する	ゲンザイチ
	全ルート表示画面を表示する	ルートゼンタイ
問い合わせる	到着予想時刻を聞く	イツツキマスカ
	今走っている道路を聞く	イマハシッテイルドウロハ
	渋滞があるかどうか聞く	ジュウタイハアリマスカ
ルート案内を中止する	ルート案内を中止する	アンナイチュウシ
	ルート案内を再開する	アンナイサイカイ

ナビゲーションの操作（施設ジャンル一覧）

ジャンル		音声コマンド
食べる	イタリア料理	イタリアリョウリ
	うどん・そば	ウドンソバ/ウドン/ソバ
	お好み焼き	オコノミヤキ
	割烹・懐石	カッポウカイセキ/カッポウ/カイセキ
	カレー・スパゲティ	カレースパゲティ/カレー/スパゲティ
	喫茶店	キッサテン
	ケーキ・菓子・パン	ケーキカシパン/ケーキ/カシ/パン
	す　し	スシ
	スナック・バー・酒場	スナックバーサカバ/スナック/バー/サカバ
	中　華	チュウカ
	とんかつ	トンカツ
	ファーストフード	ファーストフード
	ファミリーレストラン	ファミリーレストラン/ファミレス
	フランス料理	フランスリョウリ
	持ち帰り弁当	モチカエリベントウ/ベントウ
	焼肉・ホルモン	ヤキニクホルモン/ヤキニク/ホルモン
	洋　食	ヨウショク
	ラーメン	ラーメン
	和　食	ワショク
買い物	衣料品店	イリョウヒン
	おもちゃ店	オモチャ
	家具・インテリア	カグインテリア/カグ/インテリア
	カメラ・時計	カメラトケイ/カメラ/トケイ
	ガラス・陶磁器	ガラストウジキ/ガラス/トウジキ
	鞄・靴	カバンクツ/カバン/クツ
	化粧品店	ケショウヒン
	コンビニエンスストア	コンビニエンスストア/コンビニエンス/コンビニ
	酒　屋	サケ
	CD・ビデオショップ	シーディービデオショップ/シーディービデオ/シーディー/ビデオ
	CD・ビデオレンタル	シーディービデオレンタル/シーディーレンタル/ビデオレンタル
	食料品店	ショクリョウヒン
	スーパー・ディスカウント店	スーパーディスカウントテン/スーパー/ディスカウントテン/ディスカウント
	スポーツ用品店	スポーツヨウヒン
	デパート	デパート

ナビゲーションの操作（施設ジャンル一覧）

ジャンル		音声コマンド
買い物	電化製品	デンカセイヒン
	日用雑貨	ニチヨウザッカ
	花　屋	ハナ
	文具店	ブング
	米穀店	コメ
	宝石・貴金属店	ホウセキキキンゾク/ホウセキ/キキンゾク
	ホームセンター	ホームセンター
	本　屋	ホン
	めがね店	メガネ
	薬　局	クスリ
	リサイクルショップ	リサイクルショップ
	レンタルショップ	レンタルショップ
車	カー用品店	カーヨウヒン
	ガソリンスタンド	ガソリンスタンド
	自転車・バイク用品店	ジテンシャバイク/ジテンシャ/バイク
	駐車場	チュウシャジョウ
	MB（メルセデスベンツ） サービス工場	エムビーサービスコウジョウ/ エムビーサービス
宿　泊	ホテル・旅館	ホテルリョカン/ホテル/リョカン
	旅　行	リョコウ
遊　ぶ	温　泉	オンセン
	カラオケボックス	カラオケボックス/カラオケ
	キャンプ場	キャンプジョウ
	教　室	キョウシツ
	ゲームセンター	ゲームセンター/ゲーセン
	劇　場	ゲキジョウ
	公営娯楽	コウエイゴラク
	ゴルフ場	ゴルフジョウ
	水族館	スイゾクカン
	スキー場	スキージョウ
	スポーツ施設	スポーツシセツ
	趣　味	シュミ
	動植物園	ドウショクブツエン/ドウブツエン/ショクブツエン
	パチンコ店	パチンコテン/パチンコ
	遊園地	ユウエンチ

ジャンル		音声コマンド
公　共	医療機関	イリョウキカン
	警察署	ケイサツショ/ケイサツ
	公　園	コウエン
	総合病院	ソウゴウビョウイン/ビョウイン
	図書館	トショカン
	役　所	ヤクショ/ヤクバ
交　通	駅	エキ
	SA・PA	サービスエリア/パーキングエリア/サービスエリアパーキングエリア/サパ
	高速IC	コウソクインター/コウソクインターチェンジ
	空　港	クウコウ/ヒコウジョウ
	道の駅	ミチノエキ
	港	ミナト
	有料IC	ユウリョウインター/ユウリョウインターチェンジ
文　化	教　会	キョウカイ
	資料館	シリョウカン
	城・城跡	シロシロアト/シロジョウセキ/シロ/シロアト/ジョウセキ
	神　社	ジンジャ
	寺	テラ
	博物館	ハクブツカン
	美術館	ビジュツカン
	ホール	ホール
	名所・旧跡	メイショキュウセキ/メイショ/キュウセキ
その他	エステティック	エステティック
	学　校	ガッコウ
	銀　行	ギンコウ
	クリーニング	クリーニング
	結婚式場	ケッコンシキジョウ
	写　真	シャシン
	美容院・理容店	ビヨウインリヨウテン/ビヨウイン/リヨウテン/トコヤ
	郵便局	ユウビンキョク

ラジオ/CD/テレビ/DVDビデオ/ビデオCD/電話の操作

機　能		音声コマンド
ラジオを操作する	FM1/FM2を切り換える	エフエム
	AM1/AM2を切り換える	エーエム
	オートプリセットする	オートプリセット
	プリセット選局をする	プリセットイチ (例：プリセット1を選ぶ場合)
CDを操作する	次の曲を選曲する	トラックアップ
	曲の頭出しをする	トラックダウン※1
	聞きたいCDを選ぶ (CDチェンジャーのみ)	ディスクイチ (例：ディスク1を選ぶ場合)
テレビを操作する	TV1/TV2を切り換える	テレビ
	オートプリセットする	オートプリセット
	プリセット選局をする	プリセットイチ (例：プリセット1を選ぶ場合)
DVDビデオ/ビデオCDを操作する	DVDビデオに切り換える	ディーブイディー
	ビデオCDに切り換える	ビデオシーディー
電話を操作する	電話をかける (これから電話番号を音声で入力する場合)	デンワハッシン
	電話をかける (すでに電話番号が入力されている場合)	ハッシン

※1 CDチェンジャーの場合のみ、再生直後に「トラックダウン」を音声入力すると前の曲に戻ります。

10. ブラウザー

■ iモードについて

● iモードを利用するために

◆ 必要な携帯電話

iナビリンク対応のiモード携帯電話

◆ 必要な契約

NTTドコモとのパケット通信サービス契約、iモード利用の契約

● iモードサービスの例

◆ サイト（番組）接続サービス

iモードで提供されているサイト（番組）を利用できます。

※ 別途申し込みが必要な場合があります。

※ サイトの情報は情報サービス提供者が提供するものであり、NTTドコモが提供するものではありません。

◆ メッセージサービス

ニュースなどの各種情報（メッセージ）がサイトから送られます。

◆ iモードメール

iモード携帯電話同士はもちろん、インターネットメールアドレスを持っている人となら誰とでも電子メールを送受信できます。また、電子メールには、位置情報を添付することができます。

◆ iモード検索

iモードの検索サイトを利用して、周辺にある施設の情報を入手することができます。検索するサイトの設定が必要です。

◆ インターネット接続サービス

ホームページを見ることができます。（iモード対応のホームページ以外は正しく表示されない場合があります）

知識：
- iモードの通信料金は、送受信したデータの量で計算されます。（接続時間は料金に関係ありません）

知識：
- 「i-mode/アイモード」はNTTドコモの登録商標です。
- 「iナビリンク」はNTTドコモの商標です。
- iモードは、月額基本料に加え、パケット通信料がかかります。
- iモードのサイトには、一部有料のものがあります。また、一部表示できないサイトがあります。
- 本製品は、NTTドコモとは何ら関係がありません。
- NTTドコモグループ
  (株) NTTドコモ北海道
  (株) NTTドコモ東北
  (株) NTTドコモ東海
  (株) NTTドコモ北陸
  (株) NTTドコモ関西
  (株) NTTドコモ中国
  (株) NTTドコモ四国
  (株) NTTドコモ九州
  (株) NTTドコモ

■ インターネットについて

● インターネットを利用するために

◆ 必要な携帯電話

デジタル携帯電話

◆ 必要な契約

プロバイダとの契約

◆ 必要な設定

プロバイダ接続の設定

● インターネットサービスの例

◆ インターネット接続サービス

ホームページを見ることができます。

◆ 電子メール

電子メールを送受信できます。

ブラウザー機能を使用するには、必ずお手持ちの携帯電話を本システムに接続してください。

■ ブラウザー操作スイッチ

1 インフォメーションキー（INFO）
システム情報画面の表示
ブラウザーモードのON

2 ソフトキー
画面の左右に表示している機能の実行

3 テンキー
iモードサイトでの項目入力

4 メインスイッチ（ON/OFF）
主電源のON/OFF

5 通話終了キー（HLD）
データ通信の切断

6 カーソル/決定キー（OK）
項目の選択/決定・文字の入力

● ステータス表示

iモード送信・受信中を表示
（インターネット接続中の場合：　）

ブラウザーモード　　未読メール/メッセージ表示

電波の受信状態を表示

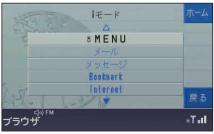
10
ブラウザー

■ 準 備

● 基本画面を表示する

1. INFO キーを押します。システム情報・設定画面が表示されます。

2. BROW-SER ソフトキーを押してから、iMode、ISP1、ISP2 のいずれかのソフトキーを選択します。

基本画面が表示されます。

OK キーを上下に動かすと画面がスクロールします。

◆ 項目の説明

iMENU：
　iモードセンターに接続します。

メール：
　メール/メールアドレス帳の作成、メールの送受信。

メッセージ：
　メッセージを読みます。

Bookmark：
　ブックマークに登録したサイトに接続します。

Internet（iモード）/URL入力（iモード以外のプロバイダ）：
　URLを入力しサイトに接続します。

iモード検索：
　iモードの検索ページを利用して施設を探します。（設定が必要です）

センター問合わせ：
　iモードセンターに接続し、メールやメッセージを一括受信します。

各種設定：
　iモード/インターネットの各種設定をします。（各種設定画面）

> 注意：
> 携帯電話の機種によっては正しく動作しない場合があります。詳しくはMBディーラーへお問い合わせください。

● プロバイダを設定する

◆ iモードを利用する場合

1. ブラウザ基本画面から iMode ソフトキーを選び、各種設定画面（→P10-4）の「プロバイダの設定」を選び、OK キーを押します。

2. 項目を入力して、完了 ソフトキーを押します。
（文字入力のしかた→P10-8）

◆ 設定項目

接続先名称：
　接続先の名称は自由に入力できます。
　（通常は、設定する必要はありません）

ホームページ：
　接続したときに最初に表示するホームページのURLを入力します。
　（通常は、設定する必要はありません）

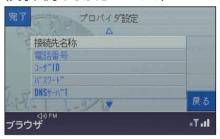
検索ページ：
　iモード検索を行うときに利用する検索サイトのURLを入力します。

メール・メッセージの受信：
　「する」に設定すると
　iモードセンターにメール/メッセージが届いたときに、自動的に受信します。受信したメール/メッセージは、本システムに保存され、iモード携帯電話には保存されません。
　「しない」に設定すると
　メール/メッセージを自動的には受信しません。

> 知識：
> 検索ページとは、iモード上で施設の検索サービスを提供しているサイトです。検索ページを設定しないと、iモード検索はできません。

◆ iモード以外のプロバイダを利用する場合

1. ブラウザ基本画面から ISP1 、 ISP2 ソフトキーを選び、各種設定画面（→P10-4）の「プロバイダの設定」を選び、OKキーを押します。

2. 各項目を入力して、 完了 ソフトキーを押します。
（文字入力のしかた→P10-8）

◆ 設定項目

接続先名称：
接続先の名称は自由に入力できます。

電話番号：
アクセスポイントの電話番号を入力します。

ユーザーID：
お客様のユーザーIDを入力します。

パスワード：
ユーザーIDに対するパスワードを入力します。

DNSサーバ1/DNSサーバ2：
ドメインネームサーバ（DNSサーバ）名を入力します。

プロキシ：
プロキシサーバ名を入力します。

ポート番号：
プロキシサーバのポート番号を入力します。

メールアカウント：
お客様のメールアカウントを入力します。

メールパスワード：
メールアカウントに対するパスワードを入力します。

メールアドレス：
お客様のメールアドレスを入力します。

サーバにある受信メール：
「残す」に設定すると
メール受信後、サーバ内のメールを残します。
「残さない」に設定すると
メール受信後、サーバ内のメールを削除します。

POP3サーバ名：
　POPサーバ名を入力します。

SMTPサーバ：
　SMTPサーバ名を入力します。

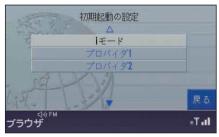
ホームページ：
　接続したときに最初に表示するホームページのURLを入力します。

FAV1：、FAV2：、FAV3：
　お気に入りのホームページのURLを3件登録することができます。

知識：
・iモード以外のプロバイダを利用する場合は、別途プロバイダとの契約が必要です。
・プロバイダによっては、設定の不要な項目があります。不要な項目は、空欄のままで接続できます。
・ユーザID、パスワード、メールアカウントおよびメールパスワードの入力を誤ったとき、「移動機をご確認ください」のメッセージが表示される場合があります。
・「サーバにある受信メール」について
　「残す」に設定した場合
　サーバにメールが多数残っていると、一度受信したメールを再びサーバからダウンロードすることがありますので、サーバにメールを多数残さないように、ご自宅のパソコンからダウンロードするなどしてください。
　「残さない」に設定した場合
　メールを完全に受信できる/できないに関わらず、メール受信後はサーバ内のメールは削除されます。
・設定項目の詳しい内容は、ご契約のプロバイダの説明書などをご覧ください。
・「各種設定画面」から「設定を初期化」を選んで初期化すると、設定した項目は全て消去されます。(設定を初期化する→P10-23)

● 接続先を設定する

1. OKキーで各種設定画面（→P10-4）の「初期起動の設定」を選び、OKキーを押します。

2. OKキーで接続先に設定したいプロバイダを選び、OKキーを押します。

選んだプロバイダが初期起動時の接続先に設定されます。

知識：
・サーバとの接続に失敗した場合、画面にエラーメッセージが表示されます。
・iモード、一般プロバイダともに、接続中に6分以上何も操作しない、または通信がない場合は、自動的に回線が切断されます。

■文字入力のしかた

プロバイダの設定やメールの作成、ホームページURLの入力などを行うとき、文字入力画面が表示されます。

● 共通操作

◆ ソフトキーの説明

大/小 ：かな/漢、カタカナ、英字の、大文字/小文字を切り換えます。

種別 ：文字の種別を切り換えます。

押すたびに

修正 ：カーソルの左隣の文字を消去します。

漢字変換 ：入力したひらがなを、漢字に変換します。

戻る ：前の画面に戻ります。（入力した内容は消去されます。）

完了 ：文字入力を完了します。

← → ：入力カーソルを左右に移動します。

前ページ 次ページ ：数/記号と定型文の候補画面を切り換えます。

◆ 大文字/小文字を切り換える

大文字に切り換えるときは「大文字」、小文字に切り換えるときは「小文字」を選びます。

※文字の種別が「数/記号」のときは、小文字に切り換えられません。

◆ 文字の種別を切り換える

「かな/漢」「カタカナ」「英字」「数/記号」「定型文」から、希望の種別を選びます。

◆ 全角/半角を切り換える

全角に切り換えるときは「全角」、半角に切り換えるときは「半角」を選びます。

※文字の種別が「かな/漢」のときは、半角に切り換えられません。

◆ 入力カーソルを移動する

「←」「→」「↑」「↓」を選びます。

◆ スペースを挿入する

「スペース」を選びます。

◆ 改行する

「改行」を選びます。

◆ 入力したひらがなを確定する

「確定」を選びます。

◆ 入力したひらがなを漢字に変換する

「漢字変換」を選びます。

◆ 候補画面を切り換える

「前ページ」「次ページ」を選びます。

◆ 全文を削除する

「全削除」を選びます。

> 知識：
> 大文字/小文字の切り換え、文字の種別の切り換え、カーソルの移動（左右）、候補画面の切り換えは、ソフトキーでも行えます。（→左記）

● 文字を入力する

1. 種別ソフトキーを押して、文字の種別を選びます。

2. OKキーで入力する文字を選び、OKキーを押します。

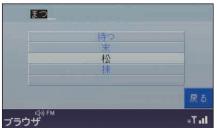
知識：
- 英字入力で、「.co.jp/」、「www.」などを選ぶと、メールアドレスやホームページのURLを簡単に入力できます。
- 半角カタカナを使ってメールを送信すると、相手先の機種によっては文字化けして読みとれないことがあります。

● ひらがなを漢字に変換する

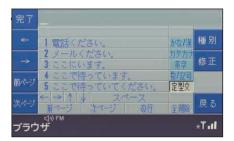
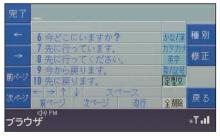
1. OKキーでひらがなを選び、OKキーを押してから漢字変換ソフトキーを押します。

2. OKキーで変換候補の中から選び、OKキーを押します。

10

ブラウザー

● 定型文を入力する

「今どこにいますか」「電話ください」など、よく使う文を定型文として登録しています。
1文字ずつ入力しなくても、定型文一覧表から選ぶだけで、簡単に文を入力できます。

1. 種別 ソフトキーを押すと、定型文一覧表が表示されます。

2. OK キーで入力する定型文を選び、OK キーを押します。

候補画面を切り換える

前ページ 次ページ ソフトキーを押します。
または、OK キーで「前ページ」「次ページ」を選びます。

> 知識：
> お好みの定型文を作ることもできます。（→P10-21）

■iモードを利用する

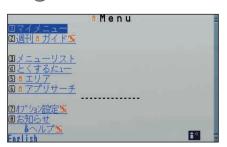
● 利用するまえに

以下のことを確認してください。
- プロバイダの設定が正しく行われていること（→P10-5）
- 初期起動の設定が正しく行われていること（→P10-7）
- iナビリンク対応のiモード携帯電話に、電源が入った状態で本システムに接続されていること

● サイトに接続する

1. OK キーで基本画面（→P10-4）の「iMENU」を選び、OK キーを押します。

iモードセンターに接続し、iモードメインメニューが表示されます。

2. OK キーでお好みのサイトを選び、OK キーを押します。

●iモード検索をする

iモードの検索サイトを利用して、周辺にある施設の情報を入手することができます。

1. OKキーで基本画面（→P10-4）の「iモード検索」を選び、OKキーを押します。

2. OKキーで検索方法を選び、OKキーを押します。

新規検索

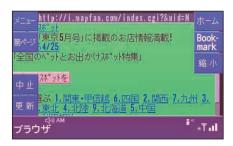
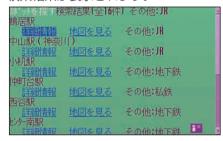
　検索サイトに接続して、サイトの指示に従い、検索する施設を選択します。

前回と同じ条件で検索

　検索サイトに接続して、前回iモード検索をしたときと同じ条件で施設を検索します。

iモード検索リスト

　前回の検索結果が表示されます。最多で32件まで記憶します。（→P10-12）

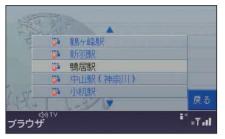
3. OKキーでジャンルや地域別に検索したい施設を選び、OKキーを押します。

検索結果が表示されます。

上の例では

・「詳細情報」を選び、OKキーを押すと、詳細情報が表示されます。

・「地図を見る」を選び、OKキーを押すと、選んだ住所の地図が表示されます。

> 知識：
> ・検索結果で表示される内容は選んだ施設によって異なります。
> ・検索ページが設定されていない場合、iモード検索できません。（→P10-5）
> ただし、iモードメインメニューからサイトを選択して、iモード検索することはできます。
> ・下記の場合、検索結果は消去されます。
> 　・エンジンスイッチをOFFにする
> 　・再度iモード検索を行う

●iモード検索リストを利用する

iモード検索リストを表示させ、OKキーでリストから施設を選び、OKキーを押します。（32件まで記憶可）

選んだ施設の地図が表示されます。

スポットデータ：iモード検索結果の詳細情報が表示されます。

広域 詳細：地図の縮尺を切り換えます。

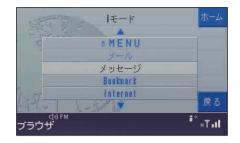
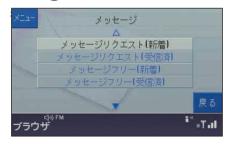
目的地：目的地に設定します。

通過点1 通過点2：通過点1または2に設定します。

メモリ地点：メモリ地点に登録します。

> 知識：
> iナビリンクなどからメモリ地点に登録した場所にホームページ情報が含まれている場合、その地点を地図表示後（→P8-43）、ガイドソフトキー、スポットデータソフトキー、ホームページソフトキーの順に押すとホームページに接続できます。

●受信メッセージを読む

1. OKキーで基本画面（→P10-4）の「メッセージ」を選び、OKキーを押します。

2. OKキーで読みたいメッセージを選び、OKキーを押します。

メッセージリクエスト（新着）
　iモードセンターに、メッセージリクエストの新着があれば、受信して表示されます。

メッセージリクエスト（受信済）
　以前に受信したメッセージリクエストが表示されます。

メッセージフリー（新着）
　iモードセンターに、メッセージフリーの新着があれば、受信して表示されます。

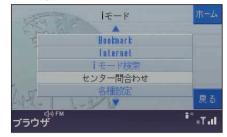
メッセージフリー（受信済）
　以前に受信したメッセージフリーが表示されます。

知識：

- 画面に入りきらない長いメッセージの場合は OK キーで上下にスクロールさせて表示できます。
- 受信したメッセージリクエスト/メッセージフリーが50件を超えたときは、古いのもから自動的に上書きされます。上書きされたくない場合は、50件まで保護することができます。

●iモードセンターに問い合わせる

iモードセンターに接続し、メールやメッセージがあれば、受信して表示します。

1. OK キーで基本画面（→P10-4）の「センター問合わせ」を選び、OK キーを押します。

2. OK キーで項目を選び、OK キーを押します。

全て受信
　iモードセンターに届いたメール、メッセージリクエスト、メッセージフリーを全て受信します。

メールのみ受信
　メールのみ受信します。

メッセージリクエストのみ受信
　メッセージリクエストのみ受信します。

メッセージフリーのみ受信
　メッセージフリーのみ受信します。

10 ブラウザー

■インターネットを利用する

● 利用するまえに

以下のことを確認してください。

・プロバイダの設定が正しく行われていること（→P10-5）
・初期起動の設定が正しく行われていること（→P10-7）
・デジタル携帯電話に、電源が入った状態で本システムに接続されていること

● インターネットに接続する

基本画面（→P10-4）の ホーム ソフトキーを押します。

インターネットに接続し、プロバイダの設定時に「ホームページ」の欄に入力したページが表示されます。

知識：
本システムでは、以下のことはできません。
・表示されたホームページの保存
・サウンド再生、動画再生など、プラグインを利用するホームページの表示
・ファイルのダウンロード
・FTP、telnet機能の利用
・ネットニュースの購読
・ネットニュースへの投稿

● ホームページを見る

◆ URLを指定して、ホームページを見る

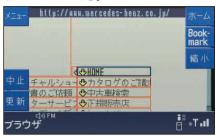
1. OKキーで基本画面（→P10-4）の「Internet」（iモード以外のプロバイダを利用している場合は「URL入力」と表示されます）を選び、OKキーを押します。

2. URLを入力して、 完了 ソフトキーを押します。
（文字入力のしかた→P10-8）

指定したページに接続します。

知識：
・インターネットへの接続時間は、回線の混み具合によって異なります。
・表示できる画像データは、GIF形式、JPEG形式のデータです。
・ホームページの詳細は、各ホームページの主催者にお問い合わせください。
・ホームページの都合により、アクセスできない場合があります。

● ホームページが表示されたら

ホームページの例

◆ ソフトキーの説明

メニュー ：基本画面（→P10-4）が表示されます。

前画面 ：基本画面から直前に表示していたホームページに戻ります。

前ページ ：前のページが表示されます。

次ページ ：次のページが表示されます。

中止 ：データ読み込み中に押すと、データの読み込みを中止します。

更新 ：表示中のページが更新されます。

ホーム ：プロバイダの設定の、「ホームページ」の欄に入力したページが表示されます。

Book-mark ：表示中のホームページのURLをブックマークに登録します。

縮小 ：表示中のページが縮小されます。

拡大 ：縮小されたページを、もとのサイズに戻します。

◆ リンク先のページに移動する

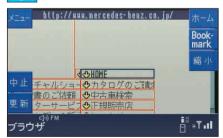
OKキーでリンクのある文字･画像を選び、OKキーを押します。

リンク先のページに切り換わります。

● ブックマークを利用する

ホームページのURLを本システムに登録する（ブックマークに登録する）と、ブックマークのリストから希望のURLを選ぶだけでホームページに接続できます。

◆ ブックマークを登録する

登録したいホームページを表示させ、Book-markソフトキーを押します。

知識：
最多で50件まで登録できます。

◆ ブックマーク一覧を表示する

OKキーで基本画面（→P10-4）の「Bookmark」を選び、OKキーを押します。

ブックマーク一覧が表示されます。

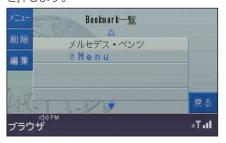
◆ ソフトキーの説明

メニュー：基本画面が表示されます。

削除：選んだブックマークを削除します。

編集：選んだブックマークを編集します。

◆ ブックマークに登録したページを見る

ブックマーク一覧で、見たいホームページのURLをOKキーで選んで、OKキーを押します。

選んだホームページが表示されます。

◆ ブックマークの内容を編集する

1. ブックマーク一覧で、編集ソフトキーを押します。

2. OKキーで編集する項目を選び、OKキーを押します。

名前： ブックマークの名前を編集します。
URL： URLを編集します。

3. 内容を編集して、完了ソフトキーを押します。
（文字入力のしかた→P10-8）

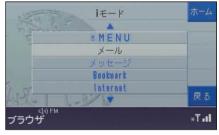
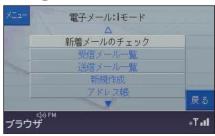
■電子メール/iモードメールを利用する

● 利用するまえに

以下のことを確認してください。
・プロバイダの設定が正しく行われていること（→P10-5）
・初期起動の設定が正しく行われていること（→P10-7）
・デジタル携帯電話（iモードメールの場合、iナビリンク対応のiモード携帯電話）に、電源が入った状態で本システムに接続されていること

● 新着メールをチェックする

1. OKキーで基本画面（→P10-4）の「メール」を選び、OKキーを押します。

電子メール画面が表示されます。

2. 「新着メールのチェック」を選び、OKキーを押します。

新着メールがある場合は、受信完了後、メールリストが表示されます。

3. OKキーでメールリストから読みたいメールを選び、OKキーを押します。

知識：
・現在接続中のプロバイダの新着メールをチェックします。他のプロバイダの新着メールをチェックするには、接続プロバイダを変更してください。（→P10-20）
・メール本文は、全角250文字（半角500文字）まで受信できます。受信可能文字数を超えた場合は、受信可能文字数まで受信し、それ以上のものは自動的に削除されます。
（iモードメールでは、削除された場合はメールの末尾に「/」または「//」が表示されます。）
・電子メール（プロバイダメール）は、MIMEテキスト形式のメールのみに対応しています。それ以外の形式は正しく表示できない場合があります。
・受信メールが50件を超えたとき、すでに読んだ受信メールのうち古いものから自動的に上書きされます。上書きされたくない場合は、50件まで保護することができます。
・送信メールが30件を超えたとき、送信済みのメールのうち古いものから自動的に上書きされます。上書きされたくない場合は、30件まで保護することができます。
・iモードメール/メッセージを着信した場合、ステータス表示には手紙のマークが表示され、画面内にはメール着信のお知らせが表示されます。

●メールを読む

1. 電子メール画面 (→10-17) で、「受信メール一覧」または「送信メール一覧」をOKキーで選び、OKキーを押します。

受信メール一覧

受信したメールの一覧が表示されます。

送信メール一覧

送信したメールと、未送信で保存してあるメールが表示されます。

2. メールリストから読みたいメールをOKキーで選び、OKキーを押します。

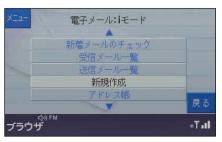
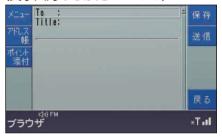
選んだメールが表示されます。

◆ ソフトキーの説明

- メニュー：基本画面が表示されます。
- 前メール：前のメールが表示されます。
- 次メール：次のメールが表示されます。
- 送信：表示中のメールが送信されます。
- 再送：表示中のメールが再送されます。
- 返信：メールの差出人に返信されます。
- 転送：表示中のメールが転送されます。
- アドレス登録：表示中のメールの送信者アドレスがアドレス帳に登録されます。
- 保護：表示中のメールを上書きされないようにします。
- 保護解除：保護していたメールが解除されます。
- 保存：表示中のメールが保存されます。
- 編集：表示中のメールを編集します。
- 削除：表示中のメールが削除されます。

> 知識：
> - 画面に入りきらない長いメールの場合は OK キーで上下にスクロールさせて表示できます。
> - **iモードメールの本文中に、**
>   ポイント情報が添付されている場合、そのポイントの地図表示および目的地設定ができます。
>   電話番号がある場合、それを選ぶと直接電話をかけられます。
>   メールアドレスがある場合、それを選ぶと直接メール作成画面に入ります。
>   URLがある場合、それを選ぶとホームページが表示されます。

● メールを作成して送る

1. OKキーで電子メール画面（→10-17）の「新規作成」を選び、OKキーを押します。

2. メールを作成します。
（文字入力のしかた→P10-8）

To：　送付先のアドレスを入力します。
Cc：　複数の相手にメールを送りたいとき、2つ目以降の送付先のアドレスを入力します。（一般プロバイダメールのみ）
Title：　タイトルを入力します。

◆アドレス帳からアドレスを選ぶ

アドレス帳ソフトキーを押して、アドレス帳を表示させ、送付先のアドレスを選び、完了ソフトキーを押します。
（アドレス帳を作成する→P10-22）

◆メールにポイント情報を添付する（iモードメールのみ）

ポイント添付ソフトキーを押すと、現在地、目的地、任意地点の地点情報を添付できます。

3. 文字入力を終えたら、送信ソフトキーを押したあと、はいソフトキーを押してメールを送信します。

送信しないときは、いいえソフトキーを押します。

◆メールを送らずに、保存する

保存ソフトキーを押して、メールを保存します。
後で送信するときには、送信メール一覧からOKキーで送信したいメールを選んで表示させ、送信ソフトキーを押します。

> 知識：
> ・現在接続中のプロバイダからメールを送ります。他のプロバイダからメールを送るには、接続プロバイダを変更してください。（→P10-20）
> ・iモードメールの送り先は、一つしか設定できません。
> ・位置情報の送受信は、iナビリンク対応のナビゲーションシステムで利用できます。
> ・メールの本文は、全角250文字（半角500文字）まで送信できます。

■各種設定をする

> 知識：
> ・プロバイダの設定がされていないプロバイダを選択することはできません。
> ・いったんイグニッション・スイッチのキーを抜いたあと、もう一度キーを入れてプロバイダに接続し直すと、「プロバイダの変更」で選んだ接続先ではなく、初期起動の設定（→P10-7）で選んだプロバイダに接続します。

● ブラウザーの設定を変更する

1. OKキーで各種設定画面（→P10-4）の「ブラウザの設定」を選び、OKキーを押します。

2. OKキーでブラウザーの設定を変更し、完了ソフトキーを押します。

◆設定項目の説明

表示文字

文字：文字のみ表示され、画像はアイコンに置き換えられて表示されます。そのため、表示速度が向上します。

文字＋画像：

文字、画像ともに表示されます。

文字コード

使用する文字コードを選択します。
（通常は「自動」を選択してください。）

● 登録された定型文を編集する

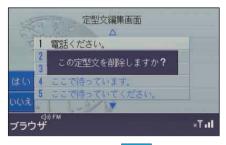
1. OKキーで各種設定画面（→P10-4）の「定型文の設定」を選び、OKキーを押します。

定型文編集画面が表示されます。

2. OKキーで定型文編集画面から内容を編集したい定型文を選び、編集ソフトキーを押します。

3. 定型文を編集して、完了ソフトキーを押します。
（文字入力のしかた→P10-8 ）

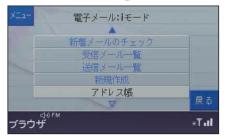
◆定型文を削除する

1. 定型文編集画面（→左記）を表示させ、OKキーで削除したい定型文を選び、削除ソフトキーを押します。

2. はいソフトキーを押します。

削除しないときは、いいえソフトキーを押します。

● アドレス帳を作成する

◆アドレスを追加する

1. 電子メール画面（→P10-17）で、「アドレス帳」を選び、OKキーを押します。

アドレス帳が表示されます。

2. 追加 ソフトキーを押します。

3. 名前とアドレスを入力して、完了 ソフトキーを押します。
（文字入力のしかた→P10-8）

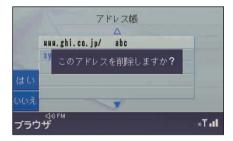
◆アドレスを編集する

1. アドレス帳を表示させ、（→左記）OKキーで編集したいアドレスを選び、編集 ソフトキーを押します。

2. 名前とアドレスを編集して、完了 ソフトキーを押します。
（文字入力のしかた→P10-8）

例）アドレスを編集する場合

◆アドレスを削除する

1. アドレス帳を表示させ、(→P10-22) OKキーで削除したいアドレスを選び、削除ソフトキーを押します。

2. はいソフトキーを押します。

削除しないときは、いいえソフトキーを押します。

知識：
・アドレス帳は50件まで登録できます。
・アドレスは、全角25文字（半角50文字）まで、名前は全角8文字（半角16文字）まで登録できます。

● 設定を初期化する

1. OKキーで各種設定画面（→P10-4）の「設定を初期化」を選び、OKキーを押します。

2. はいソフトキーを押します。

初期化しないときは、いいえソフトキーを押します。

11. さくいん

1. はじめに

2. ラジオ

3. CD

4. テレビ

5. DVDビデオ/ビデオCD

6. 電話

7. AUX

8. ナビゲーション

[数字・アルファベット]

11

さくいん

9. 音声認識

10. ブラウザー

[アルファベット]

この取扱説明書の内容は、2005年5月現在のものです。